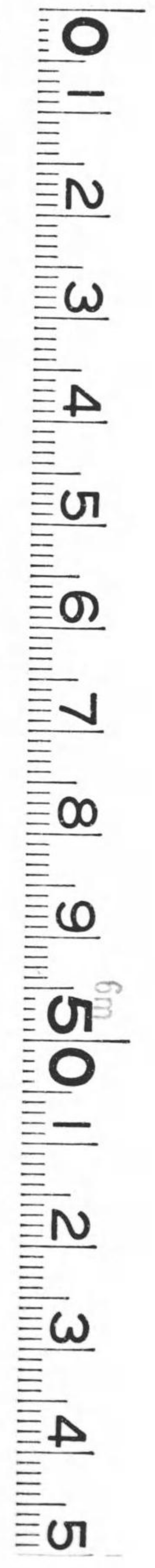


75



始





15. 1. 7



544

75

東京書籍  
商組員

# 圖書總目錄









544-75

東京書籍組合員圖書總目錄

(大正十四年五月)

神書宗教

發行所寄贈本

書名	著者名	頁形	體數	送定	料價	發行所
イエスカ親鸞か	山中峯太郎	三三四	布裝	送	二、四〇	双樹社
精神活きた宗教	清水芳洲	一九〇	上製	送	一、三〇	二松堂
エドワード・ケアードの宗教思想	鷺山弟三郎	二八〇	餘頁	送	二、五〇	内田老鶴園
興味と神様の戸籍調べ	二西洞學人	二五〇	上製	送	一、六〇	二松堂
神と眞理への開眼	宮崎安右衛門	二五二	紙裝	送	一、三〇	磯部甲陽堂
今後の宗教	文學博士 高楠順次郎	四六	判	送	一、七〇	甲子社書房
教育の根本問題としての宗教	小原國芳	五〇〇	判	送	三、一五〇	集成社

(神書・宗教)

索引

神教	佛敎	基督教	哲學	倫理	心理	論議	支那	教育	學校	試驗	少年	兒童	文學	詩歌	俳諧	小說	落語	國語	漢文
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇
文典	書簡	辭典	演說	外國	英語	和文	英文	會話	辭典	佛蘭	獨逸	羅馬	西班	馬來	支那	歷史	傳記	東洋	西記
二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五
地理	地行	世界	憲法	政治	國際	法律	刑法	民法	商法	諸法	社會	統計	算術	代數	算術	珠算	算術	算術	算術
三六	三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四	五五
植物	動物	生理	醫學	地質	地文	地文	地文	地文	地文	地文	地文	地文	地文	地文	地文	地文	地文	地文	地文
四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四	五五	五六	五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三	六四	六五
美術	繪畫	書畫	音樂	歌唱	洋樂	洋樂	洋樂	洋樂	洋樂	洋樂	洋樂	洋樂	洋樂	洋樂	洋樂	洋樂	洋樂	洋樂	洋樂
六六	六七	六八	六九	七〇	七一	七二	七三	七四	七五	七六	七七	七八	七九	八〇	八一	八二	八三	八四	八五



クオイ	宗教への闘争	藤井章	二九六頁	洋装	一、八〇〇	オイケン教授の宗教論は老いて倍々旺る意	丙午出版社
宗教史概論(上巻)	宇野松智空	五四〇頁	菊判布製	三、一〇八	本書は個々の宗教の歴史でなく宗教全般に	博文館	
死生と宗教	帆足理一郎	四六〇頁	表紙布	二、四八〇	生か死か我等は如何に生かすべき乎?	新生堂	
宗教と教育	姉崎正治	六二〇頁	菊判布製	一、〇六八	個人と社会、国家と人道、現實と理想、諸方	博文館	
宗教と人生	帆足理一郎	四六五頁	菊判布製	二、一四八	如何にして生きん乎?以下論文數十項に	新生堂	
グキン	宗教の發達	高野澤正治	菊判布製	三、二〇七	著者の力説する處は宗教の社會心理學的	岩波書店	
宗教の本質の特質	中島祐神	三四六頁	菊判布製	二、一三二	著者が高遠なる宗教哲學を基礎として	早稲田大學出版部	
宗教の門	松原寛	二六〇頁	菊判布製	一、一五〇	科學は只人生の空虚をのみ知る、宗教の	大阪屋號	
宗教早わかり	小林鶯里	四六頁	美装	〇、四四〇	人類の存する所必ず宗教あり、本書は	文藝社	
信仰生活の諸現象	栗山信次郎	三七〇頁	美装	二、一三二	莊嚴な神殿の内扉から路傍の小祠に迄	日本精神醫學會	

新時代の宗教	姉崎正治	四六〇頁	菊判布製	二、〇〇八	大破壊に續いて大建設の起るべき機運は	博文館
神社と宗教	安原清輔	洋装	菊判布製	二、一〇二	世界の宗教の關係を明かにし、神道と	弘道館
神道の現代的な研究	橋本文壽	五五〇頁	菊判布製	四、一五二	我國の純文化たり眞精神たる神道に關	實文館
聖貧への思慕	宮崎安右衛門	三二四頁	菊判布製	一、〇六〇	盡の生命が無限の法悦である、と	磯部甲陽堂
聖貧禮讚	宮崎安右衛門	二八二頁	菊判布製	一、〇六〇	著者の一杖一鉢天下を行乞流浪して	磯部甲陽堂
大日本者神國也	丸山正彦	六〇〇頁	菊判布製	二、一〇二	一讀神祇の實體あらはれ、再讀神皇	川流堂
特選神名牒	内務省	菊判布製	菊判布製	二、二〇四	神祇官の調査の後を承けて、全部省	磯部甲陽堂
日本周の原始宗教	鳥居龍藏	三〇八頁	菊判布製	二、一五八	人類の民族固有の原始神話の本質を	岡書院
日本宗教史	比屋根安定	二二〇頁	菊判布製	二、三〇〇	著者は帝大宗教學專攻の篤學者にして	三共出版社
日本神話	鈴木友吉	四〇二頁	菊判布製	二、一〇〇	日本の神話を解り易く面白く讀める	磯部甲陽堂



人間の宗教

文學博士 椎尾辨匡  
三六四頁 送價 二、一七〇  
佛敎思想を以て現代社會を論じ、思想を解剖し、大なる信仰を語れるものは本書である。

比較神話學

高木敏雄  
三五二頁 送價 二、一八〇  
本邦唯一の神話學研究書として世界に誇るべき名著であり、日本神話に關係ある各國の神話學の學的基礎から歴史的事實と國民的宗教學の考へて我國體の眞體を闡明し、又之と神道との關係を明かにしたるもの。

我國體と神道

文學博士 加藤玄智  
三二二頁 送價 二、一五〇  
神道學の關係を我が國體の眞體を闡明し、又之と神道との關係を明かにしたるもの。

佛 教

惡人正機宇宙主義

勝岡廓善  
六八頁 送價 〇、五〇  
既に浮薄なる流行親鸞時代去り、眞摯なる宗教の本質的研究を求め、時本書は最も歡迎されるべき惡人正機の本義本書に依りて明かなり。

在家禮佛式

高田道見折  
本送價 〇、二〇  
秘決を授くる在家用の御經である。安心の

印度佛敎史

黒田行啓  
五〇〇頁 送價 二、一七〇  
佛敎興隆以前の印度より説き起して佛敎の興隆の關係に就きては最も多くの注意を拂ふ。

印度佛敎思想史

橋 惠勝  
五八四頁 送價 四、二八〇  
世界唯一の權威。組織された理路の整然たる案は、採擇された史料の斬新なる。千歳の疑案は、本書あるに、よつて解決される。

印度佛敎の研究

牛島文倉  
四六六頁 送價 二、一五〇  
自序曰、我等は傳統に捉はれてはいけぬ。我等の行路を決定するものは、絶対自由な全我的意志である。

大谷光瑞と本願寺改革と門徒の覺醒

野依秀一  
小形並製 八九頁 送價 〇、三〇〇  
▲大谷光瑞氏と本願寺▲本願寺と野依との關係▲大馬鹿大谷光瑞氏は斯く局

漢藏對譯 勝鬘經

河口慧海  
菊半折 一九頁 送價 〇、五〇  
妙齡の勝鬘夫人が具に一乘微妙の深義を闡明せしむる譯者は別に「西藏譯支那譯の對比に就いて」といふ雄大な論文を附せられてゐる。

觀音信者の手記

小 瀧 淳  
三三〇頁 送價 一、五八〇  
觀音の實體を闡明すると共に吾人の實生活と如何に緊密の關係にあるかを力説し、情味豊かに筆致を以ての眞劍さが全卷に躍動してゐる。

心の觀音の宗教

坂戸公榮  
二五八頁 送價 一、〇八〇  
佛敎中の佛敎と言はるゝ觀音經を和譯詳解し、具さに其功德信仰本體を説く觀音を知るに、心行の行くやうに最も平易明快に、誰れにでも得らざると問はるは、是非一讀を要す。願徳無量也。

救濟の實在

野依秀一  
一四〇頁 送價 〇、八〇  
佛敎の行くやうに最も平易明快に、誰れにでも得らざると問はるは、是非一讀を要す。願徳無量也。

空海阿闍梨と如意尼

守山聖眞  
二七八頁 送價 一、〇八〇  
眞言密敎の祖たる弘法大師の一生と之れに清秘を極めたる如意尼の戀の悲哀を描き、幽情に神

解脫への道

文學博士 木村泰賢  
四四二頁 送價 三、一七〇  
一切は永遠に解脫し行く經過で、而も一切を永遠の解脫に向ける秘曲也。附録に大師の歴史を語る。

現身佛と法身佛

姉崎正治  
菊判布綴 四、一〇〇  
眞宗御開山見眞大師眞鸞上人誕生より御入滅に至るまで御一代行狀を繪圖に著し、通俗に解釋を附し、あれば是を表装して御開山の御偉徳

現代思潮より見たる佛敎の根本思想

友松圓諦  
四六六頁 送價 二、一〇〇  
獨乙の碩學ホフマンの原著にして何等の豫備知識なく佛敎を知り得る無二の良書なり。譯文流麗にして芳麗の文亦一讀三誦に値ひす。

弘法大師影像圖考

水原堯榮  
菊判洋裝 三、一〇〇  
大師の御像三十五種をコロタイプ版にして、その信仰する者研究する者の共に讀むべき名著だ



密畫 弘法大師御一代之繪圖	根本佛教	根本佛典の研究	根本佛教異譯聖典叢書	史上の親鸞	死生考	支那佛教思想史	釋迦の生涯と思想	釋迦牟尼小傳	釋迦牟尼傳
文學博士 姉崎正治	文學博士 長井眞琴	京都大學 印哲會有志	中澤見明	眞繼雲山	橋 惠勝	小林篤里	井上哲次郎	堀上謙徳	文學博士 常盤大定
袋一枚 入刷送價 〇、一五	菊判布裝價 二、一四	菊判布裝價 三、二八	美裝各冊送價 二、一〇	菊判洋裝價 一、一五	菊判布裝價 四、二八	四六判ホ装送價 二、〇〇	菊判洋裝價 一、三〇	菊判洋裝價 一、一五	菊判洋裝價 一、二〇
眞言宗開山弘法大師御誕生より御入滅に至るまで御一代の行狀を繪圖にして大師の御偉徳を常	佛陀釋尊の大悟に發し、其人格的感化に溯り得	依つて出づる所以を指示したる權威書。	の研究より全體を見んとするものは先づ律藏	の研究より全體を見んとするものは先づ律藏	の研究より全體を見んとするものは先づ律藏	の研究より全體を見んとするものは先づ律藏	の研究より全體を見んとするものは先づ律藏	の研究より全體を見んとするものは先づ律藏	の研究より全體を見んとするものは先づ律藏
文陽堂書店	博文館	天地書房	表現社	星鳳社	丸木書店	文藝社	文榮閣	丙午出版社	佛敎館

密畫 釋尊御一代記之繪圖	釋迦牟尼佛像	信仰はどうして得られるか	眞宗學序説	眞宗大義	眞宗の正しき安心	親鸞鑽仰	親鸞聖人御消息集研究	親鸞聖人筆跡之研究全
野依秀一	羽栗行道	金子大榮	石川舜台	石川舜台	拓植信秀	眞宗の世界	文學博士 辻善之助	文學博士 辻善之助
袋一枚 入刷送價 〇、一五	小形並製價 〇、三〇	四六判送價 一、〇八	洋判上製送價 二、一五	洋判上製送價 二、一五	美裝送價 一、一七	菊判並製送價 〇、五〇	菊判並製送價 二、一〇	菊判並製送價 二、一〇
釋迦如來御誕生より涅槃に入り給ふまでの御一代記を繪圖にして常に御偉徳を拜し給へ。	信仰の深い事と奇行で有名なサマキ庄松の言	著者自身の経験と補として、誰れもが最も迷ひ	著者曰、私は敢てこれを定説とせんとするも	の根本精神を説くもの著者五十年の勞果也。	親鸞の關する類書は一時非常な刊行されたが	手紙にその人の眞實である。聖人を眞に理解	著者が史學會に於ける講演筆記に多少の修正	著者が史學會に於ける講演筆記に多少の修正
文陽堂書店	大日本眞宗	大日本眞宗	大日本眞宗	大日本眞宗	大日本眞宗	大日本眞宗	大日本眞宗	金港堂



生死の研究	菅原洞禪	菊半裁	二七八頁	送價	一、三〇四	生死とは肉體のみに非ず心の迷ひをも言ふ本行會	日本行會
正信無常觀	高田道見	折本御經	二〇二頁	送價	〇、二二	在家用の御經にして佛教徒は何宗の人でも讀誦されば無量の佛力をいたぐことが出来る	佛教館
絶對の慈悲に浴して	野依秀一	四六判	五八五頁	送價	二、一五七〇	本書は自力ウメホレの骨頂であつた著者が四年の獄中生活に於て考へ抜きたる入信の告白	大日本眞宗宣傳協會
禪學思想史上	忽滑谷快天	菊判洋裝	七九〇頁	送價	六、二五七〇	禪家に未だ曾て思想史あらず、本書を以て嚆矢とす。著者今春文學博士の學位を受く、本書は實に其博士論文であつた。	本玄黃社
歎異鈔の意譯と解説	梅原眞隆	四六判美裝	二一四頁	送價	一、一七三〇	著者は「歎異鈔」に依つて眞實の生命を見出しに依つて救はれたる如何に多くの現代人が歎異鈔に依つて居る。如何に多くの現代人が歎異鈔に依つて居る。思想の根底深き事正に無比。	双樹社
痴愚和尚の遺書	本莊可宗	四六判布裝	五八五頁	送價	二、一五七〇	本書は靈妙の筆を以て、親鸞の根本教義より出でて居る。思想の根底深き事正に無比。	大日本眞宗宣傳協會
通俗觀音經講話	渡邊小洋	四六判洋裝	二〇四頁	送價	一、一六七〇	大乘佛敎の救濟思想を體現せる觀世音菩薩を闡明し各人の日常生活上に觀音さまの大慈悲を顯示すべしと教へた「觀音經」の平易な講話	國民精神社
通俗般若心經講話	渡邊小洋	四六判洋裝	一〇五頁	送價	一、一〇三〇	僅に二百六十二字で佛敎の大哲理を自在に説ける良書にして佛敎初入の手引草でありませ	國民精神社
道徳から信仰へ	羽栗行道	袋一枚	入刷	送價	〇、二二〇	曹洞宗開山承陽大師道元禪師の御誕生より御入滅に至る御一代の行狀を繪圖に著し通俗に解釋を附しあれば是を表裝して開山の御偉徳	文陽堂書店

密畫 日蓮上人御一代繪圖	辻善之助	袋一枚	入刷	送價	〇、二二五	日蓮宗高祖立正大師日蓮上人御誕生より御入滅に至る御一代の行狀を繪圖に著し通俗に解釋を附しあれば是を表裝して高祖の御偉	文陽堂書店
日本佛敎史の研究 全	金子大榮	菊判布裝	四一〇頁	送價	二、二八三〇	佛敎の根本的精神を體驗の上に移し來つて佛敎の一致を説く。研究極めて眞摯な生命あり	岩波書店
佛敎序説	高神覺昇	四六判	三五〇頁	送價	二、一五七〇	新しき佛敎論にして近來稀有の名著也。既に各宗大學に競つて指定参考書に採用せらる	甲子社書房
佛敎信仰の極致」改題 絶對の慈悲に浴して續篇	野依秀一	四六判布裝	四八八頁	送價	二、一五七〇	著者が絶對の慈悲に浴した以後に於て時々感ぜられた信仰問題及び著者の回答を與へた好快著	大日本眞宗宣傳協會
佛敎心理の研究	橋 惠勝	菊判布裝	二二四頁	送價	二、一〇二〇	大藏經に散見する心理説を纏めたるもの、合理的に見作佛せんとするには心理過程を觀察して心理的事實に注意せなければならぬ。	丸木書店
佛敎の要諦	立花俊道	四六判布裝	五六〇頁	送價	三、二二〇	此書は印度マラス大學ナラス教授の名著で佛敎の智識を得んとする人は必讀すべき名著で歐米の諸大學でも指定参考書としてゐる。	玄黃社
佛所行讚	寺本婉雅	菊半折	三二六頁	送價	一、一五〇〇	本書は印度文學開拓の先驅者たる馬鳴菩薩の力創作として佛敎の華である譯者多年の努力	世界行會
佛陀傳	長井眞琴	四六判	二二四頁	送價	一、一八〇	佛陀の傳記としてわが國唯一の書にして、著者巴利佛敎界の世界的權威、多年の蘊蓄は	甲子社書房
佛陀の言葉	友松圓諦	四六判	一八八頁	送價	一、一八〇	法句經は佛敎根本聖典にして四百廿三の短句に何れも吾等の指針たり。其の現代語譯が本書	甲子社書房



佛陀の思想と生涯	鈴木重信	二〇七頁	一、一五〇	最も厳正なる史實により佛陀の一生を叙し、其思想の教理を説き、高楠博士校閱推獎の好著也。	甲子社書房
增補 佛陀の聖訓	文學博士 常磐大定	八三四頁	一、一八〇	眞理は危激の裡に宿らざる、理想は浮華の中に於て、本書實に一流の清涼劑を供す。	博文館
佛陀の福音	小林篤里	四六頁	〇、四〇	佛陀の教は深遠である。吾々の日常生活に正言しき進路を示したものである。本書は佛陀の言葉の中吾々の生活に適切なるものを抄録す。	文藝社
密書 普門品略解之圖	袋一枚	一枚	〇、一五〇	觀音經普門品を繪圖に著し通俗に解釋をして、一目して普門品の眞隨を知るを得べし。	文陽堂書店
巴利法句經	長井眞琴	一七頁	〇、五〇	佛經の森嚴な道德觀が到る處現はれてゐるの句は本經である原名をダンマパタといひ聖教詩の義逐字譯と別に漢譯をも對照されてゐる。	世界行會
梵譯法華經	河口慧海	四四一頁	一、一五〇	此聖典の正統を傳へたものは僅かに西藏譯典得ることが出來たのは吾人無上の歡喜である。	世界行會
法華經講義	本多日星	全一冊 各二〇〇頁	三、一八〇	法華經が世界に特異の一大寶典たるに世既に評あり、苟くも思想の泉源を汲んで正明に信解を得んとする人の必讀すべき解義書。	博文館
法華經の行者日蓮	文學博士 姉崎正治	五九四頁	三、一八〇	仰げば愈々高く探れば益々深い日蓮上人の人格を發せざるもの、日蓮に關する第一書。	博文館
趣味と研究と 佛様の戸籍調べ	醍醐惠端	二六〇頁	一、一六〇	百十餘佛をズラリと列べ親子兄弟は元より品行性實素行に至る迄遠慮なくさらけ出されて奇拔で滑稽中にがい博なる研究がある。	二松堂
漢和 妙法蓮華經	島地大等	八六〇頁	三、一六〇	法華經全部の漢譯と和譯とを對照し共に正確な振假名を附し且つ其の大要梗概を説明し註明の字句を解釋した字典と歌集を添ふ。	明治書院

基督教

校註 蓮如主人御文全集	禿氏祐祥	四五〇頁	四、二〇〇	内容大要一寫眞版六葉一五帖御文一帖外御文(以上約二百六十餘篇)一和歌集一御文解説一別本解題一上人年譜一譜如上人の生涯	文獻書院
私はかうして眞宗の信者になりました	野依秀一	五九頁	〇、二一五	多年「實業の世界」社長として實社會を縱横に馳驅して居た著者が、何故今や最も熱烈な眞宗信者となつたか、その入信の経路を説く。	大日本眞宗宣傳協會
日蓮聖人傳十講	山川智應	四六八頁	四、一五〇	現代日蓮主義の權威者が二十有餘年研究の結晶を發表された。大判八百七十頁の大巻、宗教界思想界稀觀の一大名著は即ち是れだ。	新潮社
日蓮聖人の足迹	螢澤藍川	三三八頁	一、五〇〇	身延を中心とする日蓮聖人の足迹を尋ねた、草鞋の中心とせる日蓮聖人の一木一草に燃ゆるが如き感情を注いだ感激の記である。	同
和譯法華經	山川智應	九七〇頁	三、二〇〇	流暢なる假名交り文に譯し、從來訓讀の舊觀を一變して日本語的の法華經となした。附録に法華經大意の外、各種の詳密なる索引がある。	同
聖フランシスコの花	久保正夫	四六三頁	一、一五〇	フランシスコとその門人との天真爛漫な生活の記録である。第二の聖書とも云ふ可きいみじき信仰の書で、彼を知るには此書第一である。	同
日曜學校 愛の神と其よき子供 幼稚科教案	協 日本日曜學校會	二〇六頁	一、〇六〇	直接間接資料、教話、教材教授上の注意等懇切丁寧で、兒童心理、手工迄含まれ、最も實用的研究的權威ある唯一の教案である。	日本日曜學校協會
阿彌陀佛より基督へ	道 旗泰誠	二六〇頁	一、一五〇	佛門より基督教に轉じた著者が阿彌陀佛を否定し三部經の内容を批難し基督教の尊重信仰すべきを論じたる佛耶兩教信者に依て興味ある書。	警 醒 社
イエスを尋ねて	伊藤宗輔	四六三頁	〇、五〇〇	星の導くまゝに旅をして然も他の博士達と共た「も」人の博士が終にイエスに邂逅する物語。	厚 生 閣



イエス研究	ボスオリス 千葉勇五郎譯	型洋装 二七五頁	送價 一〇四六〇	ボスオリス博士多年の蘊蓄の結晶によつたもので、研究に導くやうに編まれたものである。	開拓社
イエスの宗教と其眞理	賀川豊彦	天金函入 四六判	送價 二、二七〇	過去二十年間身を以て體驗せる基督の眞理を、赤裸々に傳へたる書。	警醒社
福音書に現はれたるイエスの姿	賀川豊彦	紙六判 四六判	送價 〇、六四〇	本書は現實的な人間的なイエスの姿を浮彫の生唯一人の傳道書。	警醒社
イエスの内部生活	賀川豊彦	四六判 三二〇頁	送價 二、一七〇	イエスの意志、感情、智慧性格等に就て心理的省察を試みたもの。	警醒社
イスラエル物語	大橋房子	三〇〇頁 三二〇頁	送價 二、一七〇	舊約時代の物語を少年少女のため解り易く現代文を以て書き替へた我が女流作家の處女作である。絶好燻邊の讀物。	警醒社
永遠の智慧	大川周明譯	三〇〇頁 三二〇頁	送價 一、一七〇	本書は其名の如く永遠の智慧である。それは東西古今の聖賢が、神と世界と人とに就て、思索體得したる處を、綜合統整したるもの。	警醒社
物語 エステル姫	鈴鹿正一	三〇〇頁 三二〇頁	送價 一、〇四〇	舊約物語に精通する著者得意の壇上を筆にし、體得したる處を、綜合統整したるもの。	校日本日曜學
求安錄	内村鑑三	四六判 二一〇頁	送價 一、一五〇	本書は内村先生が如何にして罪を脱し贖罪のすらな刻心打骨の至つたか、と云ふその間のひたすらな努力の軌跡を歩んだ徑路を	警醒社
日曜學校 舊約建國物語	協日本日曜學校會	四六判 二〇〇頁	送價 〇、七五〇	日曜學校中等科の教案である。權威ある無比の教案である。	校日本日曜學
舊約こども聖書	芦谷芦村	四六判 三六〇頁	送價 一、一八七〇	舊約聖書中の重大な歴史的事實と傳説を子供に宛てて面白く書いたもの。好参考書。	校日本日曜學

舊約聖書教授法	赤星仙太	四六判 一五〇頁	送價 〇、五四〇	日曜學校叢書第四篇である。エドワード・マツチの原書に、赤星氏の譯も亦よくその眞理を現はす。	校日本日曜學
逆境の恩寵	徳永規矩	四六判 一五〇頁	送價 一、〇六〇	著者は病褥にあつて神を發見し、逆運來る毎に宛然龍の雲を獲たる如く靈性此に乗じて聖域に達せる信仰の人。	警醒社
逆境の福音	綱島佳吉	四六判 二四〇頁	送價 一、一五〇	明治大正を貫く大傳道家説教家として内外の求道者より敬慕されつゝある綱島先生の神の恩寵と基督の救を證せる火の如き説教集。	警醒社
基督教講話	山室軍平	四六判 四七〇頁	送價 二、一三〇	偉大な平民宗教家たる著者が其口に言ふ所の心に感ずる處を以て實行する救世軍特有の實踐的基督教論。	警醒社
基督教の起源	波多野精一	三〇〇頁 三二〇頁	送價 二、一〇七〇	本書は著者が帝大文科の講座に於て神學や宗基督教の根柢を明らかにせんと論攻せる好個の書。	警醒社
基督教の本質	小崎弘道	四六判 三〇〇頁	送價 二、一〇七〇	「基督教の本質如何」と云ふ疑問と解決を最も平易に通俗的に論説し何人にも解し易からしめたるもの。	警醒社
基督教要領	柳原貞次郎	四六判 一五〇頁	送價 〇、六五〇	傳道用書として正に天下一品だと各教役者が推賞して止まぬ。内容八章に分ち平易簡單に要諦を盡し基督教の大系を府觀せしむ。	開拓社
基督再臨問題講演集	内村鑑三	四六判 二四八頁	送價 一、七三五	基督再臨は實に世界宗教界、思想界の最大問題也。本書正に眞摯深遠なる講演集たるを信ずり。本書に眞摯深遠なる講演集たるを信ずり。	岩波書店
基督信徒の慰め	内村鑑三	四六判 紙六判	送價 〇、七六〇	先生の著書中最も多く讀まれ且つ力と慰めを與へた書として如何にして人生の苦惱に打勝つて行くかを説いた先生自らの體驗より採み出	警醒社
基督傳教授法	赤星仙太	四六判 一五〇頁	送價 〇、五四〇	日曜學校叢書第五篇である。バークレイの原著は要を盡した良著として定評あるものを譯者其人を得て益その眞理を發揮してゐる。	校日本日曜學



キリスト傳	野邊地天馬	菊判二切	三〇頁	送價	一、〇四八	最も平易簡單なるキリスト傳で、極めて興味ある。各地求道者に盛に愛読されてゐる。	開拓社
きりすと傳(前編)	柴田勝衛著	四六判	二四〇頁	送價	二、一〇七	無神論から突如基督に還つた無産派の文豪が、基督傳として推賞されてゐる。	警醒社
基督に倣ひて	トマス・アケムヒス	四六判	四二〇頁	送價	二、一五八	七十一年の長年月を修養院に孤獨と沈黙との内に送り密室の祈禱と瞑想とに浸る。徹底的に内面生活を辿れる信仰経験を記せる世界的聖典。	新生堂
基督の福音	小林鶯里	四六判	美表装	送價	一、〇四〇	信仰は吾々精神生活の根柢である。本書はキリストの言葉を抄録したもので、一讀を望む。	文藝社
苦痛の福音	内村鑑三	四六判	一八〇頁	送價	一、一五〇	人生に苦痛は多い。ただ純眞の福音の力のみで、十篇執れも慰むることが出来る。收むる處敷く、苦難に悩む世の兄弟達よ、しほし心を空しくし、難の人の「受難の哲理」を聴うではないか。	警醒社
苦難に對する態度	賀川豊彦	四六判	天函入	送價	一、一八七	日曜學校叢書第三篇である。學校教師又は教育に關係する人々の爲に簡潔に教育心理の要項を記したものである。	日本日曜學校協會
教育的心理學	柳原貞次郎	四六判	四六頁	送價	一、〇五〇	思想の動搖生活の不安の現代に著者フオスナック博士は信仰の原理より現代人の信仰問題について説く。本書は讀者に多大の感銘を與へん。	拓社
現代の信仰觀	栗原基	四六判	五〇〇頁	送價	三、一五六	靈感を揮ひ本書を物す。灼熱の愛、純一の信仰、博大なる愛は著者の人格を通じて一大説開教集となれり。基督教界の大收獲たるを疑はぬ。	拓社
幸福を求むる人へ	柳原貞次郎	四六判	一二二頁	送價	一、〇九〇	基督教兒童說教書として、權威的なもので、特別日曜學校、イエス傳等の各項に分ち優れたるもの廿五篇。發賣三ヶ月にして四版を出す。	日本日曜學校協會
兒童說教 子供を真中にして	上澤謙二	四六判	二二〇頁	送價	一、〇五六		日本日曜學校協會

沙漠は番紅花の如く	藤井武	四六判	二七〇頁	送價	一、一五七	靈性完成身體復活萬物復興を希望する希望の子即ち「沙漠は喜びて番紅花の如く咲く其時を望む」基督教者たる著者の信仰と思索の論集。	岩波書店
聖アウグスティヌス懺悔錄	中山昌樹	四六判	五〇〇頁	送價	三、一〇八	人間靈魂の最も深い内的経験を赤裸に表現せる世界三大懺悔錄の一人也。熱沙の如き情慾と清澄星の如き心霊との巨人的闘争史也。	新生堂
自然科學と宗教	工學博士 佐藤定吉	菊判	一〇〇頁	送價	四、二五三	科學の發達は神の存在を否定した。博士は帝大に自然科學を講じつゝ同時に街頭に神の實存と神と科學との合一性を叫ぶ。萬人必讀書。	厚生閣
詩篇	左近義弼	菊判	四六六頁	送價	二、一五〇	選民イスラエルの豫言者等が一千年の間、民の興敗を喜び悲み笑ひ泣き祈り讚美せるもの。ヒブリア語の原書より譯編せるもの。	聖書改譯社
詩篇の話	ヴァンダイク 田中龜之助譯	四六判	二一四頁	送價	一、一五〇	詩篇の中に秘められたる尊くも不思議なる生命は幾千年の間を貫いて、人生苦悶の能力となり慰藉となつて今日私達に傳つて來た。	厚生閣
宗教々育史	海老澤亮	四六判	四六頁	送價	一、〇五〇	日曜學校叢書第六篇である。日曜學校の精神からその起源に溯つて之を説き現今の隆盛を極めるに至つた経路が懇切に説述してある。	日本日曜學校協會
宗教座談	内村鑑三	四六判	製送價	一、〇七〇	宗教座談は特に先生が求道者のために最初打祈禱、奇蹟、靈魂、復活、永生、天國等に就て。	警醒社	
食前の感謝	伊藤宗輔譯	菊判	三七三頁	送價	一、一〇五	食前の短い感謝の祈りは家族打集ふて神と交感するところを特殊の意義がある。その模範的祈り三百六十を配して家庭聖化の即とす。	厚生閣
信仰五十年史	田村直臣	四六判	三四八頁	送價	二、一〇七	著者の基督者として春風秋雨見事に宗教界に盡したる五十年の波瀾多き戦闘的生涯を叙し、たもの音に宗教界の人々のみの讀物とす。	警醒社
信仰に生きて	武本喜代藏	四六判	二八〇頁	送價	一、一六〇	基督に生きる著者の三十年來の宗教的體驗記集にもあらず。生ける著者の信仰告白書也。	警醒社



信仰日記附歌ころ	内村鑑三	菊半裁判 三三二頁送	一、三三〇	信仰生涯の偽らざる貴き心霊の記録。日記と巻末に歌人ならぬ著者の歌集「歌ころ」を添	岩波書店
信仰の生活	植村正久	四天六判 一四〇頁送	一、二六〇	信仰の偉人として文壇の重鎮として美彩を放ちたる植村正久氏は清濁と筆の遺稿である。	アルパ社
新 生	藤井武	假綴略装 二四六判 一〇〇頁送	一、七三〇	著者が身に餘る恩寵を獨りて忍びず、氏が公にせし者。渺たる小冊子に過ぎざるも、憐なき人生の彼岸にこそ減びなき新天地がある。科学に徹して神を發見した博士の本書こそ、惱める現代人への最大の慰藉と光明である。	岩波書店
人生と宗教	工學博士 佐藤定吉	四六六判 二一六頁送	一、八五〇	限りなき人生の福ひを歌つた最も美しい詩であり、喜に満ちた止みません。人を希望と	厚生閣
人生のうた	藤井武	菊半裁判 三三二頁送	一、六一〇	此の書は世の少年少女をして基督の人格の光輝に觸れさせ、全部の感化を與へようとして書いた福音書の殆ど全部を平明な現代語にて書いた	岩波書店
新約こども聖書	芦谷芦村	四六六判 二四〇頁送	一、一三五〇	信徒が種々の問題に就て新舊約聖書中より適當なる聖句を引出さんとする場合に、自由に	警 醒 社
聖 書 辭 典	田村直臣	四六六判 七四〇頁送	三、二〇三〇	世界の常識の書聖書も初讀の人々には解し難き辭句の少なしとせす之れが在來の缺陷を補ふべく聖書に關する最初の常識を簡易に解説	警 醒 社
聖書の常識	警 醒 社	紙四六六判 二〇〇頁送	一、〇二六〇	神の立場より峻烈に罪を裁き青年は何を慎み何を勉むかを教へ情慾問題の徹底的解決法を説きたる深刻なる感動と激勵を與へ來つた書	警 醒 社
青年への警告	山室軍平	一四六判 一〇〇頁送	〇、二四〇	今日より三千年前の史料より成れる天地創造の祖傳をヒアリ語の説明より譯編せるもの。	警 醒 社
創 世 記	左近義弼	四六六判 三八六頁送	二、〇〇八〇	「聖書之研究」誌巻頭に連載せられし論文を蒐めて成れる者。著者獨特の英文を以て内外人に何ひ恐れず其信する所を語つて居ります。	岩波書店

英和 獨 語 集	内村鑑三	菊半裁判 一八〇頁送	一、一〇三〇	「聖書之研究」誌巻頭に連載せられし論文を蒐めて成れる者。著者獨特の英文を以て内外人に何ひ恐れず其信する所を語つて居ります。	岩波書店
日曜學校教授細目	協 日本日曜學校會	四六六判 一〇〇餘頁送	〇、三二五〇	日曜學校に於て、各特別に教授すべき教案の細目を録したもので、課題と聖書の引照を録する。	日本日曜學校 協 會
日曜學校讚美歌	協 日本日曜學校會	菊判總ク 一七〇餘頁送	一、〇〇八〇	讚美歌八十、前奏曲四、行進曲三、獻金曲交切。朗讀聖句、開校例詞、祈禱、禮拜の資料一切。斯界に新光を與ふる權威ある歌集。	日本日曜學校 協 會
日本日曜學校年鑑	協 日本日曜學校會	四六六判 一〇〇餘頁送	〇、五四〇	日本に於ける最初の日曜學校年鑑であり、日本日曜學校に關する事は細大もらさず記載してあります。	日本日曜學校 協 會
日々の祈り	松本雲舟	四六六判 送價	一、八二〇	本書は古今聖徳の祈を集めて三百六十五日に配附し以て基督者の遼奥な精神を養ふ祈の模範たらんとす。	警 醒 社
五週 日々の聖訓	田中龜之助	三三五判 四一六頁送	一、一五五〇	人生の苦難に遭遇せし時神の力を得んとせば十二週に聖句を配列し味徳體感せしめんとす	厚 生 閣
病床を道場として	大谷信夫	四六六判 二〇〇頁送	一、〇五八〇	著者は七年のあひだ重病に罹つて居るが信仰の力に依つて本復に向ひつゝある本書に病問の體験録である病者の慰めである力である。	アルパ社
神の最 黙示録を讀む	景山 質	四六六判 一九〇頁送	一、一五五〇	聖ヨハネがパトモス島に流刑鐵夫として苦役して後、神恵の幻を得て悟り、天國と地上、愛と審判とを叙した宗教哲學の解説。	厚 生 閣
日曜學校模範の友なる 初等科教案 イエス	協 日本日曜學校會	四六六判 二〇〇餘頁送	〇、七五〇	日本に於ける日曜學校教案として本書の右に出るものなしとの自信ある教案である。	日本日曜學校 協 會
耶蘇教の初代	左近義弼	四六六判 二三四頁送	一、〇五八〇	教主耶蘇基督の昇天後、弟子等の傳道と迫害の趨勢を記せる使徒行傳を希臘語より譯編	聖書改譯社



新約聖書 耶蘇傳

左近義弼 二判布製 四、〇八〇

新約聖書の四福音書に録する教主耶穌基督の言行を希臘語の原書より略し、逐語譯に、且聖書改譯社

英余は如何にして 基督教徒となりしか

内村鑑三 二判紙製 一、〇六〇

文豪ストリンドベルグは本書を讀んで「異邦人も神を知るために斯くも苦しむか」と叫んでゐる。本書は既に世界各國語に反譯されて

ルーテル傳講演集

内村鑑三 四判六頁 一、三〇〇

ルーテルの生涯中最重要なる叙説を採り、著者に求むべきもの、此以上生々しく説かれたり

ルーテルの生涯及事業

藤井武譯 四判六頁 一、一八〇

世界の産出せる最大偉人の一人。ルーテルの波瀾万丈の生涯、内的苦悶の末途に信仰の

靈性の危機

植村正久 三判上製 一、〇〇〇

福音教界の大領袖たりし故著者の著名な説教集を、靈性の危機、青年のため神の祭壇を指

我等の講壇より

日本基督教會 四判六頁 一、〇〇〇

組合教會の代表的牧師十數氏が主によつて與へられた一切の體驗、思索、生命を吐露せる

雜教

大本教の解剖

中村古映 三判洋製 三、〇〇〇

教祖眞筆の御筆先教主眞筆の御筆先眞實版冊之に、嚴正なる批判を加へたものである

切支丹宗門の迫害と潜伏

姉崎正治 四判布製 三、一八〇

鳥原亂以來明治の初年に亘る間のキリシタン宗門の潜伏の跡を、博士一流の眼識を以て究明

心の女良 御道の寶

小倉鳴鳳 四判六頁 一、〇〇〇

病の元は心からと天理教祖が仰せられ心の改良が出來れば病は根治すると云ふ教理から四

哲學

愛と認識との出發

倉田百三 四判六頁 二、〇八〇

作者として人間の哲學的要素の多大な著者が善悪の底より本質的な考へ方をなしたるもの

アインシュタインと其思想

竹内時男 二判上製 一、二〇〇

權威あるアインシュタインの紹介者たる著者は彼を生かす、興味を興味として、更に相對論

哲學古典(1)アリストテレス詩學

松浦嘉一 二判布製 二、二〇〇

古代希臘の悲劇から一般的法則を抽象すると同時に世界に於て初めて藝術に對し藝術それ

意志と現識との世界

姉崎博士譯 七五〇頁 各三、三〇〇

シヨメンハウエル氏の哲學は近世思想とギリシヤ思想との融合、東洋思想と西洋思想との聯鎖、この大博

印度哲學研究

宇井伯壽 四判六頁 四、二七〇

著者は我國印度哲學界の最高權威。二十年の研究を傾け、本書を爲す。而も本書は著者の

宇宙及人生

増富平藏 四判洋製 四、五〇〇

本書は世界的名著たるシヨメンハウエルの本語譯である。譯筆の明快は云ふ迄もない

宇宙の謎

栗原古城 六判布製 三、〇〇〇

著者ハツケル博士は獨逸に於ける科學界の大賢で、原書は發賣後本國にて既に數十萬部を

永遠への理想

石原純 三判布製 一、一八〇

私は先自分親らを見詰めて進んで人間の求め究むべき處を尋ねました汚濁に充た人間の

行の哲學

紀平正美 四判二頁 二、二七〇

行の哲學とは人門文化の動力の研究である、從て藝術、宗教、科學、哲學、又其等に應じ



懷疑・知識・信仰	外來思想と我國民道德	科學概論	現代哲學に於ける科學と宗教	科學の價值	哲學上の感覺、時間、空間	ガンヂー論	カントと現代の哲學	カントと現代の哲學	カント純粋理性批判 卷上	
陶山ヒツテ	深學博士 安文	田邊元	赤松智城	田邊元	木村俊臣	福永漢	川合貞一	桑木嚴翼	天野貞祐	
四六判 二、一〇五	二七〇頁 送價 二、一四〇	三七八頁 送價 二、八五〇	五二八頁 送價 二、一八〇	四六判 三七八頁 送價 二、一八〇	四六判 三〇〇餘頁 送價 二、二七〇	一八〇頁 送價 二、一三〇	二八二頁 送價 一、一八〇	三四〇頁 送價 一、一八〇	五七〇頁 送價 四、二七〇	
人生の意義は何ぞ大哲フイヒテの明快なる解は迷へる羊に歸りゆく魂の故郷を教へし聖書	思想界の激動其極に達せる時其指導者なくば我國の將來は憂ふべきものなり本書は此指針と	批判哲學の見地より科學に依て立つ所の基礎學の諸立脚地に關説し其全體の歸趣を明にす	佛蘭西第一の碩學アトール博士の大作を現出せるもの、科學と宗教に關する固執せる思想と高遠なる研究とは好學者の精讀に値す	原著は著者の數ある著述中最有名。文章秀麗の知識を美しき精神を發露し他に求め難き獨特の攻めを提しき精神を發露し他に求め難き獨特の知識を美しき精神を發露し他に求め難き獨特の	多病多感の哲人が擗裏十年思索の結晶！而も一度稿を失ひ死に臨んで再び稿を繕せる絶筆。永井潜博士の激賞措かざる名著	カンヂーは印度が生んだ一大哲人也。西歐の光明を投じたこの新人道の建設者を論じた名篇	現代哲學の精髄を知らんとする廣い世間に向つて紹介と解説とを試みたものである	目次カントの自然觀。カントの物自體論に就て。カントの政治哲學に就て。問題として	カントの名を不朽ならしめし最重要著作。批判哲學に同すると否とに拘らず苟も哲學に必要とする者に取て本書の或いは不可避的に必要	カントの名を不朽ならしめし最重要著作。批判哲學に同すると否とに拘らず苟も哲學に必要とする者に取て本書の或いは不可避的に必要
アールス	博文館	岩波書店	博文館	岩波書店	文化生活会	アールス	東光閣	岩波書店	岩波書店	

カント實踐理性批判	カントと現代の哲學	カントの實踐哲學	カントの法律哲學	カントの目的論	改聖き愛の世界へ	アトチ希臘天才の諸相
波多野精一	桑木嚴翼	安倍能成	船田享二	田邊元	帆足理一郎	和田中哲秀
四六判 三七八頁 送價 二、二八〇	四八〇頁 送價 三、二七〇	二四〇頁 送價 一、一五〇	三五〇頁 送價 二、一八〇	一五五頁 送價 一、一八〇	四八〇頁 送價 二、一四〇	四六七頁 送價 二、一五〇
近代哲學者の奮斗たるカントの熾烈、森嚴なる道徳感に參し其根本なる道徳原理の究明に與り彼の本體を觀ふは獨り本書に待つのみ	二十世紀一切の思潮はカントの批評哲學より流出て復て現代を研究する事に他ならず	カントの道徳哲學實踐哲學の精神は本來普遍に當りて復て現代を研究する事に他ならず	カントの法律論乃至國家論を闡明した好著。カントの法律哲學研究の代表的名篇である	大聖カント誕生二百周年記念に我國に於て此の著者により本邦最初の最高なる學術研究書としてその文獻表れたる事を告ぐ	幽玄なる哲學を背景に著者が常に唱道してゐる聖なる主義の宗教は此増訂せる一篇に一段の藝術的を加へて活現してゐる	希臘精神への手引きとして定評ある名著にして不可能なる以上現代日本人の必讀すべき書也
岩波書店	岩波書店	岩波書店	清水書店	岩波書店	博文館	岩波書店



近世哲學史(上)

北 吟 吉 菊判美裝 各三、五〇 復興期に起し歐洲文明の合流地近代思想の大出早稲田大學

和ケール博士續小品集

久 保 勉 四六判 二、五〇 崇高なる人格より流露せるケール先生の思想は神と哲人と文藝に對する誠實なる信仰の告白。圓熟優雅天來の啓示に富む。譯文高雅

ケール博士續々小品集

久 保 勉 三三五頁送 二、〇〇 互れる其博大なる學識と深遠なる理解とを傾けて文學の諸種類を論じたるものである。

藝術と道德(改訂版)

西田幾多郎 菊判布裝價 二、三〇 目的。美の本質。感情の内容と意志の内容。反省的批判の對象。眞善美の合一。作用の意。岩波書店

現代思潮十講

桑木殿翼 菊判洋裝價 二、三〇 現代思潮の源泉を辿り精確に其の變遷沿革を推究して實證主義と理想主義との論理的發展を講述したるものなり。

現代思潮大觀

同文館編輯部 菊判布裝價 三、五〇 哲學、倫理、文學、心理、社會、經濟、宗教、教育、等精神科學上の新思潮を網羅して現時混沌たる思想問題を根柢的に闡明する。

現代哲學講話(一)

村瀬哲人 四六判 一、八〇 現代に於ける哲學の各學派に涉り何人にも理解し得るやう尤も平易に通俗に書れて居る哲學入門書として此の右に出るものばなからふ。

現代の哲學

高橋里美 菊判布裝價 一、八〇 實證主義批判主義主義實用主義直觀主義の價値の哲學新實論等に亘り略現代哲學の大綱を擧げ説明し批判し去て極めて明快懇切。

國家新論

上杉慎吉 菊判美裝 一、三〇 博士の「國家は最高の道德なり」てふ國家學說の根本思想より國家の哲學的理論を論述し「日本は其のまゝに理想國家なる所以を示す」

社會哲學體系(2) 國家哲學

高橋正男 菊判美裝 三、七〇 政治學說發達史の叙述よりプラトーン、アリス、トテレス、セネカ、アントニン、マキアベリ、ボツプス、ロツク他近世十大家の説を收む。

國體觀念の研究

池岡直孝 菊判布裝價 一、九〇 偏狹固陋なる舊思想に泥まず、西洋思想を盲信。ざる態度を保持し普通妥當なる新案を求め以て國體觀念の歸趨する處を闡明したる者

國體國是及現時の思想問題

文學博士 建部 遜 吾 菊判洋裝價 四、〇〇 社會學の權威者建部博士が嚴正なる學術に立脚して我が國體の眞髓を闡明し國是の何たるべきかを指示し兼て誤れる思想を警醒せり。

國體論

文學博士 遠藤 隆 吉 菊判布裝價 二、五〇 世界の思潮に通曉し、冷汎穩健なる思想を以て日本の國體を研究されたもので人々讀の嚴松堂書店

社會科學大系(全) コント實證哲學

波多野 密 菊版美裝 三、七〇 ミルがコントの思想を批判檢討したもので英大なる打撃を受く「功利主義論」を附す。

原著 根本經驗論

永野 芳 夫 菊判洋裝 三、三〇 哲學者として大天才アエイムズ氏の發表したブログマチズムは世界的一大問題となつたが本書は其よりも更に哲學的に意義深きもの。

最近の自然科学

田邊 元 四六判 一、八〇 物理學を中心として最近自然科学の根本理論を示し、更に自然科学對哲學の問題を説きて快刀亂麻を斷つが如し。

死後は如何

栗原 古城 菊判布裝價 一、九〇 人間の死後は如何、絶滅か永生か、將た「醒むるなきの睡眠」か、現代第一の文豪たるマールテリングは本書にて此大問題を解決せり。

思索と體驗(增訂版)

西田幾多郎 菊判布裝價 一、八〇 法則。認識論に於る純論理派の主張に就いて歴史學。ベルグソンの哲學的方法論他九項。

自然と文化との諧調

笹川 臨 風 菊判布裝價 二、二〇 我が文化史の一面、我が文藝史の側面を觀察せる名著にして自然を背景とせる建築。美術の趣味深き研究であり解説である。

實生活と哲學

村岡省吾 菊判布裝價 一、五〇 自己の問題を解決するため、著者はカンでなく、自ら哲學的思索に他ならない。



支那哲學史概論	渡邊秀方	菊判洋裝 五、一八〇	◆支那哲學に於ける在來の研究は皮相的で史料の選擇にも學的根據の把握にも不備の點が頗る多い之を補正して支那思想の淵源變遷	早稻田大學出版部
社會哲學の諸問題	文學博士 鈴木宗忠	菊判 三、一〇〇	社會哲學の諸問題と著者独自の見を以て明快に説述せられたるもの。	天地書房
社會哲學體系(3)	ウオッペルミン 景山哲雄譯	菊判美裝 三、七〇〇	カント、ゲエテ、フイヒテ、ヘーゲル、シヨンメル、オイケン他十四大家の説を收む。	而立社
宗教文化の創造	松原 寛	菊判上製 三、二五〇	宗教文化の建設を以て人生最高の價値創造なりとする少壯哲人が、眞理の法燈を擧げて現代宗教を批判し、自家の宗教教育論を提唱す。	厚生閣
純粹美學原論	小笠原秀實	菊判洋裝 二、一八〇	何う云ふ假定もなしに精神が精神としての自ら全なるものが何うして他のものを産み出すのであらかの問題に付て詳記せる一篇である。	弘華閣
處世哲學	增富平藏	菊判布裝 二、一八〇	「人間を知らざる偉大なる哲學者たるシヨ氏」が晩年に於ける深遠の觀察と老熟の思想となを擧げて人間處世の妙諦を説けるもの。	玄黃社
進化と思想	松村松年	菊判 三、一〇〇	生物學を根據とし一世の名文を驅つて現代哲學倫理宗教教育の改造を叫び、引例豊富識見大該博警世の大文字にして又趣味溢るる科學書	日會本
新カント派の哲學と其教育學說	渡部政盛	菊判布裝 二、一五〇	新カント派の哲學の如何なるものであるか其梗概を平易に講説し又如何なる教育學說が其てあるか次に哲學と教育學說との關係を説く	啓文社
人生達觀	增富平藏	菊判布裝 二、一七〇	人間を達觀せる偉大なる哲學者シヨ氏の人生觀である。苟も人生の眞相、人生の歸趨を知らんとする讀者に取つてはこれ以上の書はない	玄黃社
人生論十二講	江西小彌太	菊判上製 二、一八〇	世界十二大聖哲の人生論大集成である。目次、基督釋迦トルストイ日蓮ニイチエ老子孔子エマソン等	越山堂

生物學 上より 死	醫學博士 竹中繁次郎	菊判洋裝 一、一八〇	生は奇なり死は歸なりといふそれでも死ぬのめは誰でもないやだらう活きたるための生か死ぬの命かこの大難問に明答を與へたものだ。	丙午出版社
生命論	藤岡 烈	菊判洋裝 一、一〇〇	有名な生物學者(ヘッケル)に付生物學を、發生力學創生者ルイに付發生學を學びたる著者は、生命の根本的理論を知るには先づ此の書を繙	明治圖書株式會社
西洋近世哲學史	安倍能成	菊判布裝 一、一八七	近世哲學史の權威ゲンテルパンに最近の著述を中心とし復興期より起りてオイケン、ベルグソンの現代に及び思想の精髓を盡す。	岩波書店
西洋近世哲學史 (ローマ字書)	文學博士 桑木嚴翼	菊判布裝 二、一五〇	東京帝大商大早大及女子大等の講義を骨子となして編まれた名著で學界久しく翹望して已まなかつた桑木先生最初の哲學史である。	日本のローマ字社
西洋古代中世哲學史	安倍能成	菊判布裝 一、一八七	近代思想の新知識は其淵源に溯るにより始めて思想を知れりと言はんや。叙述平易明快。	岩波書店
西洋哲學史要	波多野精一	菊判洋裝 二、一〇〇	哲學史の要を得たる點に於て本文の簡明淨潔なるものなし近年は學校教科書にも用ひらる。	大日本圖書會社
絕對運命の精神(前)宇宙觀	大山幸太郎	菊判洋裝 三、一〇〇	日本人の獨創になれる唯一の系統的哲學でその徹底的思想は現代思想界の羅針盤たり教育の根本問題を解決する鍵たるべきを信ずる。	目黒書店
對話篇(辯明)クラテソンの	阿部次郎	菊判布裝 一、一八〇	カント哲學から新しい實在の哲學を創出すに歴史の意義現代に對する豫言的意義に満つ。	岩波書店
ベルグ創造的進化	金子馬治	菊判 三、一八〇	直覺の哲學、流動の哲學、生命の哲學、創造の哲學! 全世界の隔々まで一種深刻なシヨツクと驚嘆とを與へたのがベルグソンの哲學	早稻田大學出版部
社會科學大系(5) 第一 原理(下上)	澤田謙譯	菊版美裝 價上下 各五〇頁送各	學生の大著、綜合哲學の首位を而立社	而立社



現代 哲學 辭典	波岩 哲學 辭典 (增訂版)	哲 學 史 綱	哲 學 綱 要	哲 學 概 論 (增訂版)	哲 學 概 論	哲 學 概 論	哲 學 概 論	哲 學 概 論	小 さい 哲 學 概 論
哲學研究會	昭橋宮 小橋本 熊積和 虎上吉 之野高 助直四 二背四 〇皮六 頁裝倍 送價	北澤定吉	桑木嚴翼	宮本和吉	帆足理一郎	桑木嚴翼	紀平正美	稻毛詛風	佐藤直丸
四六〇頁	二〇〇頁	菊列布裝	菊列布裝	三三二頁	四六〇頁	三三六頁	五九〇頁	六九〇頁	四六〇頁
送價 三、一八〇	送價 五、〇〇〇	送價 二、一三〇	送價 三、二〇〇	送價 一、一八〇	送價 三、一〇〇	送價 一、二八〇	送價 三、二七〇	送價 五、二四〇	送價 一、一八〇
に其の要點を把握し得るのである。	一般哲學研究者の爲めに編述したものである。	哲學史の發展を把握し得るのである。	哲學史の發展を把握し得るのである。	哲學史の發展を把握し得るのである。	哲學史の發展を把握し得るのである。	哲學史の發展を把握し得るのである。	哲學史の發展を把握し得るのである。	哲學史の發展を把握し得るのである。	哲學史の發展を把握し得るのである。
文社	岩波書店	弘道館	太陽堂	岩波書店	新生堂	早稻田大學出版部	岩波書店	廣文堂	廣文堂

哲學體系及其他	哲學大辭書	哲學と人生	哲學の窮乏	哲學の問題	哲學の要領	哲學早わかり	道教概説	東洋思想史概説	日本古代思想史
文學博士 桑木嚴翼	大日本百科辭書編輯所	帆足理一郎	マルクス	中込本治郎	橋本文壽	小林鶯里	小柳司氣太	橋 惠勝	橋 惠勝
二六〇頁	四六〇頁	四五〇頁	四〇〇頁	二二〇頁	三六〇頁	四六〇頁	一三〇頁	三〇〇頁	三〇〇頁
送價 二、一〇〇	送價 一、二〇〇	送價 二、一八〇	送價 二、一八〇	送價 二、一四〇	送價 二、〇八〇	送價 〇、四〇〇	送價 〇、五〇〇	送價 三、一八〇	送價 四、一〇〇
著者が最近の思索と研究の結晶を集録せるも、その論文、解説、感想等、博士が深遠なる蘊蓄の發露にして、我學界に貴重なる文献也。	哲學史の發展を把握し得るのである。	哲學史の發展を把握し得るのである。	哲學史の發展を把握し得るのである。	哲學史の發展を把握し得るのである。	哲學史の發展を把握し得るのである。	哲學史の發展を把握し得るのである。	哲學史の發展を把握し得るのである。	哲學史の發展を把握し得るのである。	哲學史の發展を把握し得るのである。
新生堂	同文館	新生堂	兩立社	三共出版社	實文館	文藝社	世界文庫發行會	丸木書店	丸木書店



日本精神の研究	安岡正篤	四〇〇頁装	二、一六〇	本書は著者が該博な學識と深厚な思索とを以て多年の筆を揮うて得た日本精神の眞髓を獨得の靈筆を揮うて擧揚したものである。	支 黄 社
日本の堅實性	永田秀次郎	二二〇頁装	一、一五〇	本書は吾が建國の古に遡り尊き國史の眞髓を穿つて日本の堅實性を高潮したる快著全國刑務所に於て囚人の教科書として採用される。	敬 文 館
人間苦と人生の價值	帆足理一郎	四四〇頁装	二、一四〇〇	愛の宗教に立脚せる創造的人格主義の一大福音を平明なる筆に托して語れる論文集。鋭利なる解剖刀を振つて人生至難の謎を解く。	博 文 館
リック認識の對象	山内得立	四六〇頁装	二、一〇〇	所謂西南學派を大成した原著者が優秀な其根柢の本思想を開陳せる大論文を極精確に譯出せり。	岩 波 書 店
認 識	紀平正美	四四二頁装	一、一八〇	日本人の頭腦に成りし最初にして唯一の認識論の批判に至れば最も心力を傾けたり。	岩 波 書 店
煩悶と自由	丘 淺次郎	四一三頁装	上 四、一七〇	人類退化説を基調として文化問題社會問題を論述せるもの。諷諭縱橫筆鋒辛辣、全人類將來の權威ある豫言にして亦嚴肅なる文明批評。	大 日 本 會 社
美 學	阿部次郎	三五六頁装	一、一八〇	最新學說に基き最平明最根本的に又極めて組織的の徹底せる美學文藝の理解に資する多。	岩 波 書 店
哲學古典(2)シラ美學論集(上卷)	大庭米治郎	三〇〇頁装	二、二五〇	哲學者として獨自の偉大さを持つてゐるシラがカント哲學の精神に刺戟され自らの體験に基いて美及藝術の問題を論じたもの。	岩 波 書 店
物質觀の革命	田中龍夫	四三〇頁装	一、一四〇	最近發展せる電子的宇宙觀は嘗て相激視せる自然科學と宗教を握手せしめ新精神生活の歸趨を示して現代人を再び神に還らしめる。	警 隆 社
普遍への復歸	西 晋一郎	三〇〇頁装	二、一三〇	謙虛自然な博士の多年の研究と一徹なる哲學的宗教的解釋を下す。國家及國民道德研究の至寶。	日 本 社

日本精神の研究	安岡正篤	四〇〇頁装	二、一六〇	本書は著者が該博な學識と深厚な思索とを以て多年の筆を揮うて得た日本精神の眞髓を獨得の靈筆を揮うて擧揚したものである。	支 黄 社
日本の堅實性	永田秀次郎	二二〇頁装	一、一五〇	本書は吾が建國の古に遡り尊き國史の眞髓を穿つて日本の堅實性を高潮したる快著全國刑務所に於て囚人の教科書として採用される。	敬 文 館
人間苦と人生の價值	帆足理一郎	四四〇頁装	二、一四〇〇	愛の宗教に立脚せる創造的人格主義の一大福音を平明なる筆に托して語れる論文集。鋭利なる解剖刀を振つて人生至難の謎を解く。	博 文 館
リック認識の對象	山内得立	四六〇頁装	二、一〇〇	所謂西南學派を大成した原著者が優秀な其根柢の本思想を開陳せる大論文を極精確に譯出せり。	岩 波 書 店
認 識	紀平正美	四四二頁装	一、一八〇	日本人の頭腦に成りし最初にして唯一の認識論の批判に至れば最も心力を傾けたり。	岩 波 書 店
煩悶と自由	丘 淺次郎	四一三頁装	上 四、一七〇	人類退化説を基調として文化問題社會問題を論述せるもの。諷諭縱橫筆鋒辛辣、全人類將來の權威ある豫言にして亦嚴肅なる文明批評。	大 日 本 會 社
美 學	阿部次郎	三五六頁装	一、一八〇	最新學說に基き最平明最根本的に又極めて組織的の徹底せる美學文藝の理解に資する多。	岩 波 書 店
哲學古典(2)シラ美學論集(上卷)	大庭米治郎	三〇〇頁装	二、二五〇	哲學者として獨自の偉大さを持つてゐるシラがカント哲學の精神に刺戟され自らの體験に基いて美及藝術の問題を論じたもの。	岩 波 書 店
物質觀の革命	田中龍夫	四三〇頁装	一、一四〇	最近發展せる電子的宇宙觀は嘗て相激視せる自然科學と宗教を握手せしめ新精神生活の歸趨を示して現代人を再び神に還らしめる。	警 隆 社
普遍への復歸	西 晋一郎	三〇〇頁装	二、一三〇	謙虛自然な博士の多年の研究と一徹なる哲學的宗教的解釋を下す。國家及國民道德研究の至寶。	日 本 社
プラトンバイド	菊地慧一郎	二〇〇頁装	一、一六〇	エルゴン、ロゴス、ミストの三大要素より成りして大覺の偉大なる人格を傳へ余す所なし。	岩 波 書 店
プロタゴラス	菊地慧一郎	三二〇頁装	二、二〇〇	プラトン初期の傑作啓蒙思想家のプロタゴラスの問題を看るべきものあり。譯筆流麗的確。	岩 波 書 店
文化生活と人間改造	帆足理一郎	四八〇頁装	二、〇四〇	人生の活動の大觀して著者はあらゆる方面より社會改造の理想を擧げ徹底的に人格主義を高揚調せる新人の一大獅子吼。	博 文 館
文化哲學入門	土田杏村	四〇〇頁装	三、一八〇	教育と哲學はその名は二にして實は一で教育に近づくには必要である。本書は哲學入門書として著者に必要なる論法を以つて各方面より我が皇室の尊崇すべき所以を論じ外國皇室を略記して我が皇室と對照す卷末に皇室と國民との接近なる哲學、經濟學、社會學と別れて居るマルクスに依つて始めてマルクス説は理解される。	白 揚 社
マルクス學說體系	山 川 均	四二〇頁装	二、一五〇	哲學者、經濟學、社會學と別れて居るマルクスに依つて始めてマルクス説は理解される。	白 揚 社
無門關解釋	紀平正美	四〇〇頁装	二、二八〇	著者は我國思想の一要素たる禪的思想を傳統的專門家に任せ置くべきでなしとし無門關四十八則を論理的に解釋し思想の源泉を闡明す。	岩 波 書 店
聖 德 餘 韻	大 杉 浦 重 剛	一〇四頁装	〇、五〇〇	日本人の聖典を彼此説くは不必要である唯讀者がその高弟の典型であり意志を繼承したる者かその高弟の典型であり意志を繼承したる者かその高弟の典型であり意志を繼承したる者かその高弟の典型であり意志を繼承したる者か	世 界 文 庫 刊 行 會 社
イストラエメシア思想の遷	石橋智信	菊判布製	四、一八〇	從來の研究に缺けたるメシア、クリスト出現の思想的準備を、一般宗教文化史の上からあつげんと努めた學位論文の公刊書。	博 文 館
優 生 學	齊藤茂三郎	四六六頁装	二、一〇八	人類の遺傳を詳説して優良な子孫を後世に残す學理と實際の方法を説きたるもの。ユイセニックス(別名人類の遺傳と社會の進化)	不 老 閣



現代に於ける理想主義の哲學	四田幾多郎	四六判洋裝送	一、八〇〇	哲學界の權威者西田博士が透徹明快に講述せるもので、さし難解なる理想主義哲學をさへ初學者にも容易に了解得せしむるもの。	弘道館
リツプス自然哲學	八倉萬壽治	四六判洋裝送	一、一六〇	美學者倫理學者として聞えたりリツプス氏の自然哲學を以て見ざるを得ぬ名著の全譯である。	香柏堂
靈魂不滅觀	工學博士 下村孝太郎	四六判洋裝送	二、一〇〇	失明の科學者が哲學の思辨を飲料とし科學の實證として思索八年遂に自然科學上より靈魂の不滅を論證せるもの。	警國社
人間の靈魂不滅論と其批判	清水友次郎	四六判洋裝送	一、一五〇	シエラエスは靈魂不滅論者であつてその理由を唯物論者でも納得しなればならぬやうに論じ詰めて居るそれを譯して批判してある。	丙午出版社
人間的	生田長江	四六判洋裝送	二、一五〇	シエラエスが嚴密にニイチエらしき思想と表白の如く七首の如く火藥の如き言語に成る。	新潮社
黎明	生田長江	四六判洋裝送	二、一五〇	題名に十分象徴されたやうに是れこそ著者自らの大なる哲學の「黎明」であり、又最も壯烈なる新生命の「黎明」である。全集中の異彩。	同
悦ばしき智識	生田長江	四六判洋裝送	二、一八〇	此の標題を以ても、當時の晴やかな作者の心境を想像する可く、内容も形式もニイチエが最も圓熟せる時期への最終の段階である。	同
ツアラトウストラ	生田長江	四六判洋裝送	二、一八〇	ニイチエ全集中、最も重きをなすものは此のや、悲壯なる宗教や、收めて悉く此の中に在る。	同
善悪の彼岸	生田長江	四六判洋裝送	二、一八〇	この二つの著作に於て、ツアラトウストラの中に、詩的に表現されてゐた様々なるものが、改めて哲學的に論證されてゐるを見るであらう。	同
貧者の寶	吉江孤雁	菊半布裝送	〇、七〇〇	詩人として思想家として現代に於て最も大なる稱せらるるもの。譯文精麗にして暢達。	同

倫理

英國の政治道德の基調としての功利主義の發達	島本愛之助	四六判洋裝送	二、〇〇〇	巧利主義が英國の政治道德の基調をなす事、人の知る所である。本書は之に關して著者多年の研究の結果を公にせるもの。倫理學史研究の資料。	寶文館
カントの道德哲學	松永材	四六判洋裝送	一、一三〇	讀者は何人も感服して惜かない。北吟吉氏が我が哲學界の文獻に斯の如き名著の加へられ、た事は眞に學界の幸慶なりと激稱した良著。	帝國教育會
教育勅語大意	直理章三郎	三六判洋裝送	一、〇〇〇	國民教育の基本である教育勅語の解釋説明である。國民一般の日常座右に備ふべきもので、卷末に勅語の漢譯並に英譯を添附してある。	金港堂
教育勅語と御製	直理章三郎	中判新裝送	三、一五〇	國民道德の經典としての教育勅語を最平易詳細に解釋したるもの。東京高師の教科書に採用せらるる文檢受驗者の唯一參考書として推奨す。	明治圖書
教育的倫理學	文學博士 吉田熊次	菊判洋裝送	三、〇〇〇	國民道德の根本問題である本邦固有の道德思想と歐米傳來の倫理思想との融合調和を計つたもの。	弘道館
教育的倫理學講義	中島力造	菊判布裝送	三、一三〇	深遠博大な學識ある著者が重く切實な教育的倫理學問題を、明簡潔に而も懇切に講述せられたるもの。	弘道館
現代社會思想批判	荻原擴	菊判洋裝送	四、一八〇	倫理的な人生觀に基いた現代社會思想及び社會運動を人々格帯實現主義の見地から綜合的批判的考察した思想界の一大光明である。	中文館



現代の作法	松元三千秋	三洋判装 一〇〇頁送	二、二五〇	前年文部省で作法教授事項取調委員の、師範 校中學校作法教授事項に就いて審議決定し たるものを骨子として詳述されてある。	川流堂
現代の趨勢に倫理的批判	吉田静致	菊判洋装 二五八頁送	二、一五〇	本書は文部省主催視學講習會の講演速記を本 論として、現代社會の通弊たる排他主義に對する 倫理的批判にして教育家其他學究者の乞一讀 に値するものと同時に眞正適確なる批判を加へ	明治圖書 株式會社
行爲の價值	文學士 土屋幸正	菊判布装 四五〇頁送	三、二九〇	倫理學の根本論に於て東西大家の重要學說を 詳かにすると同時に眞正適確なる批判を加へ	天地書房
國民道徳要領講義	文學博士 建部遜吾	菊判美装 三〇〇頁送	二、一三〇	詔書に宜ふ處、言甚だ簡にして、意甚だ深遠 なり。よく理解せんとせば、意甚だ深遠 親切且つ平明なるこの詔書に於て、意甚だ深遠	同文館
公 民 倫 理	宮マ 田リカ 一譯	三總六 三三三三 頁装送	二、一五〇	本書は民主的公民の主要なる特色を倫理的 世相に鑑み時代に最も適合した良書。現代の事	廣文館
國家生活の倫理	池岡直孝	四判布装 四五〇頁送	二、一〇〇	何人も生を國家に托する以上倫理學の國家生 活を基調とすべきは數の見易き所本書は此の 問題に關して多年の蘊蓄を傾倒した者である	實文館
國民作法要義全	甫守謹吾	四菊 〇〇頁判送	二、一八〇	師範中學作法教授要項に基き中等學校生徒 の作法練習の指針とし併せて一般國民日常作 法の參考に供せんが爲に編纂したものである	金港堂
國民精神作興詔書衍議	亘理章三郎	美菊 〇〇頁判送	三、一五〇	聖旨の謹釋に意を注ぎ教育勅語、戊申詔書、御 製その他引例該博讀み直に有難御思召を體得 出來る様至極平易に説述した好著書である	中文館
修身國民精神作興詔書研究	亘理章三郎	約菊 三三三三 頁判送	一、〇〇〇	國民精神の漸く輕佻浮華に流れんとする時、 訓話、解釋の研究その他參考資料を満載す。	中文館
國民道徳三二講全	亘理章三郎	三三六 三三〇頁判送	一、〇三〇	國民道徳序論と言ふも内容は堂々千數百頁に あり國民道徳の一般概念に之に大略を盡して あるが著者は更に本論各部に筆を染めてある	金港堂

國民道徳序論全	亘理章三郎	菊 一、一〇〇頁判送	七、二〇〇	國民道徳序論と言ふも内容は堂々千數百頁に あり國民道徳の一般概念に之に大略を盡して あるが著者は更に本論各部に筆を染めてある	金港堂
國民道徳本論 國性論	亘理章三郎	菊 一、一〇〇頁判送	七、二〇〇	國民道徳の漸く輕佻浮華に流れんとする時、 訓話、解釋の研究その他參考資料を満載す。	金、港堂
國民道徳要義	文學博士 深作安文	菊判洋装 四、一〇〇頁送	四、一〇〇	國民道徳專攻の著者が其多年研究の蘊蓄を吐 露せられたもの我國道徳の眞髓と發展とは 勿論苟も之に關する知識は悉く了解せらる	弘道館
國民道徳要領講義	三浦藤作	菊判洋装 三〇〇頁送	二、一四〇	文檢受驗者に對し最も組織的に最も平易に講 述す、教科書として名實共に第一位、完全な講 義の本の一讀は他書數讀に優る。	香柏堂
國民精神作興詔書十講	渡邊小洋	一六八 一六八頁送	一、一三〇	國難來！國難來！此國難を突破して國運發展 を圖るの道は「作興詔書」の遵奉履踐のみ本書 は此詔書を透徹明快地に講義せる國民必携の書	國民精神社
三大詔勅謹解	新教育研究會	美本函入装 二八〇頁送	一、〇〇〇	小學校卒業程度を標準として思想善導の根本 義の爲め茲に本書を公刊した。小學校賞品と して好適なるは勿論青年士女の精讀を望む。	三共出版社
主觀道徳學要旨	文學博士 藤井健次郎	菊判布装 三、一五〇頁送	三、一五〇	倫理學を事實科であるとして從來の想像說を 排斥し常識的の道徳意義を徹底的に説明叙述し て何人にも了解易かりしめたり。	弘道館
尋常修身書掛圖	東京造畫館	自第三 至第六 年送	三、二〇〇	五年十枚三、四〇〇。六年十枚三、四〇〇。 三年十枚三、四〇〇。四年十枚三、四〇〇。	東京造畫館
新道徳學	藤本直	四六 二〇五頁判送	一、一五〇	フントン、メンガー博士が從來の道徳とは權 力者に對する盲目的奉仕でないか。本書は之 を打破し民衆自身に醒めよと説いた譯書。	廣文館
聖訓綱要	中村實治	菊判半截 假綴三頁送	〇、一五〇	教育勅語を中心として大震災に就ての精神作 興に關する詔書を收め講讀携帶に便にしたも の。小學校の賞品として好適の書。	株式會社 共同販賣所



西洋倫理學史 自古代至現代	市川一郎 三、八〇 一、八〇	倫理學說を十九世紀に止めず現代の諸大家全 部の説をも悉く網羅しこれを系統的に而も開啓 的に叙述したるもの文檢受驗者必讀の名書。	岩波書店
善の研究 (改訂版)	西田幾多郎 三、二四 一、一七	第一篇は著者の思想の根柢たる純粹經驗の性 質を明にし第二篇は著者の哲學的思想を述べ 第三篇は善を論じ第四篇は宗教に就て述ぶ。	岩波書店
小さい倫理學	蟠川龍夫 一、八四 〇、八〇	人間生活、道德的判斷、良心に關する考察、道 德的標準、本務、徳、倫理等あらゆる章に亘り道 徳的平易に書かれた著なり。一讀を奨む。	廣文堂
女子作法要義 全	甫守謹吾 五、五〇 三、一八	本書は國民作法要義の姉妹書で前者は中等程 度男生の爲めにし本書は女子學校女子専門 學校生徒並一般女子日常作法の指針である。	金港堂
國民精神 詔書謹解	加藤盛一 約五〇頁送 〇、四二	本書は現下民心の趨勢に鑑み詔書の普及を目 的として著せる聖書中の文字語句を正しく解 釋し御精神の要點を平易に記述せるなり。	南洋堂
國民精神 詔書釋義	金子彦二郎 約五〇餘頁送 二、九二	著者は長くも坤宮の授業台覽の光榮に浴して 感激措かず國民精神作興の爲に盡さんとして が謹解を試む。一意聖旨の徹底を期して居る。	明治圖書
道德思想の發達	野上俊夫 一、五〇 一、二〇	本書は大學講座の延長講義のエキスである大 古から現時に及び東西比較精神を極む思想問 題に興味を持つ人の一讀を望む。	弘道館
道德生活	吉田静致 五〇〇頁送 三、一八	特種即普通主義若くは同圓異中心主義に基き て生活せざれば人世は終に破滅の運命に逢 はざるを得ないと云ふ事を論説せらる。	中文館
カノ 道德哲學原論 (改訂版)	藤原正成 一、九五 一、一八	批判的の道徳の面目を最簡明に示す重要著述。 實踐的の道徳の堂に入らんとする根本問題に 批判の堂に入らんとする者の必讀を要す。	岩波書店
東洋倫理學	遠藤隆吉 洋裝菊判 二、五〇 一、二〇	我國を中心として支那印度等總て東洋の倫理 道徳の思想を講述し以て其の一般を知らんと する人に供養したるものである。	弘道館

東洋倫理思想概論	岩橋尋成 菊判布裝 三、七〇 三、五〇	東洋倫理學大要を平明に説述したるもの。	天地書房
日本國民性論	坂井衡平 四、六六 三、〇〇	我國國民性を發達のに嚴密なる科學的方法にて 考察し之を現在の性情思想に應用したるもの ある愛國の文字經世の大文章といふべし。	大日本圖書
日本武徳論	亙理章三郎 四、六六 二、〇〇	或種の戦争論も亦た確に危險思想である。或る種 世想を憂ふる著者の深刻なる警醒である。	中文館
日本倫理思想の系統	補永茂助 菊判布裝 四、〇〇 三、二〇	神道武士道儒教獨立學派心學派等の史的討論 を兼ねその代表的人物を列挙し一々彼等の論 議と言行を説いて脈絡整然たるもの也。	天地書房
批評的倫理學	渡邊龍聖 菊判洋裝 二、四二 二、〇〇	最簡明に古來の倫理思想を批評論斷し人生の 歸趨を明示せる點に於て本邦に類書無く實に 斯學研究者の好指針文檢受驗者の絶好参考書	開發社
普遍への復歸	西晋一郎 菊判洋裝 三、〇〇 二、〇〇	個我と普遍との關係に對する著者獨特の見地 より我報本反始の教に探る哲學的宗教的意義 を見出したるもの、眞に國民道徳研究の至寶。	日本社
戊申詔書述義	帝國教育會 菊判假綴 六、〇〇 一、二〇	本書に據りて聖旨の在る所を知り男女老幼に が審議を盡くして編述せられたもの。	株式會社 國定教科書 共同販賣所
修養 明治兩陛下聖徳記	末松謙澄 菊判布裝 三、三〇 〇、五〇	我日本の「生ける神」として國民の胸裡に最も 深き感銘を有する明治兩陛下の御聖徳を偲ぶ 絶好の資料と此著者を得て初めて完し。	博文館
大西博士 倫理學	大西博士 四、六六 四、八〇	倫理學は大西博士の最も力を注ぎて研究せら れし學科にして其説き方の精緻周到にして且 つ批評的なる優に斯學研究者の教養たり。	警、醒社
倫理學	荻田萬一郎 菊判布裝 七、五〇 三、一八	原著者シュエイ・タフツは倫理學の權威者と も完全なる邦譯出づ。今譯者其人を得て最博	博文館



倫理學	倫理學原理	倫理學講義	倫理學史綱	倫理學說講義	倫理學の根本問題	倫理學の根本問題	倫理學の話	倫理學の根本問題	倫理教育研究
杉森孝次郎	土屋幸正	市川一郎	北澤定吉	三浦藤作	阿部次郎	西晋一郎	小林篤里	文學博士 藤井健治郎	東京高等師範 倫理教育研究會
四〇〇頁	四六〇頁	五〇〇頁	菊判洋裝 三、一〇〇	菊判布製 三、二〇〇	菊判布製 一、一七〇	菊判布製 二、三三〇	美表裝 〇、四〇〇	菊判布裝 三、一八〇	菊判洋裝 一、〇〇〇
二、五〇〇	三、二八〇	三、一〇〇	三、一五〇	三、二〇〇	一、一七〇	二、三三〇	〇、四〇〇	三、一八〇	一、〇〇〇
◆在來の道德學、皮想的倫理學に非ず。或る新意識に於ける、と銘を打て出たる本書は倫理學の再生にして、最眞全の發現だ。	道徳上の諸問題を透徹せる論旨で飽くまで徹底的に取扱はれたるもの、論斷の周到なると敘述の巧妙なるとは他に比みざるもの。	倫理學說中最も缺點少く且吾々道義心に満足倫理學の最新改訂第三版を譯せるミユアヘット	透徹精緻な頭腦を以て懇切に斯學の概念性質を明に辯明し思想の變遷學說の立地を系統的に明に敘述して其の發展を明示したるもの。	内容一班、序論、権力説、直覺説、形式説、自利説、功利説、合理説、人格説、以上の代表的倫理學說の根本を考究し批評したるもの。	日本語で書かれた最も生きた倫理學。此處に倫理と共に情熱あり、崇高なる道徳原理と共	著者の體系的思想を基礎として倫理學の根本問題と客觀界(3)道徳と藝術及宗教(4)自然の理性化	人倫の道は總ての根本である。倫理は學者のあみたる學問ではない國民一般の心得べきことである。本書によれば一讀直ちに了解せらる。	藤井博士曰く「多くの倫理書と名付くもの、トの最も深刻に私心を動かしたものはカン、トのそれとこの書である」と云はれてゐる。	一ヶ年四回の發行にて東京高等師範學校倫理教育研究會の編輯により諸大家の研究を發表したるものにて斯學研究者の唯一參考書。
早稻田大學出版部	天地書房	啓文社	弘道館	太陽堂	岩波書店	岩波書店	文藝社	同文館	育英書院

心理

倫理哲學講話	生きるんとする心理	意識の問題	グントの心理學	エンゼルの心理學	科學と思想	學習心理	近代人の人生觀	群衆心理講義
西晋一郎	橋 惠勝	西田幾多郎	須藤新吉	大 伴 茂	大町芳文	武瀨博士	人生哲學會	葛西又次郎
四六六頁	四六六頁	菊判布裝 三、一八〇	菊判上製 三、二七〇	菊判裝 三、二二〇	菊判洋裝 二、〇五〇	菊判洋裝 三、一〇〇	菊判上製 二、一三〇	菊判洋裝 一、一四〇
二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、一八〇	三、二七〇	三、二二〇	二、〇五〇	三、一〇〇	二、一三〇	一、一四〇
倫理哲學の深遠なる學理を簡明に述べた書物。は少い、況や確乎たる知識と信念とを與ふる。こは本書の如きは殆んど他に絶無であらう。	生きるんとする意志の活動を觀察したる情意心理學である。情意の活動する目的性と其の過程とを佛敎の心理學にて説明してある。	「自覺に於ける直觀と反省」の終に於て達した立場から主として意識の問題を論ず。此問題の攻から依て精神科學の基礎概念を明にす。	本書はグントの心理學書及び諸著論文を精査し廣汎精緻なる民の心理學の全系統を最も平明に叙述せる我心理學界代表的名著也。	現代心理學界の泰斗エンゼル教授の名著心理學概論の改訂最新版を最近同教授に親炙しつゝある著者が最も懇切に譯補せるもの。	◆ケンブリッヂ大學教授ウエツサム氏が十數年の實際的研究と思想の關係を叙して、太古から科學の發達と思想の關係を叙したるもの。	ユルグイン氏原著「機能主義」と實用主義の立場より心理學上より解決を與へたる好參考書問題に心理學の思想の關係を叙して、太古から近代の十一代表的思想家の人生觀大集成。日本近代の高山樗牛、木下尚江、武田久、日中、福澤諭吉、大西祝、樋口一葉、網島、梁川、次歩、澤田、吉大、西祝、樋口、一葉、網島、梁川、	二十世紀は群衆の世である。思想問題に於けるは愈々紛糾し、騷擾と同盟罷工とは到る處に行はれる。本書は是等を解決する唯一の鍵である。	
育英書院	丸木書店	岩波書店	内田老鶴圃	培風館	早稻田大學出版部	松島三松堂	越山堂	日本精神會



心理學健全な社會生活	現代之心理學	教育心理學講義	最近兒童心理學概論	自覺に於ける直觀と反省	死刑囚の人生觀	自殺及情死の研究	人生問題 自殺と自我	實驗心理學十講	兒童心理學序說
村田 勤	速水 澁	文學博士 福來友吉	關 寬之	西田幾多郎	中西伊之助	中村古峽	浦谷甫水	文學博士 松本亦太郎	青木誠四郎
三〇餘頁	四〇六頁	菊判洋裝	四〇五頁	菊判布裝	四一六頁	四一〇頁	四一〇頁	菊判洋裝	四一〇頁
二、五〇	三、〇六	二、一三	三、〇八	三、二七	一、〇二	二、三〇	一、八二	五、〇八	二、一八
斯界の重鎮たるミュンステル博士が具に米國の社會事業を研究し、嚴正深刻なる批判を下したる近來稀なる快著也。	上編に於て心理學の各分科が略述せられ、下に所謂心理學の分野の全體が知られる書物。	セームス博士とトロークス、ツウ、パーヤア象の實際を適切に説明せるものである。	至極通俗簡明に然も流暢なる文章を以て説述せられたる兒童心理學の概念である。	著者が多年の心血を濺いで獨特なる自覺的體裁なる見地より現代哲學の中心問題に深透而精緻なる解決を與へたる其哲學的努力の結晶。	死刑囚は生ける屍である。彼等の特異なる人死及び國家、社會、宗教、結婚、戀愛觀を説く。幸徳秋水、山田憲野、口男三郎外實例多し。	何人も及ばざる獨特の立脚地に立つて自殺情死の心理的研究し、その思想問題としての價值及道德的責任に迄論及したものである。	著者獨創の立脚地から極めて達意的の筆で人生及自我を説明した生存欲と自殺との最大矛盾を徹底的に解決したものである。	著者自身は勿論クリプチャヴァント等を初め其他内外諸學者の實驗研究の結果の重なるものなるを簡明平易に説述せるものである。	兒童研究の方法につき實例を以つて説明を加へてある。本書を見てはじめて兒童研究の業を續けたる研究の編緒を得るであらう。
内田老鶴園	不老閣	弘道館	中文館	岩波書店	越山堂	日本精神學會	弘道館	弘道館	中文館

兒童心理學講話	集團心理學	殉難者の人生觀	新心理學	普通心理學	參心理學	心理學	心理學	心理學綱要	最近心理學十講
高崎平三郎	入谷智定	人生哲學會 三二〇頁	野口授太郎 三浦關造 四〇〇頁	金子馬治 四〇〇頁	久保良英 五〇四頁	高橋 穰 五〇六頁	田中博士 三〇九頁	元良勇次郎 二〇五頁	小藤虎之助 四〇五頁
三、五二〇	二、七二〇	一、八〇	二、一五〇	二、一五〇	二、一八〇	一、一八〇	〇、九四	二、一五〇	三、二五〇
嬰兒幼兒少年青年の身心發達の過程知情意の心的作用と教育の關係等兒童心理の全般を何人にも解るやう挿畫を加へて詳述してある。	個人が集團生活に於ての關係交錯を明かにし、現下高唱さるる國民精神の何物なるやを心理學的に考察し、確な基礎的知識を與ふる良書。	日本古來の著名なる殉難者の人生觀集成。次目 佐久間象山、大石良雄、大鹽中齋、高野長英、吉越田松蔭、木内宗吾等。	超合理的的神秘的な人間の心理を、自然科學的てな方法で研究してゐた在來の心理學から離れて、活ける心としての研究である。	◆處世教育の目的を達するに適當した心理學點を補はんがために、本書は我國に於ける心理學が皆無であつたに書かれたもの實に心理學の補綴である。	心理學に通曉する絶好の参考書、著者其人を得て深遠なる研究を周到懇切なる叙述に托し、理解に易からしむ。	世の心理學書に異る點は、心理學全般を一體系に纏め、批判的眼光を以て問題の所在を明示した事是也。積年の研鑽眞摯な努力に成る。	心理學の二大傾向である構成的研究と機能的研究との成果を採り、實驗的立脚地から意識的象を説明し、尙人間工學的研究をも加味した。	出來得る限り手近い實例をとり、心理學の一般を平易に講述したものであつて、何人にも容易に斯學を了解することが出来る様にしてある。	心理學の一般基礎的知識の平易にして興味ある系統的敘述、並に實驗的犯罪の應用等各種心理學の大觀及び多數の具體的なる圖解。
廣文堂	日進堂	越山堂	世紀育社の	早稻田大學出版部	博文館	岩波書店	松邑三松堂	弘道館	太陽堂



心理學と兒童心理	多田不二	四六八頁	二、五二〇	心理學の一般と殊に、兒童心理について詳説の必用なる兒童心理學を平明に説いて、人々の	日實業社
心理學通義	上野陽一	七六七頁	四、五八〇	説明の親切丁寧は無数の挿圖と相俟つて、人の	株式會社
心理學の話	小林篤里	美四六頁	〇、四四〇	吾々はまづ自分自身を知らなくてはならぬ、	文藝社
トグン氏心理學要領	速水 澁	三四六頁	二、〇八〇	ウキルヘルムツントが一九一一年其の圓熟せ	不老閣
心理と人生	高島平三郎	菊四九二頁	三、五八〇	三様に通ずる心理学を經として人生を説きた	不老閣
心靈現象研究	有馬純清	四九〇頁	二、一九〇	著者自ら歐米諸學者の心靈學研究の跡を訪ね	警醒社
生活と犯罪	勝水村淳行	三四六頁	一、八〇〇	著者が教師として十年間に觀察した犯人の	大日本圖書株式會社
精神科學の基本問題	上野直昭	三三九頁	一、一七〇	著者は精神科學の根據を確立し自然科學に對	岩波書店
聖哲の懺悔	人生哲學會	三二〇頁	一、一八〇	世界七大聖哲の懺悔錄集成、人生淨化の泉也	越山堂
性と戀愛の研究	佐藤 壽	四五〇頁	一、一八〇	性と戀愛の問題はかなり大きな波紋を世の中	日本書院

小さい心理学	後藤弘毅	三〇〇頁	一、〇八〇	心ト意識トは何ぞやと小問題から出發して、	廣文堂
知識の問題	村岡省吾	一五二頁	一、二二〇	近代思想の理解は必然にカントの理解を以て	岩波書店
惑溺と禁慾	寺田精一	四八八頁	二、一八〇	深い洞察と温い同情とを以て興味豊かな人生	日本精神會
犯罪心理講義	寺田精一	二二〇頁	一、一六〇	本邦犯罪心理學の開拓者にして又その權威者	日本精神會
變態心理學講話集	中村古峽	三三〇頁	一、〇八〇	變態心理學は悉ゆる精神科學の最高權威であ	日本精神會
變態性慾講義	北野博美	二二〇頁	一、〇二〇	變態性慾者は文明の進むに従つて益々増加す	日本精神會
民族心理講話	文學博士 米田庄太郎	中判洋裝	一、一五〇	獨佛露の民族精神民族文化と世界文化との關	弘道館
夢學	高峰 博	菊判布製	六、二五〇	不可思議な夢に關する事總べてを學術的に考	廣文堂
名僧の人生觀	人生哲學會	三二〇頁	一、一八〇	日本古來の名僧の脱俗の人生觀集成である。	越山堂
リボー意志の變態	葛西又次郎	四六八頁	一、一六〇	近世變態心理學の始祖で有名な佛國心理學者	日本精神會















通俗教育道話	安藝愛山	七〇六判 四頁送	二、五〇	極卑な例をとり面白可笑しく修身齊家處世の道に於ける最良書として已に定評がある。	雄辯會
研心錄	二宮峰男	四六判 三二頁送	二、〇〇	印度佛敎以前の哲學たる子が哲學を説きしもの大し運命を開拓するの心的修養を説きしものである。	日實業社
現代公民心得	岡篤郎	憲政篇 自二四頁送	一、五〇	現下の自治公民として必要なる法制、經濟、政治の修養讀本である産業篇文化篇は近刊。	帝國學地方
現代青年處女の作法	玉井廣平	菊半洋裝 一六〇頁送	一、〇〇	新しい時代には又其に適應する禮儀作法がある。其等青年處女の心得べきものである。	文展堂
福鳥大將 剛健主義	綿貫仁門	判洋裝 三〇〇頁送	〇、六五	國寶と稱せられた當年の單騎遠征冒險大旅行時代の回顧又晩年世界大改造の豫言書なり。	川流堂
向上發展の基礎	小林鶯里	美四六判 裝送價	〇、四〇	向上發展の方法には色々あるが、その根本となるものは基礎となるもの一つである。	文藝社
講話資料	秋山四郎	菊一〇七判 送價	三、一〇	著者は現代の卑俗なる書籍類が少年少女の無垢清淨を傷つくるを恐れ古今の偉人四拾餘人の傳記を面白く綴りて講話の資料となした者	大日本圖書株式會社
趣味國民掌典	大馬場桂月	菊半洋裝 一、三〇〇頁送	三、六〇	古今の名著より悉く短文を蒐集して然も全卷の内容の脈絡を保ち一々短評を掲げ附し	博進館
國民精神之基礎	河野省三	菊半洋裝 一〇頁送	〇、五〇	我が國民精神の基礎は要するに皇室の御盛徳と國の誠忠と君民一體の活動とにある。此點を明かに説明したものが本書である。	川流堂
國民としての常識	小林鶯里	美四六判 裝送價	〇、四〇	國民の一人として必ず知らねばならぬ事を選んて一讀すべき良書。一讀大道を闊歩せよ。	文藝社

論文集心の跡	田子一民	判並製 三五四頁送	二、一五	眼前に徂來する社會の事相は著者をして或は演壇上或は時に筆硯裡に其の折々の所感所信を披瀝せしめた過去十年間の論文を集めた	帝國學地方
後藤子國民訓	後藤新平	菊半洋裝 三六〇頁送	一、一〇	一代の傑物後藤新平子爵の青年修養訓話を骨子にして社會的果た民衆的に其の處世法を新説に訓示した意義ある書。	日本書院
精神詩趣を加味して	八波則吉	判上製 五〇〇頁送	二、一五	大正の鳩翁道話とまで激賞された名著「趣味」との修養「よくて男」に最近の講話を加へた味もの。他に得がたき好著である。	敬文館
これからの人間	澤柳政太郎	菊半洋裝 三六〇頁送	一、一〇	教育界の大家として知られた澤柳博士が我が青年の爲に其の修養と成るべき事項につき最も豊富なる學識より訓話されたもの本書也	日本書院
これからの婦人	嘉悦孝子	菊半洋裝 三〇〇頁送	一、一〇	嘉悦孝子女子は我が女流界に於ける第一人者である。如何に現代の女流に向つて修養すべきかを教訓したる尊重すべき名著である。	日本書院
改訂正西國立志編	中村博士	判上製 五七六頁送	一、二〇	自助の精神の福音を説ける名著として少壯人士の無二の修養書として最も廣く世界に讀まれたるもの名譯すでに定論ある。	博文館
立養 三百六拾五日	開天園	判函入 三八〇頁送	〇、八五	日々の修養を三百六拾五日に類別記載し知らず知らず人格を養成すべく編纂せるが故一日一言無駄なき金言を以て満せり。	博進堂
エ式 自己暗示法	中村古峽	菊半洋裝 二五〇頁送	一、〇〇	方法に極めて簡單、實習亦極めて容易にして將來の疾病を豫防すること健康を回復し健康者は浮薄なる名利慾、空疎なる積極主義に陶酔するに餘りに冷覺せる現代の我等は、彼等の如き深刻なる否定的宿命論的の人生觀に深甚の共	日本精神醫學會
我等は如 自己を救ふべき乎	中島祐神	判六頁送	二、一五	思想善導の急務であることは多言を要しない。六ヶ敷く、堅苦しくその目的を果さんとす	早稻田大學出版部
思想善導	小林鶯里	美四六判 裝送價	〇、四〇	思想善導の急務であることは多言を要しない。六ヶ敷く、堅苦しくその目的を果さんとす	文藝社



思想善導の基準	増田義一	三〇四頁	一、五八〇	國民思想の善導、社會の重大病根、進んで國民思想の善導を説きたる大雄編。	日本業社
時代と報徳	井口丑二	二四六頁	〇九六〇	本書は報徳の眞髓は固より地方自治の要訣、農家の事業に至るまで現代に活動せる地方篤志家の事業に集めたもの。	中央報徳會
實業訓と人生訓	ワナメーカ 井關十二郎譯	四六六頁	二、〇〇〇	一小店より身を起して六十年後には世界一の大商店にまでなつた。ワナメーカ氏の實業訓出世訓を集めたもの。	日本業社
知つて居ればならぬ 實用常識	湯川大三郎	二五二頁	〇六六〇	皇室、國家、社會、家庭の四篇に分つて日常生活に必須の事項、六十二項、三百〇三目を簡明に記してある重寶記。	磯部甲陽堂
社會創作への道	深作安文	三〇〇頁	二、一八〇	本書は新しい社會生活原理の基點を個人格の内經驗と思想と努力とに求めよき文化價値の創造によつてあらゆる問題を闡明す。	廣文堂
社會の覺醒	小塩高恒	三〇八頁	〇七六〇	主として社會事業家の面影を傳へたるもの、特りに本書の半ばを占むる「玉屑瓦片」は、哲學あり、諷刺あり、眞に寸鐵殺人的の警句に満つ。	中央報徳會
車上の學問	秋山四郎	三八九頁	一、〇〇〇	一語を讀み一句を讀んじ五分間でも十分間でも多識者となれ聖者となれる有益な寶典である。	大日本圖書株式會社
註十訓抄	石橋尙寶	三二〇頁	一、一五〇	十訓抄は我が國最初の教訓書で文章も國文の模範として有名である。本書は其の難解の字句に標註を施して讀み易くしたものである。	明治書院
修養新話	新渡戸稻造	五五五頁	一、〇五〇	一代の人格者たる博士が、五十餘年の學問と経験を傾けて品性人格、處世法に亘りて懇切に説かれたるものである。	日本業社
修養	井口丑二	二四六頁	〇七六〇	本書は二宮尊徳翁の報徳の教義の眞髓を、平易通俗に説述せるもの。何人も本書を讀めば、翁の教義の眞髓を知り處世修養上の指針を得。	中央報徳會

勝利への路	浮田和民	三九二頁	一、〇七〇	本書は「生活戰術」の姉妹編で、著者獨特の處世哲學より人生の戰場に勝利を得る主觀的側面を専ら力説したものである。	日本業社
演壇座談 應用自在 笑話の泉	伊藤圓定	八六八頁	二、一八〇	全篇を自己家族社會教育宗教雜纂の六大綱目に分ち古今東西の笑話六百餘種を輯む洵に抱腹絶倒の珍書にして亦萬人必讀の快著たり。	日本業社
養人格の養成	吉田辰次	三九〇頁	〇八六五	修養の根本は人格の養成にあり著者永らく教養を取り青年の心理を好く考察し最も判り易く人格の養成を述べてあります。	博進堂
心學名話泉	野村斐水	三〇四頁	二、二二〇	心學名著中から教訓修養となる面白き趣味ある名話一百十篇を収めた兒童の教訓青年の修養書で文部省通俗認定書である。	泉閣
新舊一新	仲小路廉	四四〇頁	一、一五〇	世に一般社會を益する先生の本表即ち閣下が在何に一般社會を益する先生の本表即ち閣下が在	日本書院
新時代の人間修養	國民修養會	五五〇頁	二、〇〇〇	新しい時代には新しい修養が必要である。本修養書として最も時代に適應せる書。	日本書院
人格と修養	井上哲次郎	五〇〇頁	二、一八〇	人格の意義内容を説き修養の目的方法を論じ古來の聖賢偉人の行くべき道を述べて其功績を頌し現代人士の行くべき道を示した快著。	廣文堂
人生日訓	内ヶ崎作三郎	九四六頁	二、〇二〇	古今の金言聖語を三百六十五日に配當し同類の思想を一日一章に集め毎朝一讀して身心を修養せしめるもので家庭必備の書である。	大日本圖書株式會社
眞に生きる道	山田愛劍	箱入美本	一、一五〇	何と云ふ騒騒しい現代の世相であらう。人は日々居る生活に眞に生きる道を辨へねばならぬ。	南洋堂
新日本の鹿島立	長岡外史	四四〇頁	〇九八〇	五大國の一に其班を占む勢威隆々たる我國が日清戰役前後の如何に幼稚であつたか又如何に列強國に輕んぜられたかを知る良書なり。	川流堂







女性のために	超常識と没常識	獨學者への進む道	男女青年訓	二宮翁金言集	二宮翁道德哲學之新研究	人間の舞臺	農村青年の進路	暢び行く生命	裸一貫から
田子静江	若海樓	吉村正	松村介石	井口丑二	石原惣六	長尾大學	小林篤里	原房孝	日實本業社
一七〇頁送價	四七〇頁送價	四〇〇頁送價	一四〇頁送價	一三〇頁送價	一三〇頁送價	二五五頁送價	美六表裝送價	一八〇頁送價	二九四頁送價
一、〇一〇	一、二六〇	一、〇〇〇	〇、八〇〇	〇、三〇〇	一、一五〇	一、一七五	〇、四四〇	一、〇二〇	一、一七〇
女性の冷遇に虹のやうな氣焔をあげるでもなく、忍びの涙に伏すのでもない著者は、つゝましくやかに朱唇を開いて理想の結婚を求めてゐる人間として常識を尊重す可きではあるが、没常識では駄目だ。人間論から立論したるもの。常談ならぬ。實際論から立論したるもの。獨學者に開かれた各種の檢定試験と學歴なしの各種試験問題各受験談、獨學法及苦學案内年男女に與へたる處世訓にして結婚前男女の二宮翁大教訓の精髓は收めて此の書中に在りもつて修養の指針とすべく座右の銘となすべきものあらん。	本書は一代の警世家たる介石先生が、その高き道徳觀と六十餘年の生活經驗より現代の青年男女に與へたる處世訓にして結婚前男女の二宮翁大教訓の精髓は收めて此の書中に在りもつて修養の指針とすべく座右の銘となすべきものあらん。	本書は前後の兩編に分ち、前編に於ては二宮翁の道德哲學に對し哲學的考察を加へて批評し、後編は報徳哲學の適用を力説せるもの。	人間社會世相の表裏曲直即ち舞臺を描き出したもの。讀まればなるに社會へ出た以上はどうして讀むべき進路を示し農村的問題の解決を圖る。	近時わが國に於ける農村問題は最も重大なものである。本書は農村問題の解決を圖る。	無限の展開を希ひつゝ現實の苦迷に深刻に悩む青年女子に對して根本より出發して苦悶を變じて光明たらしむる爲に書かれたもの。	現代日本の實業界に雄飛しつゝある十六名士の裸一貫から奮闘傳を集めたもの。	明治大正の偉人大隈重信侯の現代青年に對する最も意義ある修養書。閣下一流の愉快なる言論集。老も若きも傾聴に價する寶典。	打出の小槌より金銀財寶の出づるが如く話の庫より奇談珍説が際限なく湧出す演説講話の教養文の好材料として重寶の書なり。	著者は本書によつて米國人に日本民族の高尙なる性情を日本國民に米國人の美點を紹介し、兩民族永遠の平和を將來せむと企圖す。
日本書院	日本書院	早稲田大學出版部	警醒社	中央報徳會	中央報徳會	二松堂	文藝社	實文館	日實本業社

勤け働け飽迄働け	話の庫(續篇)	薔薇香	日常生活煩悶解決法	日々の力	貧か富か	婦人の覺醒	婦人の進むべき道	婦人の務	奮闘五十四年
大隈重信	辻井亨	岡本米藏	中村古峽	根本正	安達憲忠	山崎延吉	小林篤里	下田次郎	市川新松
三三〇頁送價	四六裝送價	四六裝送價	二四〇頁送價	三六六頁送價	三八〇頁送價	一〇四頁送價	四六表裝送價	二八二頁送價	四六表裝送價
一、一三〇	一、一八〇	三、一五〇	〇、九六〇	〇、六八〇	二、一〇〇	〇、三二〇	〇、四四〇	一、一八〇	二、二七〇
明治大正の偉人大隈重信侯の現代青年に對する最も意義ある修養書。閣下一流の愉快なる言論集。老も若きも傾聴に價する寶典。	打出の小槌より金銀財寶の出づるが如く話の庫より奇談珍説が際限なく湧出す演説講話の教養文の好材料として重寶の書なり。	著者は本書によつて米國人に日本民族の高尙なる性情を日本國民に米國人の美點を紹介し、兩民族永遠の平和を將來せむと企圖す。	諸種の精神的煩悶を網羅し、之に理解ある解決法を與へたもので、日常生活の指針とすべし點が頗る多い。附録「頭腦明晰の要訣」あり。	テレストン原著、讀者を眞に平和なる心境に導き、大いなる力と光とを與へ、吾人の日常生活の上に希望と感謝とを満す眞に生ける書。	文部省認定三十年間に亘り理論實際の兩方面から貧原富因の真相を究め以て防貧致富の秘訣を宣傳せんとする先人未發の一著。著者が満腔の熱意を以て著はされたるものなり。	本書は婦人の天職を明かにし、其の自覺の資を以て著はされたるものなり。	古來の習慣にのみ囚はれて來た婦人は一日も早く之を平易に叙述し一讀婦人の進路を示す書は之を平易に叙述し一讀婦人の進路を示す。	含養深く趣味豊かな筆致を以て婦人の本務と修養とを説ける好著。古き新しきに博識と進歩の好著。古き新しきに博識と進歩の好著。	獨學にして世界の大鏡物學者となれる市川氏の一自叙傳。斯の如き書を最愛の子弟の爲に。
日本書院	株式會社	培風館	日本精神會	教文館	宣傳社	中央報徳會	文藝社	博文館	帝國教育會出版部







異 常 兒 童	富 士 川 游	菊 判 布 製 三、〇〇 頁 送 價	大阪毎日評：多年異常兒童の研究をして來た。著者の全研究を傾けた近來の好著である。其原因現象教育法及療法等をつくして居る。	太陽堂
一般素質検査法の試み	文學博士 梅崎淺太郎	菊 判 洋 綴 五、二〇 約 五 頁 送 價	最近小學校生徒に試みられた我國唯一の素質検査標準である。加之其施行法結果の整理を詳説し素質検査用紙を添加せられて居る。	中文館
一般素質検査用紙	文學博士 梅崎淺太郎	大 二 頁 送 價	小學校、中學校に於ける精神検査用として實費を以て提供する。	中文館
伊藤仁齋と其教育	增 澤 淑	一 六 二 頁 送 價	本書は文部省通俗圖書の認定を得たるもの著者は曾て仁齋先生を仰慕し其の後裔を訪ね遺書手記を閲讀し以て事蹟の一斑を明かにす。遺著の價値及び意義を忠實に傳へてある尙原文を參考として附してある。	明治圖書株式會社
隱者の夕暮	福 島 政 雄	洋 四 六 裝 判 送 價	暮の價値及び意義を忠實に傳へてある尙原文を參考として附してある。	目黒書店
英小學校の教室學習の實狀	吉 田 惟 孝	一 八 〇 頁 送 價	英國小學校の授業中の實況を興味深く活叙し道とを吸引するかに群團生活から巧に叡智と紳士道とを導き出す。教育の眞諦を傳ふ。	厚生閣
ソリエミール	三 浦 關 造	四 六 六 頁 送 價	エミールは教育者の經典でありまして、古來なりと云はれてある程です。	隆文館
小學校に於ける音楽藝術教育	西 田 敏 郎	三 五 〇 頁 送 價	本書は藝術教育の眞義に立脚し其本態の委に轉回歸せしめたい信念から理論と方法を詳説された國民の藝術書。	明治圖書株式會社
音樂教育の諸問題	青 柳 善 吾	四 〇 〇 頁 送 價	教育の昇華作用は音樂教育の使命とする所此に基き音樂教育の徹底的革新を企圖せる名著	廣文堂
學習法 實施と各學年の學級經營	清 水 甚 吾	四 〇 〇 頁 送 價	二十年來學級王國の建設は教師の最大悦樂と信する著者が學級經營法創設者として學習法實施の場合の新學級經營法の理論と實際とを説く	東洋圖書株式會社

再 學 級 經 營	澤 正	一 五 〇 〇 送 價	小學校に於ける學級經營をして一層多き意義あり効果あるものたるしめんとして斬新の方と實際とを親切丁寧に説述したものである	弘道館
學級經營方案	大 元 茂 一 郎	一 四 六 〇 頁 送 價	本書は著者が大震災の當時新潟縣中蒲原郡に於て講述したものを簡にして要を得學級經營立案の原案として此上なき便利の書。	合資會社 文光社
學校衛生概論	醫學博士 北 豐 吉	三 〇 〇 頁 送 價	教授衛生と體育運動を中心として學校衛生の一般を簡潔に述べられたるもの好評十版を重ねるに於て是に徴して其内容の完璧は保證せらる	右文館
兒童位 學校園の實際	高 村 廣 告	三 五 〇 頁 送 價	理科教授上の新運動として學校園の設置はま營に關する實際の注意を述べたものである	隆文館
學校看護法	岩 原 正 儀	三 五 〇 頁 送 價	學校衛生の諸項目につき其實務を行ふに必要なる事項を懇切に説述せらる各小學校及び學校看護婦又は之に代るべき士の必讀書たり	右文館
學校管理法	田 中 博 三 人	三 一 八 頁 送 價	本書は地方學事通則を始め最新の法令に基づいて記述してあるから安心して使用するにことが出る。尙全部平明で流暢な口語記述	松邑三松堂
學校劇の研究	坪 内 逍 遙 家	四 六 六 頁 送 價	學校劇の問題は新教育が當然に創造した大きな獲物である。現代知名の藝術家の總合的批評意見の結晶を掲げ参考としたものである	集成社
學校教育	文學博士 小 西 重 直	五 〇 〇 頁 送 價	教育學の權威たる著者が個人的生活、家族の生活、國家の生活、世界人類の生活上に偉大な影響を來すべき學校教育を縱横論述す	博文館
學校内救急處置	葛 西 明	二 二 〇 頁 送 價	此書は突發病、不慮の傷害等の應急手當看護法を極めて平易に記述せるもの醫師は勿論學學校會社工場家庭一般階級を通じて必備品である	南江堂
戰後 歐米 學校めぐり	牧 田 宗 太 郎	四 〇 四 頁 送 價	中學教育に三十餘年を捧げた著者が戦後の日本の發展と教育との關係に思を潜め親しく海外を視察して國民の覺醒に資せるもの	博文館



學習園の經營と活用	大浦茂樹	菊判洋装 五五〇頁	送價 四、一八〇	本書は大浦先生が廣大なる奈良女高師の學校園主任として苦心研鑽、七年にして成れるもの微に入り細を極めて詳述す權威ある良書に建設したもので原理を平易に説明し且十分	明治圖書株式會社
學習原論	木下竹次	菊判洋装 六四四頁	送價 四、一五〇	他律的の教育學を包攝して自律的の學習學を具體化してあります。	目黒書店
學習心理と學習様式	松濤泰巖	菊判洋装 三〇〇頁	送價 二、一五〇	學習主義は世界の教育思潮として舊教育を征服する所以を心理學上より説明し且學習法の各様式を詳説した學習の根本となるべき書	東洋圖書株式會社
學童保健	醫學博士 三田谷啓	菊判洋装 六〇〇頁	送價 五、二〇〇	田谷先生が教育實際家の爲め特に公にせられたる就學兒童の保健衛生百般に就いての深奥なる學理と豊富なる實驗である。	中文館
近世教育史	田中博士 外三	菊判洋装 二五八頁	送價 一、〇〇八	思想に於ては努めてその發達の跡を釋れて之の傳統を審かにし傳記に於ては努めて其の時	松邑三松堂
近代教育思想史	入澤宗壽	洋装菊判 送價	五、一〇八	近代教育思想の祖ラトケより現代までの思想と教育の根據發展を系統的に示し一般文明	弘道館
訓練論	文學博士 吉田熊次	菊判洋装 送價	三、一〇六	具體的に訓育の意義方法を説き、歐米の特色したるもののである。	弘道館
經濟的新教師論	立仙藤松	菊判洋装 四七七頁	送價 三、一五八	從來の道徳的因襲を打破し生ける教師の在るが儘なる世界を直視してそこに生活中心の新教師道を建設する現代稀に見る大論文である	中文館
藝術教育大觀	小西重直	菊判洋装 五三〇頁	送價 四、二八〇	本書は藝術の本質と眞諦藝術心理的陶冶の方面に於て藝術の賞格と藝術教育書中唯一の名著	廣文堂
系統的教育學	文學博士 吉田熊次	菊判洋装 送價	五、一五八	斯界の權威たる著者が教育學の一般を系統的に説述したものであつて教育に志す士の必讀の書。重版又重版以て本書の價值を知るべし	弘道館

系統的教育史	吉原藤川	菊判布製 六〇〇頁	送價 四、一八〇	文檢教育科受験者の爲めに幾多古今の説を系統的に編述したもので故に文檢受験用として本	啓文社
教師の生命	鈴木春浩	菊判洋装 四七〇頁	送價 一、一八〇	福島縣の教育界に多年貢獻した著者が愈々病を得て退職の止むなきに至り教師の天職と其悲哀を物語る最も眞剣なる教育訓話。	日本書院
教育學	田中博士 外三	菊判洋装 一〇二頁	送價 一、〇二八	本書は從來の教科書の項目の如く多く科學的區分に従ふ事を避け成るべく實際的區分によつて實地教育の理論を了解させる事に努めた	松邑三松堂
教育學概論	文學博士 野田義夫	菊判布裝 八〇〇頁	送價 四、一五〇	著者は本書に於て必ずしも所説の奇拔を求めず古今に於ける教育の實事と嶄新の學理に基きて穩健的確の針路を示さんとことに努めたり	同文館
教育學概論	文學博士 春山作樹	菊判布裝 二二〇頁	送價 一、一八〇	教育學の何たるを知らんとする人教育學を讀破る穿ちたる點眞に類書中の白眉たり。	右文館
子女教育學教科書	下田弘	菊判一冊	價 九〇	大正七年二月十八日四版發行 大正七年二月廿二日文部省檢定	光風館
實業教育學綱要	矢田篤	菊判 一八〇頁	送價 一、一八〇	內容・緒論・目的論・方法論・養護論・教授論・訓練論・學校及教師論・附録・實業補習學校關係法規等を記述せる養成の良參考書。	明文堂
教育學說の論理批判	渡部政盛	菊判布製 四四〇頁	送價 三、二〇〇	代表的學說即ち社會的個人的主知的道徳的美學的宗教的實際的國家的人格的文化的等の概念論理を考究し批判したもので文檢受験者必讀書。	太陽堂
最新教育學大全	文學博士 谷本富	菊判布裝 一三〇〇頁	送價 二、三六〇	斯界の權威谷本博士が多年研究の蘊蓄を傾倒ける遂に大成せられたるもの、實に本邦に於ける教育の一大羅針盤なり。教育家の必讀書	同文館
教育學の話	小林鷲里	菊判布裝 四六〇頁	送價 一、四〇〇	文明人に取つて教育ほど大切な仕事はない然るに教育の何であるかを知らぬ人が多しその人々に教育全般の知識を授けやうとした物。	文藝社











道徳教育上性教育の問題 注目すべき性教育の問題	厚房孝 二五〇頁送	二、〇〇	人間性的生活の具體的知識を與へ道徳教育上如何なる方法を取るべきか道徳と性慾との關係を闡明したる教育家の絶好指針	明治圖書
式日記念日講話	大元茂一郎 一九四頁送	一、〇八	入學式卒業式、一月一日、紀元節、天長節、地久節、時の紀念日、陸海軍記念日等を始めとし偉大入傑士の記念日講話の實際と資料とを述べた	文光社
自然と兒童の教養	留岡幸助 二三四頁送	一、七〇	本書は兒童教育に於ける自然力の如何に偉大なるかを自己の経験と先覺者の考究した實例を引照して明かにしたるもの敢て江湖の清談を現代思想の全部を解剖し批判して、その歸趣を明かにし、教育の改造を論究したる著者の息み難き教育への愛の進める快著である	集・成・社
思想問題と教育	小原國芳 四六八頁送	二、五〇	本書は前篇に於ては汎く補習教育全般に及び都市補習教育に於ては今迄比較的研究の發表のない後篇に於ては今迄比較的研究の發表のない	三友社
新實業補習學校の經營	松本喜一 二〇〇頁送	一、五〇	本書は前篇に於ては汎く補習教育全般に及び都市補習教育に於ては今迄比較的研究の發表のない	三友社
實業補習教育研究	菊地良樹 四六八頁送	四、五〇	今回大に増補訂正を加へた本書は新著統合教科書と相俟つて我が國の實業補習教育に貢獻奉仕すること甚だ大なるものあるを信ずる	明文堂
實業補習教育制度の研究	千葉敬止 四八〇頁送	二、八〇	補習教育に關する研究が近時頗る進んで來た今日の制度をよく理解し活用し得ることは教育の徹底上極めて重要な事項である必讀書	三友社
モイ實驗教育學綱要	阿野重陽 孝六六二頁送	三、五〇	前篇は實驗に基礎を置きたる兒童心理學に關する言議は空論也實驗的建設なり實験に據らざる言議は空論也	大日本圖書株式會社
實驗合科學習	池内房吉 三〇〇頁送	一、〇八〇	目下熾に叫ばれてゐる合科學習の潮流を討ねる而して著者の實驗に俟てる眞面目な研究は内容を視ばせるに足る。一般教育者の絶好伴侶	目黒書店
兒童學原理 (兒童の身體及精神)	關寬之 函入寫眞送 版五八頁送	三、二五〇	兒童の身體と精神とに關する最近の全科學的研究を統合し、苟しくも兒童關係の事業にたづさばる程の人々に緊切な基本智識を與ふ。	アテネ書院

醫學上見たる兒童教育	眞島隆輔 一五〇頁送	一、五〇	天才教育の稱へらるる半面、不良兒童の發生と秀才兒童の夭折とが社會的恐怖を醸しつゝある時著者は臨床醫學の立場から救済を啓示する	厚生閣
兒童教育と兒童文藝	松村武雄 四六八頁送	三、二〇	兒童教育編、童話編、童謡編の三篇に分ち之の、材料豊富、考察精到。	培風館
兒童研究所紀要 1, 2, 3, 4	久保良英 洋綴二〇〇頁送	九、五〇	學術界教育界は今や本書を繙かすして兒童の研究を語るの資格なき迄に激稱せり。今回四卷分を合輯し教育家の爲め實費を以て頒つ	中文館
兒童研究所紀要 7, 6, 5	久保良英 洋綴二〇〇頁送	一〇、五〇	本研究所の紀要を公刊する事に七回今や其の合輯なる本書の斯界に重きを成すや敢て嗚々を要せず、敢て乞ふ必讀研究を。	中文館
兒童研究所紀要 六卷	久保良英 紙數十送	三、一八〇	本研究所の紀要を公刊すること既に五回今や本書を繙かすして兒童の研究を語るの資格なき迄に激稱せられたる現代教育學の根柢	中文館
兒童研究所紀要 七卷	久保良英 紙數十送	四、一八〇	現今盛んに行はれつゝあるメンタルテスト二の十有餘種の歴史、發達、現況を叙しその實際の梗概を批判研究したる近來の壓巻である。	中文館
兒童研究所紀要 八卷	久保良英 大判洋綴三六六頁送	四、一八〇	兒童個性に就ての科學的觀察に値するは本研究所紀要の誇りとする所、今や第八卷を公刊するに當り益々本書の必讀研究を推奨す。	中文館
兒童心理學精義 (訂正版)	上野陽一 菊判洋綴七〇頁送	五、八〇	學界の等しく渴望止まざりし本書は成れり兒童心理學研究の斯界唯一の良參考書也就中文館	中文館
兒童神聖論	長田新 斬新美裝送	一、〇六〇	現代教育社會の無反省を開拓し現代思想の渦中にあるものなからしづかに古典を求めその中に生くるものである。(フレール原著)	目黒書店
兒童の惡癖	寺田精一 四判洋綴五〇頁送	三、一五〇	兒童の惡癖の性質原因の研究とその矯正法の實際的の概念で至極通俗的に簡明に説述したる	中文館



修身兒童の經濟生活研究	亙理章三郎	菊二〇〇頁	判送價	九〇	國民の經濟生活を正當に指導し訓練すること最も重要なことで、それは兒童の經濟生活から著手せられなければならない。	中文館
自發教育案と其の實現	三好得惠	判布箱價	三、一五〇	一八〇	根本は學習主義により我が國現制度現法規に成績を修めて天下を驚かした新教育法の實際	東洋圖書株式會社
學校を中心とする社會教育の實際	田中七三郎	判布箱價	二、一八〇	一八〇	本書は社會教育の理論歐米最近の趨勢を説き、豐富なる體驗を基礎として我が社會教育を如何にすべきかの實際方法を論述せしものなり	明治圖書株式會社
鳥田三郎 社會教育論集	山室軍平	判布箱價	四、二七〇	二七〇	先生は社會教育家であつた其の識見は飽達も徹底的でしかも流暢明晰なる文章と立板に水滸を流すやうな大雄辯を以て最後まで戦はれた	文部堂
義務教育の徹就學出席革新論	梅田盛吉	判布箱價	一、一八〇	一〇〇	全國五十萬の不就學兒童は之を如何にすべきか本書は之の解決の方法を詳説せり著者の愛と熱と靈筆とがよく鬼神を泣かしむ	出版部
宗教と教育	小原國芳	判布箱價	一、一五〇	一五〇	宗教の本質を論じ更に宗教と諸科學との關係を論じて最後に宗教教育の必要と其の方法とに就いて著者の私見を述べたもの	太陽堂
修身學習の根本と其の實際	野中吉光	判布箱價	二、一五〇	一六〇	學習主義に基き生活本位兒童本位の生活に觸れた修身學習の一大記録。確固なる近代の倫理觀に根柢を置き而かも温情を以て綾どらる	東洋圖書株式會社
尋常小學國史編纂趣意書	文部省	判布箱價	二、〇〇八	〇〇八	現行小學國定教科書の修正及び編纂の趣旨を記して教授者の參考に資せられたる書	株式會社
尋常小學讀本修正趣意書	文部省	判布箱價	〇、四六五	〇六五	同上	共同販賣所
尋常小學書き方本修正趣意書	文部省	判布箱價	〇、四六五	〇六五	同上	共同販賣所
自由教育と小學校教具	野口援太郎	判布箱價	三、一〇二	一〇二	モンテソッリー自由教育體驗の結果を發表し、判し現代教育の通條を指摘したものである	集成社

體 驗 卅五年 小學校經營の實際	中島錦三郎	判布箱價	三、一六〇	一六〇	著者は師範卒業後三十五年間實際的經驗を巨細に披瀝したものと満卷悉く教育家としての尊き體驗生活の結晶的に訓導並校長諸彦に薦む	明治圖書株式會社
教育焦土の中から	友納友次郎	判布箱價	三、一〇二	一〇二	偶々大震災に直面し破壊せられた帝都、覆さる革命文化を眺め焦土の中に立ちて復興の要諦を革命にありとし新主張を力説せるもの	明治圖書株式會社
少年不良化の徑路と教育	中村古峽	判布箱價	一、一八〇	一八〇	不良少年發生の原因を社會、家庭、教育の種々の實例を以て心理的に説明したものである	日本精神會
新學校の主張と其の實際	永野芳武	判布箱價	三、一五〇	一六〇	日本に於ける新しき施設の理想的十六小學校究を遂げ着實なる紹介批評をなしたるもの	三共出版社
新教育學講義	文學博士 大瀨甚太郎	判布箱價	三、二七〇	二七〇	本書は著者が曩に著述した改訂教育學講義を災後大修正を加へ面目を一新して發行せるものなり	成美堂
小學校新教育の實際	福島師範附屬 教育研究會	判布箱價	三、一五〇	一八〇	最近の新教育諸説について、理論的研究に努力する者と共に、實際の方面から研究を重ね、教育實際家の唯一の指針を與へたものである	出版部
輝ける二女性	澤柳政太郎	判布箱價	一、一五〇	一五〇	兩著者發見の大明星、一はナポリ灣に廢艦の營みつつ形式教育の本質的に救済する二女性	日本社
新教育の哲學的基礎	入澤宗壽	判布箱價	一、一五〇	一六〇	現今の教育界の中心問題となれる新教育の哲學的基礎を著者獨特の見地に立ちて縱横に論述せしもの	内外書房
新教育法講話	入澤宗壽	判布箱價	二、一五〇	一八〇	本書は新教育法を講活體に最も読み易く説述せられたるもの。著者の蘊蓄が如何に易々として讀者の前に展開せらるゝかを見よ	天地書房
新教育論	横山榮次	判布箱價	二、一五〇	一八〇	我現時の教育が理論上にも實際上にも甚しく行詰つてなる折柄その進路としての新教育論を著者多年の經驗に基いて立論したるもの	目黒書店



新興藝術と新教育	志垣 寛	興判洋装 三七〇頁送	二、一五〇	藝術の紹介手引として最も要を得てゐるし、 新興教育の理想と方途とも亦明快に指示してゐる。	世紀育の
新公民教育の研究	鹿見島 登	菊判 四七二頁送	三、一四〇	新時代の特色は多数の共同の向上發展福利の 有るべきに此方面の知識訓練は可なり運 れてある本書は此の缺陷を補はん爲の物であ	目黒書店
新時代の教育	眞田 幸憲	菊判 五四〇頁送	四、一〇〇	常に變遷し行く時代の趨勢に順應して施設す べき實際教育に關する著者の意見論である。 獨斷を避け偏見に陥らぬやうにしてある。	目黒書店
新體育家の思潮	小原 正忠	興判布装 二四〇頁送	一、〇八〇	體操教師其人の修養上の参考となり心得とな るべき事項を流麗の筆を以て書かれたもの體 操教師 軍人 學校派遣將校諸士の必讀書	寶文館
新複式教育	小林 佐源治	菊判 四九六頁送	三、一五〇	自由教育優秀兒編制三學級二教員二部教授メ ンタルテスト其他最新教育學上の諸問題を詳 細に論述してある。	目黒書店
劣等兒心理と其教育	青木 誠四郎	菊判洋装 六〇〇頁送	三、一八〇	本書は低能兒及劣等兒の心理學的生理學的の 實驗研究と其の取扱ひ教育の方法等を懇切の 丁寧に詳述せられたるものである。好評四版	中文館
數概念の擴充と數學教育	小川 通司	興判布装 三二〇頁送	一、九〇〇	兒童の主觀内に如何に數學的世界を建設すべ きかに付數學教授者の探るべき態度任務を明 示した他に比類なき前人未發の良書である。	三共出版社
生活を教育にまで	志垣 寛	興判布装 三〇〇頁送	一、一六〇	現代の悩みと憧れ！兒童の生活を凝視して！ 人生の楽しみ生活への！生活と個性！生命の解放！ 人間味の充實！外十篇より成れる教育者の好 議論倒れになつた！女性教育の實施方法を具體的 に教えた！サナガ！女史の著を譯せるもの父母 教育家は本書に依て性の本能を善導せられよ	同文館
性教育	マーガレット サンガット 鳥山朝夢譯	興判函入 一八六頁送	一、〇五〇	現下教育界の大問題「性」の教育とその取扱ひ の根本的解決を闡明したる兒童研究の基礎學	朝香屋書店
精神分析法増訂三版	久保良英	興判洋装 六〇〇余頁送	三、一五〇	上の一の要書である。	中文館

兒童精神學的研究	文學博士 梅崎 淺太郎	興判洋装 五〇〇頁送	四、二七〇	本書は兒童青年の精神を正しく理解しそれに 應ずる所の教育の展開を明かにする爲の學的 根柢であり新科學の建設である。	中文館
聖の世界と教育	辻 幸三郎	全一册 四六頁送	一、〇四〇	内容を總論古代に於ける教育の發達中世に於 ける教育近世に於ける教育の發達に大別し各 時代に於ける教育の理想と經驗とを叙す。	目黒書店
西洋教育史概説	吉田 熊次	菊判 七七〇頁送	四、一五〇	「意識的進化としての教育略史」とも言ふべき もので此の著作に於ては一般に知られてはな く無視され等閑視された部分に特別に拂はれて	目黒書店
世界教育思想史 全	テゾッド 小 林 澄兄譯	四六頁送 五〇〇頁送	三、二〇〇	世界童話文學の鳥瞰 本書は世界童話文學の 根柢たるインドゲルマン民族の童話及び之に 近連せる諸民族の童話を古典童話口碑童話	早稲田大學 出版部
世界童話研究	蘆谷 蘆村	四六頁送 三九〇頁送	二、一五〇	三十餘年の努力を費して青の洞門を鑿ちし禪 海の傳記には随分誤が多い。本書は委しく禪 の考證を研究發表せしもの。	内外書房
禪海と青の洞門	廣野 隆	四六頁送 紙裝函入送	一、一〇〇	大學から中等學校に到るまで全國各府縣に就 き正確な調査に基いて編めるもの。各種營業 者の宣傳能率の増加に缺くべからざるもの	文藝社
全國各種學校名簿	文藝社編輯部	四六頁送 紙裝	一、二〇〇	官、公、私立の圖書館を所在地によつて府縣 別に排列したるもの、なほ巻末に全國新聞社 の所在地を掲げたり、營業者座右の寶典。	文藝社
全國圖書館名簿	文藝社編輯部	四六頁送 紙裝	一、二〇〇	人格を四方面から構成しようとする方法であ つて現今種々な教育法が提唱され、正に教育 の革命が翹望されてある秋、必讀書である。	開拓社
全人教育	鈴木 榮吉	菊判紙美 裝六〇頁送	一、〇五〇	最近中等學校並に専門學校に於ける選抜試験の 結果に關する心理學的的研究及調査の概括で、 一般素質検査法の試みの姉妹篇である。	中文館
選拔法概論	文學博士 梅崎 淺太郎	菊判洋装 約四〇〇頁送	五、二〇〇		中文館







哲學と體驗と教育	井上嘉七 三三四頁 二、一七〇	早川國吉 三三四頁 二、一七〇	研究東京大震教育資料	亙理章三郎 菊二五〇頁 一、〇〇〇	動的教育の各科指導案	及川平治 菊五五〇頁 四、一八〇	童話及兒童の研究	松村武雄 菊五八六頁 四、一八〇	讀書索引	井關經營 二〇〇頁 一、二〇〇	讀書論	歐米諸大家 菊一七〇頁 一、五〇〇	富と教育	高山直通 四〇六頁 三、二二〇	日本教育史	文部省 菊一八〇頁 一、一八〇	兒童藝術 粘土彫塑と木彫	横井曹一 美箱入 一、五〇〇	輓近學問論	栗山周一 菊五〇〇頁 三、一五〇
理想は哲學と體驗から生れる。主智主義教育の功過を打破するに於ては出発點に歸すべきである。この功過を打破するに於ては出発點に歸すべきである。この功過を打破するに於ては出発點に歸すべきである。	東京大震災は吾人人類にどう云ふ教訓を與へたか。専門學者の卓説は如何であるか。伴ふて起つた種々の事件の批判研究を満載す。	東京大震災は吾人人類にどう云ふ教訓を與へたか。専門學者の卓説は如何であるか。伴ふて起つた種々の事件の批判研究を満載す。	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	兒童心理學の泰斗たる松村博士が神話學民族學使命作法話術を綜合的に研究せられたる名著	
厚生閣	中文館	中文館	弘學館	弘學館	世界文庫	世界文庫	世界文庫	世界文庫	世界文庫	世界文庫	世界文庫	世界文庫	世界文庫	世界文庫	世界文庫	世界文庫	世界文庫	世界文庫	世界文庫	世界文庫

輓近の教育思潮	入澤宗壽 洋裝菊判 一、八〇〇	下中彌三郎 芳五郎小原國爲 三三四頁 二、二〇〇	教育の飛躍	小原國芳 菊四〇〇頁 三、三二〇	婦人問題と教育	廣田傳藏 四六六頁 三、二二〇	米國現代の教育	奥寺龍溪 四六六頁 一、五〇〇	ボーイ、スカウトの精神	菊地俊諦 四六六頁 三、二〇〇	保護兒童の教育的研究	田澤義鋪 菊一〇二頁 一、三二〇	實補習學校と公民教育	吉田熊次 菊七〇〇頁 四、一五〇	本邦教育史概説	松井詮壽 菊三〇〇頁 二、一八〇	町村模範教育實施案	北山茂 菊二七四頁 一、五二〇		
古代よりの歴史的發展に沿ひて現代教育思潮の特色と其研究の傾向とを明にし以て將來の向ふべき所を指示せんとせるものなり。	教育の飛躍が如き憧憬を有つ新人教育家四氏が現代の教育界に尊き激しき巨彈、飛躍をなげた快著である。	著者が血を吐く思つて天下の教育者と先輩と父兄とに訴へたもので命がけの苦みと戦ふ青年男女に満腔の同情を寄せたものである。	米國第一の標語の下に教育する米國現代に於て吾人の参考となるべき事實を集めたるもの教育研究家の必讀書として敢て薦む。	國民元氣培養の根本たるボーイ、スカウト(少年團)の眞精神は何處にあるかを、英米其他列強の實狀に照らして詳説したるもの。	保護兒童の研究は現時頗不振の状態にある著者の大に之を慨し理論並實際の兩方面より其教育的研究を試みたるもの即ち本書である。	補習教育に一隻眼を有し、多年之を唱道實行を吐露せるもの、補習學校當事者必讀の文字	本邦に於ける教育思想及實際の發達を叙し併せて本邦教育史に於ける影響を及ぼせる範圍に於て支那の教育史を於てしたものである。	メンタルテストの最新の理論と最良の方式を誰にも解り易く説明したもので圖表五十餘挿入、入學、試験問題と其解答及質問券を附す	我が國町村教育を振興して町村自治の發達を促すの要なるは夙に提唱する所、本書は著者が積年の實驗と研究の結果を具體化した書	北山茂	北山茂	北山茂	北山茂	北山茂	北山茂	北山茂	北山茂	北山茂	北山茂	
弘道館	集成社	集成社	集成社	集成社	集成社	集成社	集成社	集成社	集成社	集成社	集成社	集成社	集成社	集成社	集成社	集成社	集成社	集成社	集成社	集成社



野外學校の學理及實際	醫學博士 小田俊三	判洋裝 一、八〇 送價 一、二〇	林間學校臨海學校等すべて野外に於ける所の教育的學理的に説述したもので類書中の白眉。	弘道館
幼稚園の理論及實際	森川正雄	菊判箱入 三、〇〇 ポプリン送價 一、八〇	幼稚園の理論及實際を系統的に研究されたる邦文唯一最大の名著作。小學校は勿論女學校教師範學校にも是非一本を備ふべき重要な書。	東洋圖書株式會社
幼児教育の原理と方法	全二冊 苦瓜惠三郎	菊判洋裝 四、二〇 五〇〇頁送價 一、八〇	教育を發生的に見るためにも、家庭教育と學は十分考慮の必要がある。學校家庭の良考考して實費を以て提供す。	明治圖書株式會社
幼児素質検査用紙	文學博士 橋崎淺太郎	菊判 二、四〇 送價 〇、〇六	新入學兒童學的編制に臨み一般素質検査用として實費を以て提供す。	中文館
幼児の想像生活と其教育	黒瀬艶子	判洋裝 二、五〇 挿畫百餘送價 一、八〇	幼児の精神生活と虚心に凝視し幼児の作品を以て幼児の世界の展開を明かにしたものであります。	中文館
讀方學習活動	山路兵一	判箱入 二、五〇 三三〇頁送價 一、六〇	學習主義に基き讀本中の各種文章の學習を指導した實際を最も大膽に赤裸々に兒童の學習力伸張の有様を手に取るが如く説明した良書。	東洋圖書株式會社
讀方教育の理論及實際	尾形猛男	判布製 一、三〇 二〇〇頁送價 〇、八〇	兒童生活の一方面たる「よむ」といふ事を擴充すべく讀方科の指導は如何にすべきかに付遺憾なく理論的且つ實際的に説示したるもの。	三共出版社
讀方自由教育の原理と實際	鈴木源輔	判布製 二、〇〇 送價 二、〇〇	自由教育實施以來七年間に於ける體驗生活より生れ出でたる讀方教育の諸問題を表現したるものである。	費文館
勞農露西亞新教育の研究	仲會根源和	判布製 二、〇〇 三五〇頁送價 一、一〇	全世界無産階級の希望たる勞農ロシヤが如何なる教育が行はれて居るか、マルクス主義の立場より教育上研究し批評した名著である。	弘文社
我子の教育	西村伊作	判 一、八〇 四六頁送價 一、五〇	ルツツオのエミールに比すべき文化教育の聖書と評されたる名著。	文化生活研究會

教授法

吾が校の教育	東京女子師範校附屬小學校	判洋裝 二、二〇 三四〇頁送價 二、〇〇	東京女子師範學校附屬小學校が多年實施研鑽せる同校全教育の要諦にして教育の最新思潮によりて理論と方法を詳述せるもの。	明治圖書株式會社
私の理科教育	關原吉雄	判洋裝 二、八〇 五〇〇餘頁送價 二、二〇	理科の教授としては、物象に對する攷察的吟味の訓練、自然文化と理科教授等郷土適應の理的方法、農村文化と理科教授等郷土適應の理	明治圖書株式會社
實際上に改正小學國史の教授	内海靖	判布製 三、七〇 四〇〇頁送價 三、一七〇	改正されたる小學歴史を堅實なる現代精神と史眼に依り解説した。史上の参考は比類なく網羅され、教授用として廉價を負ひつゝある。	厚生閣
書方教材及指導法の研究	齊藤梅雄	判布製 一、〇八〇 二二二頁送價 〇、八〇	初等教育に於て最も閉却され易い書方教材を改善して新時代に適合せしめようとの見地から書方教授者の爲に特筆された名著。	廣文堂
最近各科學習指導法	石川縣師範校附屬小學校	判洋裝 三、一五〇 送價 一、五二〇	我が國思想界未曾有の紛亂に際し眞理を支持する精神を以て時代を通過し國體に鑑み適切なる教育指針たるものは即ち本書なり。	明治圖書株式會社
各科教授細目	小學校教材會	判 〇、六〇 四〇頁送價 〇、四〇	小學校教授書として最高權威を負ひ居る即ち小學校教師必讀必備の書である。	廣文堂
各科教授細目	山本孫一	判 〇、六〇 七四頁送價 〇、四〇	本書は新しい小學校の國語讀本の細目で數ある著書は本書の外に類を見ないであらう。	廣文堂
各科教授細目	黒沼勇太郎	判 〇、六〇 七二頁送價 〇、四〇	國史教授書としてその簡明にして要領を得てある著書は本書の外に類を見ないであらう。	廣文堂
各科教授細目	山本孫一	判 〇、六〇 六〇頁送價 〇、四〇	小學校教授書界に於ける最高權威として既に教師必讀必備の定評がある本書は震災後更に訂正増補面目一新す。	廣文堂



各科教授細目 地理科尋五、六高一、二	山本孫一 第一頁送各、六〇〇	地理教授は教へる材料多く且つ兎角完全を缺き易いのである本書は既に定評あるか如く簡明瞭にして而も要領を得てゐる良書なり。	廣文堂
小各科教授細目	高師初等教育菊 研先會洋菊 裝判各冊別	〔讀方〕各冊別〔綴方〕一、九〇〔書方〕三、八〇〔修身〕一、五〇〔地理〕七〇〔體育〕八〇〔算術〕一、二〇〔唱歌〕九〇〔理科〕二、三〇〔家事裁縫〕一、五〇〔圖畫手工〕三、三〇	培風館
各科教授法	田中博士 外三 人四四八頁送	從來の教科書が教授の實際を指導する權威に乏しい所以を考察し周到注意を加へた實地教授を練習した後再び本書を熟讀玩味せば可	松邑三松堂
各科教授要綱	東京青山師範 附屬小學校三四〇頁送	同校多年の経験と豊富なる研究に基き各科教授の要諦を説き、教育實際家の指導として暗夜の燈明、大洋の羅針盤なり。	明治圖書
家事教材及指導法	石澤吉磨 菊判ボブ 四、五〇頁送	生活改善を基調とする家事科は今や文化經濟時代に入りつつある本書は此の要求から小學女學校教師範學校の家事教材を網羅精説す。	廣文堂
兒童學習指導の方法	森岡半次 判洋裝價 三、五〇頁送	著者は自主的學習態度の養成につき懸命に努力せられたる結晶蓋し稀に見る名著徒らに空理空論を弄する教育書と其の選を異にす。	株式會社
小學校グラフ教授と實際	中野恭一 判洋裝價 二、七〇頁送	グラフ教授の目的、發生發展の過程を探索し教材論及實際論の立脚地を明にす。	目黒書店
教育教授叢書	大久保 菊地勝之助 中山榮作 各洋裝價 四、一〇二	第一編 文化と國史教授の方向定價 第二編 時勢と世界地理教授の實際 第三編 小學國史の活用	目黒書店
新思潮の教育教授の施設と經營	吉良信之 判洋裝價 四、〇〇頁送	歐米諸國に於ける新教育の施設經營を如實に傳へ併せて我國教育の欠陥と改革の途を指示す。	天地書房
教育教授の諸問題	佐々木秀一 判洋裝價 三、一五〇	教育教授論中新時代の新教育に適合すべき幾多の諸問題に付初等教育者に對し學理的根據と明瞭な見識とを會得させんとしたるもの。	株式會社

國定教材精説 尋六用	神野正一 菊判 製クローズ 送價 四、一〇八	尋五用 金三圓二十錢 郵税金十二錢 各種教材の基礎事項を特に各方面より資料を精選し多數の挿繪を入れて説明してある。	目黒書店
教授衛生	醫學博士 三田啓 菊判布裝價 五、〇〇頁送	神經系統と教授衛生との關係、大體及精神の關係系統に於ける教授上の要求、身體及精神の關係記憶の衛生等教授上に於ける一切	同文館
教授の効果測定	高師教授會 研究會布 裝判價 二、〇〇	米國教育大家ウオター、エス、モンロー氏の原著を東京高師の教授研究會が一般學校の採點法の參考に供すべく譯述せるものなり。	培風館
教授法批評要義	鹽見靜一 判洋裝價 三、五〇頁送	批評は易きに似て易からず教授の批評殊に然り本書は學識の要諦を明快に述べたるもの	株式會社
硬筆書方教授法	齋藤梅雄 判布裝價 箱入送價 一、〇七八	硬筆書方教授が考察さるゝ様になつたのは最近著者の傾向である本書は著者の體験から書かれたるに於て今後必讀の書である。	廣文堂
算術科 個別的取扱實際	田熊義知 判洋裝價 三、四〇頁送	本書は現下の研究問題たる個別的取扱の實際を著者の體験に基きて幾多の實例と巧妙なる解法を以て縷々論證せられたものである。	株式會社
實業補習 公民科教授	鈴木靜穗 判洋裝價 四、六〇頁送	本書は著者が公民科教授の實際案を公にしたつて知ることから出來る唯一の教授資料である	明文堂
公民科新要目解説	岡篤郎 判洋裝價 三、五〇頁送	文部省公民教育調査委員會の決議として發表せられた公民教育の要綱を解説し公民科教授の指針として、詳述せられたものである。	株式會社
新公民教育と其教授訓練	岡篤郎 判洋裝價 五、四〇頁送	本書は公民教育の理論、公民科の教授、公民科の施設等に關し豊富なる教育案を網羅させ、訓練の指針として、詳述せられたものである。	株式會社
祝祭日及び講話資料	相島勘三郎 判洋裝價 五、九〇頁送	方今我國思想界の混沌たる將來寒心に堪へざるものあり此の時第二の國民を一堂に集め、この活資料を提供す忽ち再版の盛況眞に活教訓	株式會社



(教授法)

尋常國語學習指導書 (自尋一至尋六前後期)	尋常國史詳説及教法	尋常國史挿畫解説	尋常國語讀本教授詳案 卷十二	最新教授學精義	小學校補習最新農業教授大資料 學校適用	尋常裁縫教授書	尋常算術學習指導書 (自尋三、至尋六前後期)
鷲尾知治	木藤重徳	増澤 淑	田上新吉	小川正行	片岡重助	文部省	岡井二郎
一七八頁	三五〇頁	三六〇頁	菊判紙裝一冊	菊判四五頁	菊判布裝八八〇頁	第三七頁	二宮貞藏
各、四〇六	各、一八〇	各、二八〇	三、一八〇	三、一八〇	六、二五〇	〇、五八〇	五〇余頁
各、四〇六	各、一八〇	各、二八〇	各、一八〇	各、一八〇	各、二五〇	各、〇、五八〇	各、四〇六
新教育の要求と全統一の新教育の良自習書	歴史挿畫は出典があつて説明が中々困難である	歴史挿畫は出典があつて説明が中々困難である	歴史挿畫は出典があつて説明が中々困難である	歴史挿畫は出典があつて説明が中々困難である	歴史挿畫は出典があつて説明が中々困難である	歴史挿畫は出典があつて説明が中々困難である	歴史挿畫は出典があつて説明が中々困難である
集成社	成文館	成文館	目黒書店	目黒書店	成文館	成文館	成文館

算術學習指導の實際	算術教授の主張と實際	算術新教授法大成	訂修 實驗複式教授法	兒童數學	高等小學國史の教材詳説	精説 珠算教授眞義	修身訓練の諸問題 前後二冊	修身教授革新論
小黒俊治	山本孫一	佐藤 武	中島錦三郎	平田 巧	手島繁雄	水戸部寅松	安部清見	小原國芳
三〇〇頁	四五〇頁	七七〇頁	二九〇頁	八〇頁	四三〇頁	五〇四頁	五三〇頁	四六〇頁
二、一五〇	二、一三〇	四、一五〇	二、一〇〇	〇、五八〇	三、一八〇	三、一八〇	三、二二〇	二、一五〇
國民教育獎勵會の撰に應じて名譽の月桂冠を	算術教授の主張と實際	算術教授の主張と實際	算術教授の主張と實際	算術教授の主張と實際	算術教授の主張と實際	算術教授の主張と實際	算術教授の主張と實際	算術教授の主張と實際
厚生閣	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館

(教授法)















一高式野球	韻律體操と表情遊戯	運動心理	提運動生理衛生學	各科教授細目	學校體操の生理的研究	學校體操要義	學校遊戯	學校遊技	競走指針
中野武二	白井規矩郎	佐々木等	吉田章信	藤山快隆 高橋吉太郎	小山々木助等	永井道明	外上田雄一郎	藤山快隆	文部省
ボケット 八七頁 送價 〇、五〇	菊判上製 三九〇頁 送價 三、五八〇	全一六冊 二一〇頁 送價 一、五二〇	菊判布裝 二五〇頁 送價 二、七八〇	八頁判 送價各 〇、六四〇	菊判布裝 七四八頁 送價 三、一八〇	菊判洋裝 四四二頁 送價 一、八〇	菊判洋裝 八四頁 送價 〇、四五	菊判布裝 二、二〇	四六判 一〇二五頁 送價 一、七三五
一高式野球!!は精神的!!猛練習!!其氣に於て敵に勝つるの意である。本書は一高式野球的に精神修得書と見るべきもの。	著者の創始せる獨特の表情遊戯について詳細にその方式を説明せるもの。	體育指導上最も缺陷とされて居た對象の心理を研究したもので、運動心理研究に對して諸問題を提示しその實行にまで導いてある。	體育運動の聲盛んなる時を生理衛生方面より研究されたるものは本書あるのみ著者は斯學の權威者體育學家學校必備の名著六版成る。	小學學校體操教授書中既に一般定評あるは即ち小學學校體操教授書に訂正増補面目一新し益々その本聲權威を拍しつゝあり、教師必讀必携。	日本體操界に於ける寶典なり體育の高調せらるるに今日當事者は一本を缺くべからず。	師範及び同程度の學校生徒の遊戯として適當なる者を選び體操教授要目に準據して其遊戯の解説を附加せり。	無用の經費、無用の手数、省き而も兒童の自由活動を拘束せずして短時間に多數兒童が各自好む所の全身運動を主眼としてある。	文部省は各方面よりランニングに關する標準を要求する聲高きに鑑み斯道大家及各方面より委員を擧げ精密なる審査の結果本書を成す	
文陽堂書店	敬文館	目黒書店	右文館	廣文堂	培風館	大日本圖書株式會社	大日本圖書株式會社	目黒書店	右文館

合理的體操學	疲勞十分間體操	小學校の運動會	各國小學ダンス	改訂尋常小學唱歌動作遊戯	新式體操掛圖	身體をよくする體操	體育學習の實際	體育の諸問題	正しき體操の指導	
今井學治	白井規矩郎	眞行寺朗生	片岡魯月	眞島陸美	西海龍藏	今井學治	川口英明	大谷武一	新西海龍藏	
菊判洋裝 四四二頁 送價 四、一八〇	洋裝美本 一四二頁 送價 一、〇六〇	菊判布裝 四三五頁 送價 二、六〇〇	菊判橫綴 一八五頁 送價 二、一五〇	菊判布裝 四二八頁 送價 三、二三〇	四六全判 拾一枚 送價 九、〇〇〇	菊判 送價 一、〇五八〇	四六全判 約三〇頁 送價 二、一五〇	菊判布裝 三〇〇頁 送價 三、一〇八〇	菊判布裝 三〇〇頁 送價 二、一八〇	
廣意を解せしめて教授し來れる舊式の體操界に一大革新を與へたるは本書なり體育書界の最高權威書として既に一般の定評あり體育家必讀。	多忙な人の十分間運動、胃腸矯正十分間運動、卓側運動、若返り運動、別に分表を添ふ。	小學校の運動會は年中行事の一であり、その新しい法の良否は兒童の體育にも大影響がある。	舞踊は人間の本能である位、今や人は踊らざるを照會したるもの此の書を以て兒童に誰も踊れる。	斯道の大家眞島先生が文部省の小學唱歌に動作遊戯を附せられたる必讀すべき良書なり。	體操教授の基礎たる人體解剖圖を基として體操の及ぼす各種の筋肉、内臟諸器官、各種の骨等に對する効果を鮮明に圖解したるもの。	體操は身體を働かせ、いふと、行つて其處に價値がある合理的なものだ、年少者に平易説明す。	學習主義に基いた體育學習の實際の類例なきを研究物とした。優良女高師獨特の產物である。	今や體育問題は教育上の問題なるのみならず、社會問題となり、著者がその抱負を公にせる。	つゝある。本書は著者がその抱負を公にせる。	體操全盛の時代ではあるが教師も兒童も眞に體操教材及其運動學に通じて居ないので、其の實質が擧げられない乃ち教材目的を網羅す。
廣文堂	日實業社	三共出版社	明治圖書株式會社	大倉書店	東京造畫館	廣文堂	式合資會社	目黒書店	廣文堂	



























わすいり地質のお話	藤本治義	一〇〇頁送	一八五	大正十二年の大地震!! 地質は餘がうごかし、さうではないと藤本先生は皆さんにわかした御話して下さいました。	盛林堂
チベットの物語 上	中村春二	一四六頁送	〇六〇	西蔵の童話八篇を趣味的に紹介したもの著者は久しく愛児達に話して推敲を重ねたが、底稿に遺したまゝ逝かれた。その遺稿出版。	讀本社の
家庭地理學習	山齋内俊次夫	四六頁送	〇八〇	かたくて家庭に於ける兒童の學習に趣味と實益を與へるために編むるものにして五六年の兒童に奨むる。	目黒書店
小學地理學習指導書	上里朝秀	四六頁送	〇五〇	小學心理の立場から、新教育の立脚點から地理の學習を、最も適當に實際的に指導するたために著者が大なる努力を捧げたもの。	集成社
小地理學習帳	新教育研究會	六年生用各一冊宛送	〇二〇	小學生徒の爲に地理の自學自習に便なるやうに、兒童の地理的知識の充實は的確である。	三共出版社
豫習 地理書の新しい研究	鈴木定	二三八頁送	一六〇	本書は文部省著作の地理書の準備して編述したもので、特に兒童の自學自習に困難を感じず産業地理には十分の注意が拂つてあります。	盛義堂
次の世界大戦	宮崎一雨	四六頁送	〇六〇	歐洲戦亂に敗れた獨逸が捲土重来世界に向つて復讐戦を宣告したその時を想像して描いた。	大日本會
綴り方自習の友	川村龍助	上下二冊各一三〇頁	四五	最新綴り方教法に基き、美しい文の作り方を親切に指導したるもの、小學兒童の良參考書。	教育書院
綴り方自習の友	川崎喜一	一八頁送	〇〇〇	現在の文明に貢献する諸種の機械の骨となり血となつて人間の對し隠れた功績を残してゐるこの二つの寶の大切なる知識を教へるもの。	文洋社
無用鐵と石油	田島八十八	四六頁送	〇二〇	フランスのお話をあつめたもの。『天國の門』編。『聖母と曲藝師』など愉快なお話ばかり十一編。	而立社
天國の門	田島八十八	四六頁送	〇二〇	フランスのお話をあつめたもの。『天國の門』編。『聖母と曲藝師』など愉快なお話ばかり十一編。	而立社

小學答案式理科の研究 (兒童用)	國田軍平	四六頁送	一八三	本書は文部省編纂尋常小學理科書により各課の内容を答案の形で詳しく説明し練習問題テスト問題を添へた受驗用復習用參考書である。	盛義堂
動物の生活	白井勝三	一八九頁送	〇〇六	自然に於ける動物生活のあり様を描いて、猛獸の冒険談飼養の話など有益で面白い。	文洋社
豊臣と徳川 (國史の三)	坂本榮吉	尋常高等各學年用各一冊宛送	〇一〇	豊臣徳川の偉業は桃山元祿の榮華を生み、三百年の太平となり、次いで國民を覺醒し、開國進取王政維新となる。感興最現實な好史談。	日本社
小夏休の練習	新教育研究會	尋常高等各學年用各一冊宛送	〇一〇	夏季休課中に兒童をして既修の諸科の復習を及ぶ内容に於て唯一の聲あり。	三共出版社
涙の花	平井晩村	四六頁送	〇二〇	薄命の詩人たる著者が心血を濺いだ作品であるほんとは涙くましほ感涙の情に充たされる様な少年少女讀物とし絶好の小品小説集。	大日本會
難波の堀江	補助教育會	四六頁送	〇二〇	日本は聖徳太子、支那は達摩大師、西洋はマホメットの話です、これは宗教のことがかいてあります。が、何れも面白くも面白くもありません。	而立社
日米未來戰	宮崎一雨	四六頁送	〇六〇	對米戰を假想して愛國の熱情に燃ゆる一少年が南洋の絶島に或は太平洋上に神變不思議の大活躍の様を描ける血湧き肉躍る熱血小説。	大日本會
3トの日本見物 (地理、法經)	坂本榮吉	一六〇頁送	〇〇〇	米國少年の日本觀。木のクツを穿きキノコを着る人民の政治商工文物やフツとサクラに飾られた國土の批評少年。覺醒の大文字。	日本社
少年常識叢書 文化の發明家と發見家	堀七藏	一六〇頁送	〇〇〇	文明の利器は凡て發明家發見家の贈物である。その人々の生立ちと修業、苦心の跡を知るの實に大なる發明發見を生む所以である。	文洋社
保己一	執行助太郎	四六頁送	〇四五	自分の長所と時代の缺陷を結びつけよといふ處世訓を織込んである。讀本に基礎をおいてゐるが上級生にも喜ばれる。	讀本社の



少年常識叢書 空中飛行機の話 橋本爲次 一八三頁 洋裝 一、〇〇六	少年常識叢書 七本 鎗 益谷光長 一四六頁 洋裝 一、〇五〇	少年常識叢書 命を火と空気 川崎喜一 一六〇頁 洋裝 一、〇〇六	少年常識叢書 生きた人の行く道 大瀧正寛 二〇一頁 洋裝 一、〇〇六	少年常識叢書 小學副國語讀本 馬淵冷 四六頁 洋裝 一、〇四〇	少年理科叢書第四編 不思議な天地 井田静夫 二三八頁 洋裝 一、二二〇	ブリタニカ 英雄傳 大山千代雄 四六頁 洋裝 一、〇〇六	少年常識叢書 手に取る星の世界 古川龍城 一五六頁 洋裝 一、〇〇六	理科物語(一) 星の話 松平道夫 二五〇頁 洋裝 一、二二〇	理科童話 第一編 螢の旅 研究教育會 二三〇頁 洋裝 一、二二〇
戦争の時、勿論現在では郵便に交通に平和の時でもなく、飛行機はたして諸君は、この大切な知識をお持ち合はせて下さるべきです。	著者は古武士のやうな人である。古武士が古武士の語る所に英雄の風采が躍如として来る。既に同種の書多に敢て出版した所以。	火は、どうして燃るか、動物の呼吸はいふ迄も吾人の生命に最も関係の深い著書。	現代世界の悪思想は我國にも勢強く入つてきた。第二の國民を正しく導く可く生れたもの。	東京高師訓導の兩先生が兒童教育上非常なる理想を以て編纂せられたもの。目下(尋一用)上三巻(尋二用)上中下三巻既刊、以下續刊。	天地自然の様々な現象に對して驚いたり疑つたり、或は不思議に思はれる諸君に本編は成るべく分り易く興味ある説明を成したものである。	歐洲天地に一新紀元をもち來つた傑士シザ、たの初めアルタス歴山大王等の傳記を記述した。その青少年の讀物として絶好無比。	地球太陽月を始め、天空無数の星について、身はさながら説明した。机上の望遠鏡とほこれ。諸君は毎夜空に輝く美しい星に目を止るでせう。此等無数の星には面白物語がある、學ばねばならぬ。學問がある夫が深趣に書かれて居る。	眞暗な夜ヒカリと光る螢は不思議な動物です。この不思議な螢の外に蟬やこほろぎや働き者の蜂や蝶等の昆虫の面白い本です。	

少年常識叢書 漫遊寫真だより 遠藤金英 學習院 一、二二〇	少年常識叢書 漫遊寫真だより 坂本榮吉 一、二二〇	少年常識叢書 世界傳説物語第三編 田島八十八 四六頁 洋裝 一、二二〇	少年常識叢書 旅行南半球巡り 佐藤保太郎 二〇五頁 洋裝 一、〇〇六	少年常識叢書 居ながら無線電信電話 辻井眞 一八三頁 洋裝 一、〇〇六	少年理科叢書第三編 珍しい私の植物園 井田静夫 二二三頁 洋裝 一、二二〇	少年理科叢書第二編 珍しい私の動物園 井田静夫 一九六頁 洋裝 一、二二〇	メンタル仕方 根岸榮之 三三四頁 洋裝 一、一五〇	理科童話第六編 森の戦争 研究教育會 二三〇頁 洋裝 一、二二〇	理科童話第五編 山の百合 研究教育會 二三〇頁 洋裝 一、二二〇
一少年と其妹が、トム君の案内で歐米を漫遊し、顧し現代文化の由來を究めた。活きた地理書。	前巻と同様の結構で、官吏や船長が郷里郎嬢に寄せた通信、名勝珍奇、古文明の紹介、黄白諸民族の消長等幼き子等の絶好滋養。	お馴染みの深いイギリスのお話をあつめた。す。島の王様以下九編の面白お話がありま。	亞細亞、亞弗利加、南亞米利加等南半球の要所を巡遊した見聞記、各地の地理人情風俗が、いかににも輕妙に描かれてある。	ラザオは今や流行の焦點になつて居る。歐米の實際、電氣の知識より懇切に教へた少年少女唯一の手引。	世界中の珍しい植物の中から特に珍しいものを選んで面白く書いた本編は誰でも「こんな植物が」と驚いてしまふ珍しい本です。	珍しい世界の動物に付て書いてある本編は、色々ない不思議な動物が皆さん驚かせます。昆虫採集法標本の作り方解剖の仕方解ります。	メンタル仕方の理論を對話體で説明し、且つ主要問題を示し本文との参照を計りたり。	人を喰ふ猛獣はどんな生活をしておるでせうか。それを知りたいでせう。恐ろしい獅子や狼や熊等の生活を面白く書いてあります。	山に咲く百合はどんなに美しく高いでせう。う。月に咲く月見草はどんなに可れんでせう。本編は皆さんの好きな草花のお話です。







第一童話叢書第一編	悪魔の尾	宮原晃一郎	四六判 二〇〇頁	送價 一、六二〇	十二篇の童話を収む總て是氏最近の佳作。著者は純粋に兒童の心理に這入つて此等の佳作を作した。自然で作爲のない文は子供的好讀物	協一出版會
	新らしい笑話の泉	松野綠水	菊牛裁	送價 〇、八五	どんなにがやうな話でもどうしても笑はずにはゐる。これをいふやうな話を集めたのが本書である。あらうに御飯を食ふことも忘れるであらう	紅玉堂
	新しき童話集	小林鶯里	函入美本 四六判 送價	一、三〇八〇	子供にとつて何といふ優しい世界でせう。本書を讀めば知らず童話の國につれられ、寝ることも御飯を食ふことも忘れるであらう	文芸社
世界童話	アラビヤナイト物語 (上下二卷)	少年通信會	菊判上製 四三〇頁	送價 一、八〇〇	毎夜々々一人づつの命を取るといふ恐ろしい心の王様が毎夜々々に面白のお話を聞いて其の心を入れば替へたといふ物語りがこれ。	博文館
	或るコツクの話	村山知義	菊判洋装 一〇二頁	送價 〇、五四〇	「お城シリーズ」の第五篇「フランスの怪物を退治したジャック」の附録添附	婦人之友社
	アンダアセン童話選	童話研究會	菊判美装 四五〇頁	送價 一、〇六〇	模範童話選集の第六篇、アンダアセン童話。特に興味深い物語を選ぶ。	博文館
	アンダアセン名著選	童話研究會	菊判美装 四五〇頁	送價 一、〇六〇	その特色を發揮してゐる。	博文館
	アンダアセン物語	少年通俗會	菊判布装 二六〇頁	送價 一、一八〇	世界で有名な童話作家であつて含蓄の深い義を面白くお話の中に托したアンダアセンを最も要を得て紹介した物語集。	博文館
學級	アンデルセン物語集	石井西重	菊判 一九二頁	送價 〇、九六〇	有名なアンデルセンの童話の中から少年少女向の優れた作を集めたものです。	ヨウネン社
家級	アンデルセン物語集	石井西重	菊判 一九二頁	送價 〇、九六〇	親なき子が旅役者の仲間に入つて諸國をさすらひ歩く哀れな物語りです。エクトル、マロの原作です。	ヨウネン社

	イソップ童話選	童話研究會	菊判美装 四五〇頁	送價 一、〇六〇	模範童話選集の第四篇、世界で一番有名な、一番含蓄の深い童話がイソップ物語なること説明までもない。その標準となる選集。	博文館
新	イソップ物語	青木茂	箱入美装 二七四頁	送價 一、〇二八〇	イソップ物語としては例のない新機軸に依つて、次から次へと一つの長い物語を讀み続けたい。	崇文堂
世界	イソップ物語	少年通俗會	菊判布装 五四〇頁	送價 一、一八〇	誰でも知つてゐる世界で一番有名な寓意談、童話に托して優れた教訓を含め味へば味ふはど滋味が感じられる。	博文館
學級	イソップ物語集	石井西重	菊判 一九二頁	送價 〇、九六〇	イソップの童話の中から教訓的なものを百二十篇集めました。別にイソップの小傳も添へてあります。	ヨウネン社
修身	逸話讀本(自一學年 至六學年)	藤川淡水	上六判 製送價	〇、七六〇	小學校修身書の一課一課に世界中の英雄偉人學者聖人の逸話をあてて面白く書いた珍しい本であります。	敬文館
	ウキルヘルムテル	村山知義	菊判洋装 百餘頁	送價 〇、五四〇	「お城シリーズ」の第三篇。山から山を馳せ廻る獵師テル。我が子の頭に載つてゐる林檎を射ようと弓を引き絞つたテルの話。	婦人之友社
童話の美	しい國 (神代)	吉田助治	菊判 一八六頁	送價 〇、五六〇	神代より人皇の初期に致る歴史傳説を童話とし解き我國の創造の由來を説く	文陽堂書店
海	ノ人形	吉田一穂	菊判 二五〇頁	送價 一、一五〇〇	日本一の美しき文章を書かれる人で學校の教科書には先生の作品が澤山の居ます。小學校の先生方は小供の讀み物に本書を推められます	金星堂
運	命の舟	宮原晃一郎	菊判 五〇〇頁	送價 二、一八〇	運命の必至を深く感じて居る印度人の悲劇を表面の如き戀愛が運命にどう弄ばれるか讀め	協一出版會
幼	きものに	島崎藤村	洋装 二六〇頁	送價 一、〇〇四〇	四人の幼い子供を残して遠い佛蘭西に旅立たれた著者が歸國の上歐洲の面白話を爲した。その話を澤山集めて子供達の爲に書かれたもの	日本業社







家庭物語	松本雲舟	二判洋装 二三八頁送	〇八六〇	なるしるはな英語讀本の中から選擇した教訓的 な面白味のある、健全な、有益なお話。	婦人之友社
カナオトギ叢書第五編 カナアンデルセン	井上英夫	一判函入 一六〇頁送	〇九六五	アンデルセンの中より著名なもの十種を選ん で面白く讀める。しかも文章は高華流麗。	協一會出
カナオトギ叢書第三編 カナイソップ	古閑八洲子	一判函入 一六〇頁送	〇九六五	この書にはイソップの中でも殊に著名なもの を集めて注意が拂つてある。二年生の讀物。	協一會出
カナオトギ叢書 カナオトギ叢書第四編 カナナグリム	巖谷小波	各四編 函入送各	〇九六五	ト(1)カガリ(2)オトギ(3)ピラ(4)ア ガリ(5)オトギ(6)ピラ(7)アガリ(8)オトギ の著者名も十三篇を撰んで つる。著者の著名なものが全篇に添 つてある。江島氏の装畫は錦上更に花を添 す開かれた天下になりました。鎌倉幕府はこ 源氏の天下になり、義経や靜御前等が出て参りま	協一會出
童話の鎌倉 日本史の鎌倉	吉田助治	四六判 一七〇頁送	〇五〇六	八篇の童話を收む。雄健にして直勁なる筆致 は夢幻的な子供生活をよく單純化して味ひ 多きものにしてある。	文陽堂書店
第一童話叢書第四編 かみなりの子	江口 渙	四六判 二〇〇頁送	一、一六二〇	大人國の不思議、小人國の滑稽、讀めば讀む ほど興味が新しく湧いて來るのはカリパーの 旅行記である。手輕に纏めあげた好書。	協一會出
ガリバー物語	鹿島鳴秋	二判紙装 二三〇頁送	〇八六五	一冊の小説と大人國の面白く不思議なお話 が此博文館	博文館
ガリバー旅行	童話研究会	四六判 四五〇頁送	〇八八〇	一冊の小説と大人國の面白く不思議なお話 が此博文館	博文館
童話兄弟星	富助一	二判美装 二三〇頁送	〇八六〇	子供の生活に觸れさせて讀みながら聞きな らうとの希望を満たさんために編んだもの。	三共出版社

ギリシヤ神話選	童話研究会	四六判 四五〇頁送	一、〇六八〇	模範童話選集の第十一篇、ギリシヤ神話が泰 西童話の古典であつた。必讀すべき一篇はこれ。	博文館
基督教童話寶玉集	芦谷芹村	四六判 五五〇頁送	三、二五七〇	古今基督教童話の神妙廿五篇を撰む。雄偉 麗を極むる長篇、眞球の如き短篇、教訓裡に 詩美を含み、壯麗裡にユーモア溢る傑作集	普照社
銀の翼	前田 晁	四六判 二八〇頁送	一、一七二〇	自分の子供の時を思出しつゝ書かれた物です 悲しみや喜びなどその物語、寶玉のやうに めた物です。どうか一度手に取つて下さい。	金星堂
紅雀	小川未明	二判背布 二九二頁送	一、一八二〇	人間愛を説く著者が、純真なる兒童に、その うらみほひある至純性を捧げるために心から にじみ表現したものである。	集成社
グリム家庭お伽噺	和田垣謙三	三判上函入 三三二頁送	一、二二〇〇	グリムお伽噺の内でも面白いものを選定し ました。そして、お話について解説をつけま	文陽堂書店
グリム童話選	童話研究会	四六判 四五〇頁送	一、〇六八〇	模範童話選集の第二篇、獨逸のお伽噺を大成 して世界的に有名なグリム兄弟の百千に上る 作中より選べる日本少年と興味深き物語集。	博文館
グリム名著選	童話研究会	四六判 四五〇頁送	一、〇六八〇	模範童話選集の第八篇「グリム童話選」に洩れ て、その上、その上、その上、その上、その上、 成を期し、グリムの全體を窺はしむ。	博文館
世界グリム物語	少年通俗 教育會	四二八頁送	一、一八〇〇	世界で有名なお伽噺の大家グリム兄弟の集め た多くの童話中、殊に名高く且つ興味のある 五十餘篇を選んで本書に收む。	博文館
文學級グリム物語集	石井重直	四六判 一九二頁送	〇九〇〇	童話の開祖、獨逸のグリム兄弟の童話の中 から面白くて有益なものばかり集めてありま	ヨウネン社
血戦記	川島堰一郎	四六判 四五八頁送	一、〇五八〇	歴史上に於て最も痛快な場面を描き日本魂の大 て精華を傳へんと心を注いだもの興味讀物とし て課外讀物として痛快絶無血湧き肉躍る雄篇	博文館



學校教訓お伽噺 全二冊	懸賞實演お話	三十年目こがね丸 書き直し	二年用(カタカナひらかな) 國語讀本おとぎ	古今逸話選	學校家庭 講話資料	子供に讀ませる 偉人の話 三二卷	お伽噺の大會	童話 金色の柱	細菌とお友達 一寸法師
巖谷小波	大塚講話會	巖谷小波	樋口紅陽	童話研究會	小林篤里	吉田助治	宗教大學 兒童研究會	原秀雄	日實 本業 社
五二〇頁送	既刊上製價 各三冊送	二二〇頁送	二〇〇頁送	四五〇頁送	三二四頁送	各四三頁送	三〇〇餘頁送	四六六頁送	一〇九六頁送
各二冊	各一冊	〇八五	一九二	〇六八	〇八五	各一冊	一〇八〇	一〇二八	一〇二六
東洋の部、西洋の部二冊に分つ、世界の約三百篇を網羅してゐる。挿畫も頗る豊富。	大塚講話會が一千圓の賞金を懸けて全國の教育者から募集した實演お話の入選作をまとめたもので、非常に面白くお話をばかりです。	小波先生が青年時代の出世作を三十年過ぎてお伽噺界の記念出版物として出版。	模範童話選集の第十二篇、東西古今の偉人傑作を、簡潔にまとめたお伽噺の選集。	本書は家庭の讀物且小學校講話の参考書として叙述した我國の昔噺と獨逸のレツシンゲのフアールを譯述してゐるに順に排列した。	科外讀本として子供の爲めに書かれた古今東西の英雄傳です。著者は永らく子供の教育の爲め、骨を折られた方。安心の出来る本です。	本書は講演、動作劇、歌劇、連鎖對話、喜劇、讀物として又お話する人の好参考書也。	ロシヤで有名なソロゲエフの傑作選集であり、實に面白く上品で藝術的で大人が讀んでほめるべきお伽噺の傑作集です。	お伽噺に引續いて編輯された新お伽噺に、お伽噺の二題を附録としてある。家庭でも學校でも、缺くことが出来ぬ良書。	お伽噺の知識を興味の深きものとして、子供にも興味津々としてつきまじり、衛生の必要を教へ、供に讀ませるべきお伽噺の傑作集也。
博文館	博文館	博文館	日本お伽噺出版部	博文館	芳文堂	金星堂	弘導閣	崇文堂	日實 本業 社

小波新お伽百話	三獸士物語	實演お話集	世界忍びの外套	史話童話	島の娘	印度ジャータカ物語	文學級 ジャンヌ、ダルク	童話の十五夜 藤原時代	家庭小公子
巖谷小波	松本苦味	大塚講話會	東京童話會	下山つとむ	村岡花子	林光雅	石小西重直	吉田助治	巖谷小波
八二四頁送	三〇餘頁送	既刊上製價 各三冊送	一五六頁送	二四四頁送	三二〇頁送	三九六頁送	四一五頁送	一八〇頁送	三〇〇頁送
三、六〇	〇六五	各三冊	〇六〇	一、二〇〇	〇八〇	二、一七〇	〇九〇	〇五〇	一、〇六〇
お伽百話に引續いて編輯された新お伽百話に、お伽噺の二題を附録としてある。家庭でも學校でも、缺くことが出来ぬ良書。	繪の澤山入つたフランスの童話集で、三獸士以下七篇の童話を集めたものである。	大塚講話會の編著です。小供に話して聞かせるに絶體に安全な而も非常に面白くお伽噺の傑作集也。勿論子供の讀み物にもなります。	魔法の水をばめ五篇の童話を集めたもの、子供に話すのにもよい本である。	朝稚の旅、第一の王子、沈んだ鐘、名優ギユを拾つた話の七編、少年少女の絶好の讀物。	物語と童話とクリスマスのお伽噺三部に分れ、月にして三編、みな著者精選のもの。發賣三ヶ月にして三版發賣中である。	グリムより、イソップより、面白く有益な童話約五十篇を収め、日本最初の印度童話集也。學校、家庭には是非備ふべき本である。	寒村に育てる愛國心の強い一少女が、泰然として國難の爲に立つた悲壯な物語です。	藤原時代の物語で、十五夜の満月のやうに、つとめと目がないとほこつた藤原氏の面影が忍ばれる。	米國女流作家バネット夫人の傑作小公子を翻譯して家庭劇に仕組み家庭の讀物として、家庭的の親物としても興味深きもの。
博文館	紅玉堂	隆文館	紅玉堂	育英書院	日本日曜學校協會	甲子社書房	ヨウネン社	文陽堂書店	日本書院



少女美談

熊田葦城 四六判 洋裝上製送 一、五〇〇  
この書は、少年美談の姉妹編で同じく古今の少女の善行善事を数百あげたもので感心すべし事ばかりです。

少年對話とお話大會

樋口紅陽 二五〇頁送 一、二〇〇  
兒童たちが読んですぐ對話が出来たり面白くお話し出来るやう、みんな教訓的なものばかりです。兒童も先生も家庭の父兄も御備下さい。

少年文學叢書 (上、中、下三卷)

小野誠悟 各冊四〇頁送 一、〇〇〇  
明治以後の一流作家から引いては世界の名文豪の生ひ立ちの記(主として自傳乃至自叙傳的作品)を蒐む。少年少女の血を沸かせる。讀物とするよりも修養とすべきものである。讀者の特長は、紅葉、美妙、露伴其他當年の一流作家の小波が、特筆を執つて一篇を寄せ全三十二冊の少年文學を成る。毎篇木版錦繪挿入。

少年美談

熊田葦城 四六判 洋裝上製送 二、〇〇〇  
古今の少年に關する善行善事を、著者獨特の物とするよりも修養とすべきものである。讀者の特長は、紅葉、美妙、露伴其他當年の一流作家の小波が、特筆を執つて一篇を寄せ全三十二冊の少年文學を成る。毎篇木版錦繪挿入。

少年文學

巖谷小波 中判和裝 各約四〇頁送 各一、〇〇〇  
出さずば尋常五六年高小等小學二年中女學校一年生程度のものである。科外讀本家庭讀本に好適。

少年文學叢書

小野誠悟 各編四〇頁送 各一、〇〇〇  
二年生程度のものである。科外讀本家庭讀本に好適。

童話の白旗 (源氏)

吉田助治 四六判 一八六頁送 一、五〇〇  
歴史的物語の事。

童話の神風 (北條時代)

吉田助治 四六判 一八六頁送 一、五〇〇  
鎌倉幕府の執權北條時代の物語で國難、元寇の役等盡きぬ物語はそれからそれへと続きま

新文學概論

吉江喬松 四六判 三五〇頁送 二、一七〇  
文學の意義本質より藝術、美學、詩、戯曲、小説各部門に亘つて細説し、思想の傾向、批評、等東西の文學の概要を語り得た好著である。

小波新編お伽百話

巖谷小波 四六判 一〇〇頁送 四、一八〇  
小波先生の圓熟せる筆とを以て子供達の心持を標準書と稱せらるゝ名著。

救の父

馬淵冷佑 四六判 二四〇頁送 一、二〇〇  
震災當時被服廠跡にて二人の子供を救ひ出せたる話にして、數ある震災美談中最も深き感動を與ふるもの、兒童の好讀物たり。

雀のお宿

十八名家 四六判 五二頁送 二、一五〇  
故竹貫佳水先生の記念して十八人のお伽の名家が各々得意の一篇を寄せて出來た七彩の虹のやうに色とりどりの童話選集。

聖フランシス (少年少女のため)

山村暮鳥 四六判 二六〇頁送 一、〇五〇  
致したのは、聖者の生涯を敬虔な思想と詩的筆致で描いたもので、子供に親しい友として三版發賣中。

改訂世界お伽噺

巖谷小波 袖珍布裝 五〇〇頁送 各一、〇〇〇  
世界お伽噺百篇を各十冊づゝ合本、袖珍版とく推して現れた。家庭的なお伽噺集である。

童話世界見物

水谷次郎 四六判 三二〇頁送 一、一〇〇  
太陽の巻黄金の巻寶玉の巻花鳥の巻として全四冊出來た。本書即春夏秋冬の四冊に分冊す。

文部省認定(意匠登録) 童話集 世界の童話

樋口紅陽 四六判 二六八頁送 一、二八〇  
世界の面白い童話を集め五色の色刷としたるものにして表紙及函に至る迄美麗なる原色版を用ひ他のマネを許さざる無二の兒童讀物。

科學世界の不思議

佐近益榮 四六判 二五六頁送 一、〇二〇  
科學の基礎となり、そして兒童の感興の泉となつたのが本書である。

千一夜物語選 上卷

童話研究会 四六判 四五〇頁送 一、〇六〇  
模範童話選集の第七篇、アラビヤナイトの名にお伽噺を讀むほどの心に深く沁み込んでゐる。その新しい選集がここに現れた。

千一夜物語選 下卷

童話研究会 四六判 四五〇頁送 一、〇六〇  
模範童話選集の第九篇、上卷を相俟つてアラビヤナイト物語全體の面白さを略ぼ盡してアラビヤナイトに富む内容に他は類がない。

その日その日の物語

加藤未吉 四六判 三五二頁送 各一、〇〇〇  
一年三百六十五日を日についで、その日その日の物語をしかも我國史の誇とする美談を、あつめ各月には立派な原色の口繪を入る。



孫悟空物語

童話研究會

四〇五頁 裝訂美 一、六八〇

模範童話選集の第五篇、西遊記として知られ、支那の物語を面白く解り易く書き直して、児童の心を天に運ぶ好讀物。

博文館

第一童話叢書

自第一編至第十編

作家流童話各編

函各編 裝訂美 各一、二〇〇

童話界最高權威、執筆宮原晃一郎、宇野浩二、前田晃、江口、秋田雨雀、宇野千代、福永、加藤武雄、徳永壽美子、廣津和郎、永瀨、加藤武雄、秋田雨雀、宇野千代、

協一會出

少年對話六人集

中島外四名

四一三頁 裝訂美 一、〇六〇

「日本少年」の少女の友、六記者が腕に對し、十二編を収めてあります。

日實本業社

童話の寶

吉田助治

一四八頁 裝訂美 一、五〇〇

景行天皇より數代に至る間の皇室を中心とし、輝映の細い文章、子供の外に、若大臣を附す、輝映の細い文章、子供の外に、若大臣を附す、

文陽堂書店

竹取物語

須藤和彦

一三〇頁 裝訂美 一、五〇〇

輝映の細い文章、子供の外に、若大臣を附す、輝映の細い文章、子供の外に、若大臣を附す、

協一會出

武者團子串助漫遊記

宮尾しげを

二〇二頁 裝訂美 一、〇三〇

海道の山陽道九州路への武者修業、團子串助が東御免の珍妙奇手、色刷優美の漫畫物語。

雄大日會本

理科蝶と花との對話

金子洋文氏著

一四四頁 裝訂美 一、〇三〇

花に關するあらゆる秘密を上手に物語るお伽話、理科の蝶と花との對話、

日實本業社

ツズリカタノホン

初等教育會

二七〇頁 裝訂美 一、〇三〇

小學校の副讀本として、學年別に教科書との連絡を保ち、最も興味あるものを選り、各頁毎に挿畫を加へたる有益無比の最美本なり、全八冊。

文泉社

童話集 角笛のひびき

吉江孤雁

二〇五頁 裝訂美 一、〇六〇

作者が佛蘭西に在留中、彼地に於ける、著者最近の力作、歐洲に材をとりたる童話集である。

日實本業社

天と地の出來事

宇野浩二

四六〇頁 裝訂美 一、一六〇

八篇の童話を収む。其取材の玄妙自在なる、表現の奇矯、永瀨義郎氏の裝置に先づ目を奪はれる。

協一會出

藤太郎の旅

與謝野晶子

一六二頁 裝訂美 一、一八〇

これは與謝野夫人が自家のお子さんの爲めに、自ら作つたお話、好く解り易い童話です。

朝日書房

童話集幼き日

野邊地天馬

二九〇頁 裝訂美 一、〇八〇

童話の寶玉集である。幼いお子さん方の爲めに、著者が三ヶ月にして三版を出した。

日本日曜學會

現代童話の泉

日本童話會

三三〇頁 裝訂美 一、〇五〇

現代名家の傑作、最も面白くて、教訓になる童話の讀物として、少年少女に歡迎せられて、家庭讀物の側面に現したる等、この注意周到の良書。

文展堂

童話集 話のお國

樋口紅陽

三〇四頁 裝訂美 一、一五〇

著者の世界的考察で、兒童の眼の爲め、その側面に現したる等、この注意周到の良書。

日本お伽學校出版部

童話集 ビノチヨ

西村アヤ子

四六〇頁 裝訂美 一、一三〇

西村伊作氏の長女アヤ子さんが十一才で著述された、兒童藝術の先驅として、意義の有る名著。

文化生會

動物の智慧

吉田助治

一〇〇頁 裝訂美 一、〇〇〇

皆さん動物は少しも馬鹿では有りません。蟻おの思ふなら、一へん本書を御覽なさい。

金星堂

小話科 なぜですか

小林巴都子

一八〇頁 裝訂美 一、〇〇〇

知識慾に燃えて、理科の理論を苦もなく、具體的に説明した好著。

敬文館

涙の握手

水守龜之助

四六〇頁 裝訂美 一、〇〇〇

その國は滅され、王は姿を隠し、美しき皇太子が、非常な面白復讐物語である。

雄大日會本

童話の 奈良の都

吉田助治

一七八頁 裝訂美 一、〇六〇

元明天皇より、光仁天皇迄、奈良朝七十年間の雅史、唐使の事、佛敎全盛の時より、阿部仲磨の曲、道鏡の事、清磨の忠烈に及ぶ。

文陽堂書店

童話の 難波の堀江

吉田助治

一七五頁 裝訂美 一、〇六〇

武烈天皇より、文武天皇迄、佛敎傳來の期より、三韓の折衝、入鹿の誅伐、壬申の亂に及ぶ。

文陽堂書店







文學副讀本	白鳥千代三挿繪入送各	〇四〇	現代作家の作品から國定國語讀本に聯絡した兒童向のものを滿載。各學年上下巻全十二冊。全圖小學校指定。副讀本中の最高權威。	協一會出	
童話の平安の都 (平安朝)	吉田助治	一四六頁送價	〇五〇	恒武天皇より文徳天皇に及ぶ。平安遷都より僧輩を出せしことより文物隆盛を説きたり。	文陽堂書店
ベスト博士の夢	武井武雄	四六判總送價	〇五八〇	毎月の繪雜誌で子供の方と一番仲善しの武井氏が繪筆の暇に書かれた非常面白き童話と。	金星堂
お伽話集	澁澤青花	四六判洋裝上製送價	〇二六〇	おもむく所十八編。悲しいものもあれば滑稽なものもある。人数の大小など自由な朗讀だけの。	日實本業社
芳水詩集	有本芳水	菊半洋裝上製送價	〇八四〇	少年時代の懐しい回憶を歌ひ、幽愁切々の旅情を吟じたもので、玉の様な麗はしい情調と泉の様な豊かな詞藻とが全巻に溢れてゐる。	日實本業社
僕の好きな英雄	小林篤里	四六判函入美本送價	〇〇八〇	古來の英雄といはれる人々には、子供のときから秀でてた所がある。それを述べたもの、本書の中には好きな英雄が一人はきつとある。	文藝社
ポケット童話叢書	新人十名	各菊半編送價	〇五四〇	1竹取物語 2レミゼラブル 3西遊記 4小公子物語 5太閤記 6青い鳥 7犬傳 8クオレ 9古事記	協一會出
學級まごころ日記 (タオン)	石小西重直	四六判一九二頁送價	〇九六〇	イタリ一の小學兒童の哀れに涙ぐましい愛の日記物語を集めたものです。	ヨウネン社
魔法の小馬	白鳥省吾	四六判洋裝上製送價	〇一七〇〇	本書は兒童週間及圖書館協會から面白くて有益な本として推薦された童話集です。親達から安心して子弟に讀ませる事が出来ます。	金星堂
文學物語讀本 自一學年至六學年	横尾眞琴	四六判製各三年以下送價	〇五〇〇	これまで世に傳つて来た古今東西の物語の中から最も子供に適ふと思はれるものを選び新敬	文館

講話模範のお囃集	岩田九郎	四三〇頁送價	〇八八〇	講話を面白く聴かせる手段方法を研究した。講話の句を切り節を分ち語調の緩急抑揚等の例を三篇の童話を收む。著者は其序に自分は此書の中で一種の子供への健全な贈物である。	大日本圖書株式會社
第一童話叢書第三編	前田晁	四六判布製送價	〇一六二〇	世界へ旅立つ子供への健全な贈物である。	協一會出
童話山の御殿	八波則吉	四六判製送價	〇〇八〇	昔て文部省編纂官たりし著者が國定教科書編輯中兒童讀物として尤も適當と認めたる童話編を蒐めたるものにして童話中の白眉である。	文館
立志美談山行かば	原田指月	四六判美本送價	〇二〇六〇	本書は立志成功美談にして全篇悉く血と涙の結晶。盡きない興味の中に絶大な教訓を含んで居る眞に少年少女の絶好讀物。	甲子書院
優良訓話選	初等教育會	四六判送價	〇一五二〇	東京高師附屬小學校初等研究會が懸賞募集したから優良な作品を集めたものである。	大日本圖書株式會社
幼年ボンチ	木村小舟	菊半洋裝上製送價	〇三〇四八	文字彩色の別刷挿畫があつて本文は二色刷、大も讀める面白く、ボンチ繪本。	博文館
義經物語	巖谷小波	四六判紙裝送價	〇八六五〇	少年少女諸君に最もお馴染み深く、人気ある源義經の小波先生獨特の歴史童話。	博文館
童話の吉野の宮 (南北朝)	吉田助治	四六判送價	〇五〇六〇	皆さんの、おすきな楠正成や正行がどんな苦心を以て忠義につくりましたか、南北朝の戦文陽堂書店	文陽堂書店
ラング童話集	飯田敏雄	四六判送價	〇二五二〇	アラビヤ夜話風の千變萬化の不思議な物語の新しき意味を持つた童話集です。	早稲田大學出版部
リップ・ヴァン・ウキンクル	村山知義	四六判洋裝送價	〇五〇四〇	浦島物語。村の若者リップが一晚のうちに白髪のお爺さんになつた不思議なお話……	婦人之友社



ボクサト童話叢書第二 し、み、ゼラブル	ロービンフツド	ろしあお伽集	ろしあ傳説集	ろしあ童話集	理科 小話 私は水の 一しづくです	新しき 笑と教訓 ワッハッハ	ロビンソン漂流記	滑稽 短編集 笑の爆弾
小島徳彌 挿畫入 一三〇頁 送價 〇、五〇	村山知義 一〇五頁 送價 〇、四〇	昇 曙 夢 三五六頁 送價 一、八〇	昇 曙 夢 三五八頁 送價 一、八〇	昇 曙 夢 三六六頁 送價 一、八〇	小林巴都子 一八〇頁 送價 一、〇〇	岩井貞磨 二八〇頁 送價 一、八〇	童話研究會 四五〇頁 送價 一、六〇	松山思水 四六八頁 送價 一、二〇
この大部な長篇をこの小冊子にまとめた著者の手ざは鮮かき。読み初めたら面白くて最後まで巻を置くことが出来ぬ。	十四歳までの子供のために解り易く編んだ「お城シリーズ」の第一篇。十二世紀の物語に於いては英國の名高い傳説的人物の物語。	ろしあお伽は北國の人々が幾百年に於いて磨き上げたもので面白く、随一です。本書は其代表的なものを分り易く譯したものです。	本書は露國の有名な代表的傳説を平易に譯したもので、童國の人情風俗を知ることが出来ます。露國の童話中代表的なもの百六十篇を選んで分り易く譯したもので、少年少女諸君のよい友達であり、日曜學校等のお話として適當です。	水の身の上話を主題として、理科百般の智識を興味多し筆致で書いたもの。少年少女の好讀物を務めず。	ワッハッハといふ笑ふ形容詞が只笑ふだけでは意義を成さぬ釘を打つ處にピンと打つてある。其の打つてあるのが此の本の特色である。	模範童話選集の第一篇。クルソーカ無人の孤島に漂着して二十餘年間の艱難辛苦を嘗め、た物語。世界の少年の興味を惹ける名著。	收むるところ二十五篇の短編滑稽小説と外に爆弾に見舞はれたら誰れでもすぐ笑殺される。	一管の筆より遊り出でたる多感なる學生血と涙の物語、戀愛を説き哲學を論じ、忌憚なき官能を描きたる感想隨筆小説戯曲で充つ。
協一會	婦人之友社	大倉書店	大倉書店	大倉書店	敬文館	九段書房	博文館	日實業社

文學

或る學生の手記	新口譯 十六夜日記	泉 と 鐘	縮一 續 一年有半	註校 兩 月 物 語	英文學形式論	英文學史 (上篇) (黎明期よりミルトン時代迄)	英文學史 (續篇) (トライデンよりビクトリア王朝迄)	英雄崇拜論	江戸文學選集
西尾 操 四六八頁 送價 一、五〇	關根正直 總クロー 入一六〇頁 送價 一、三〇	武者小路實篤 四三〇頁 送價 一、四〇	中江 光 四五四頁 送價 一、四〇	佐藤仁之助 一三六頁 送價 一、〇〇	皆川正禧 二〇〇頁 送價 一、五〇	小日向定次郎 六〇〇頁 送價 五、二〇	小日向定次郎 六〇〇頁 送價 五、二〇	カライル 住谷天來 四六八頁 送價 一、九〇	鈴木敏也 四六八頁 送價 三、一〇
斯道の大家兩博士を煩し専ら編纂上の監修を囑し最善の美を竭したるもの國文の修養受驗の參考として此上なきものであります。	著者の眞摯なる藝術論と赤裸なる人生論即ち著者の全人格全思想の結晶が本書である。此眞の偉人を持つ喜びを益深くするものである。	兆民病を獲て起つ能はざるを知り滿腔の熱血著を成す。今縮刷合装されて讀誦に便す。	上田秋成の傑作兩月物語に親切なる標註を加へ教科用及び一般讀者の愛讀用として便を圖りたるものなり。	夏目先生の文學論は文學の内容論でありませうか。先生は此形式論を思考されなかつたでせうか。本書は此疑問に解答します。	讀賣新聞評しその批判が公平で緻密、容易に他史と最も優れた價值を持つ云々。	養に黎明期よりミルトン時代迄を著して學界を驚異せしめたる著者、茲にその續篇を公にす。實に不朽の文獻と云ふ可きか。	一代の文豪カライルが自ら崇敬せる偉人十數氏を論じて高遠の理想、正義の力を高揚せる有名なる大文字。	江戸文學史要の概略を叙し同時代の代表的作品に對する批判適當なる註を加へ又映寫せられたる江戸時代世想の實感である。	
文藝社	集文館	アテネ書院	博文館	明治書院	岩波書店	文献書院	文献書院	警醒社	中文館







賢者ナアタン	藝術の門	藝術の話	藝術の永遠性	藝術と藝術家	藝術哲學上	藝術鑑賞論	藝術概論	藝苑一夕話	近代文藝筆禍史
大庭米次郎	松原 寛	小林篤里	箕輪鍊一	山岸光宣	イホリイト・テエヌ 廣瀬哲士譯	蘆田正喜	黒田鵬心	市島謙吉	齊藤昌三
四六判ク ロース装 三六六頁 送價 二、一七〇	四六判 二二五頁 送價 一、一五〇	美四六判 送價 〇、四〇	一四六判 送價 〇、八九〇	四六判 送價 三、一八〇	四六判 三二八頁 送價 二、一三〇	四六判 二五〇頁 送價 一、一八〇	四六判 二五〇頁 送價 一、一八〇	各四〇頁 送價 各三、〇八〇	一六〇頁 送價 二、〇八〇
レツシンク 晩年の作 同胞的愛 と人類の 交驛の 幸福が清 朗な宇宙 的情調の 中に唱わ れてゐる 其道徳的 莊嚴美は グレート のアスト に並ぶ。	乞ふの叫 びの結晶 が即ち藝 術の最後 の姿であ る。	藝術は人 類に取つ てなくては ならない ものである 。それだ つて平易 な解説を 試みたも の。	藝術は未 だ試験時 代である 。本書は 其一答 案として 人間の「 生活本能 」と「生 存感」を 基調とし て、藝術 の新しい 見解を與 へた。	論藝術對 社會の問 題に解決 を與へる 本書十篇 の論文は 大光明也 。	原著者の 獨創的哲 學的環境 論より出 發し美學 大寶典と して古典 の殿堂に 入れる名 著である 。	本書はサ ンタナ の名著「 藝術に於 ける理性 」から抄 譯したもの である人 類進歩の 基調を理 解するに 役立つ。	繪畫彫刻 建築文學 音樂劇等 藝術全般 に涉りて 何人も藝 術に對す る理解が 出来る。	日本藝苑 の逸話を 集めたの に對して 、これは ◆本書は 「蟹の泡 」の姉妹 篇とも言 ふべきも の。彼が 西洋の逸 話を集め たのに對 して、こ れは日本 藝苑の逸 話を集め たのである 。	到底發行 は許され ぬものと 斷念した 本書も研 究家の問 のみに僅 少部数の 配布を見 る事とな る。つた ものの文 藝界側面 の權威あ る文獻史 。
岩波書店	大阪屋號	文藝社	東華書院	内田老鶴園	双樹社	廣文堂	弘文社	早稻田大學出版部	崇文堂

國歌の胎生及び發達	校定いせものがたり	全校歌・寮歌・應援歌	受驗現代文新講	現代文十二選講	現代文解釋法	現代文範選評集	現代の女性觀	現代獨逸文學觀	現代思潮の基礎
五十嵐 力	古物語研究會	出口 競	森本謙藏	友枝照雄	塚本哲三	大日本文學會	本間久雄	片山孤村	高橋禎二
菊判洋裝 五七〇頁 送價 三、一八〇	一〇〇頁 送價 〇、七六〇	函入美裝 二〇〇頁 送價 一、一三〇	四六判 五三〇頁 送價 二、一〇〇	四六判 二六〇頁 送價 一、一〇〇	四六判 四三〇頁 送價 一、〇八〇	四六判 三五〇頁 送價 一、〇八〇	四六判 四〇〇頁 送價 二、一八〇	四六判 二五〇頁 送價 一、一八〇	四六判 二五〇頁 送價 二、一五〇
從來ある がまゝに 受入れら れた短歌 、長歌、 反意、趣 味は本書 によつて 初めて明 かになる 。	伊勢物語 を高等專 門學校の 他古物語 を研究し て、流布 本に訂正 を加へて 編述せる もの也。	全國専門 學校高等 學校及中 等學校の 校歌寮歌 、應援歌 を集め、 著名な代 表作には 音譜を挿 入し、尚 ほ解説や 起源等を 附した興 味津々な 書也。	現代文受 驗參考書 の白眉で 、往十三 ヶ年間の 問題は全 部集め、 且つ今後 の重要問 題も掲げ て、適切 に解釋し 、かつ受 驗諸彦の 必携とせ り。	著者は動 もすれば 現代文教 授に誤ら れ勝ちの 準備其他 良參考に も深く、 此點にも 留意さる 。	現代文が この頃盛 に試験に 出ると、 而も現代 文解釋の 態度は非 常に誤ら れてゐる 。苟も眞 に現代文 解釋の指 針を示す べく、本 書を編み 併せて試 験に備へ る。	現代六十 七名家の 文範と近 代外國代 表名家十 九氏の作 品を選ん で、その 讀み且つ 味ひ方を 短評と評 して、文 章創作上 に一大ヒ ントを與 へた。	女性果し て男性劣 るか、本 書は舊來 の性道徳 か、名高 等女學校 修身教科 書等總へ てを批判 せる。	表現主義 とダダイ スム、獨 逸國民性 と文學、 ハウプト マンの「 アトラ ンチス」 と文學等 獨逸文學 の論文集 む。	現代思潮 の淵源た る十九世 紀の思潮 を詳細に 叙述し、 又最も新 なる方法 にて品階 解剖し、 以て現代 の向ふべき 進路を明 かに示せ り。
早稻田大學出版部	敬文堂書店	文行社	創生社	有朋堂	松陽堂	廣文堂	文藝社	文獻書院	内田老鶴園



國文解釋法	塚本哲三	有朋堂	一、五〇	受驗の武器、實力涵養の資料として、本書は正に斯界の最高權威である。苟も國文の第一義に徹せんとせば必ず本書に就くべきである。
國文學史概説	坂倉篤太郎	有朋堂	二、二〇	日本文學史を縦断して序説話歌諸雜文明治時等を分ち更に時代の良参考書。
國文學全史(平安朝篇)	藤岡作太郎	岩波書店	四、五〇	環境に對する周到な理解と作品への細な味致とに於て此時代の文學の核心を捕へんとし、た試みは國文學研究の一つの記念碑となろう。
國文學の鑑賞	小山正	育英書院	一、三〇	和歌を基調とした我が國文學を犀利な考察としく述べられたもの、國文學の眞彩である。
國文學の本質	齋藤清衛	明治書院	二、二〇	我が國文學の内容本質に就て内面的觀察を究め我が國民の文學生活の様を明かにしたものである。國文學研究上一生面を拓いた良書である。
國文筌蹄	永井一孝	大日本圖書株式會社	〇、五〇	國文として比較的新しき好文を選び教科用又は自習用の讀み本としたるものなり。
國文叢書第一卷	源氏物語前半を收む、本居、井上、萩野、關根諸博士と池邊義象氏の註解を加へたるもの。定本として永く保存せらるべき價値を蔵す。	博文館	三、二〇	源氏物語後半を收む、第一卷と相俟つて完璧となる。附録として『源語奥旨』『紫家七論』を載す。
國文叢書第二卷	源氏物語後半を收む、第一卷と相俟つて完璧となる。附録として『源語奥旨』『紫家七論』を載す。	博文館	三、二〇	源氏物語後半を收む、第一卷と相俟つて完璧となる。附録として『源語奥旨』『紫家七論』を載す。
國文叢書第三卷	太平記前半を收む、每卷首には挿繪を加へ、卷第二十五に至る。	博文館	三、一八	太平記後半を收む、二十六より卷第四十まで後半を收めて前卷に繼ぎ、更に曾我物語を添ふ。
國文叢書第四卷	太平記後半を收む、每卷首には挿繪を加へ、卷第二十五に至る。	博文館	三、一八	太平記後半を收む、每卷首には挿繪を加へ、卷第二十五に至る。

國文叢書第五卷	保元物語、平治物語、平家物語を收めて一卷とす。卷頭に『院御所燒討の圖』玻璃版を掲げ、卷毎に繪畫を挿入してある。	博文館	三、一八	保元物語、平治物語、平家物語を收めて一卷とす。卷頭に『院御所燒討の圖』玻璃版を掲げ、卷毎に繪畫を挿入してある。
國文叢書第六卷	竹取物語、落窪物語、土佐日記、徒然草、伊勢物語、枕草子、紫式部日記を收む。	博文館	三、一八	竹取物語、落窪物語、土佐日記、徒然草、伊勢物語、枕草子、紫式部日記を收む。
國文叢書第七卷	源平盛衰記前半を收む、慶長の刊本を底本として古寫本其他を參考し、句讀を正し、段落を明かにして務めて讀み易からしめたり。	博文館	三、一八	源平盛衰記前半を收む、慶長の刊本を底本として古寫本其他を參考し、句讀を正し、段落を明かにして務めて讀み易からしめたり。
國文叢書第八卷	源平盛衰記後半を收む、前卷に引續いて完結す。	博文館	三、一八	源平盛衰記後半を收む、前卷に引續いて完結す。
國文叢書第九卷	水鏡、大鏡、今鏡、増鏡を收む。	博文館	三、一八	水鏡、大鏡、今鏡、増鏡を收む。
國文叢書第十卷	榮花物語を收む、流布本を底本として諸本を參考し、頭註に考へてよるしきに從つた。卷首に『駒くらへ行幸の圖』を掲げた。	博文館	三、一八	榮花物語を收む、流布本を底本として諸本を參考し、頭註に考へてよるしきに從つた。卷首に『駒くらへ行幸の圖』を掲げた。
國文叢書第十一卷	宇治拾遺物語、池の藻屑、松蔭日記を收む、何れも諸本を涉獵して適切な校註を加へ、宇治拾遺物語には卷毎に繪畫を挿入してある。	博文館	三、一八	宇治拾遺物語、池の藻屑、松蔭日記を收む、何れも諸本を涉獵して適切な校註を加へ、宇治拾遺物語には卷毎に繪畫を挿入してある。
國文叢書第十二卷	蜻蛉日記、更科日記、濱松中納言物語、とりかへばや物語、方丈記、月のゆくへを收む。	博文館	三、一八	蜻蛉日記、更科日記、濱松中納言物語、とりかへばや物語、方丈記、月のゆくへを收む。
國文叢書第十三卷	宇津保物語前半を收む。	博文館	三、一八	宇津保物語前半を收む。
國文叢書第十四卷	宇津保物語後半に住吉物語、堤中納言物語、狭衣を加ふ。	博文館	三、一八	宇津保物語後半に住吉物語、堤中納言物語、狭衣を加ふ。







第三全集 神曲(天國篇)	中山昌樹 四六〇頁 送價 三、二〇〇	人類の生活と歴史との最美最善なるものは、吾人の善戦の靈魂の勝利を歡呼する天の都城也。	新生堂
神曲地獄界	竹友藻風 四六〇頁 送價 二、四〇〇	伊太利原書の外、佛英の兩國語譯を參照して全文を韻文譯せるもの、譯文流麗明快。著者文學者。	文献書院
新國文學史	五十嵐 力 八〇〇頁 送價 四、一〇〇	舊來の國文學の形式的、常套的、明によつて石化せしめられたる古文學の厚皮を剥ぎ、血や涙の迸つた生活の泉を掬み味ばんとした事。	早稻田大學出版部
丹テ全集 第四卷 新生詩集	中山昌樹 四〇〇頁 送價 三、一〇〇	「新生」は若き詩人ダンテの一處女に對する愛の詩集である眞に純な靈の戀物語である尙ダンテ各種の詩が全部本卷に包括されてゐる	新生堂
人生詩人 ブラウニング	帆足理一郎 四六〇頁 送價 二、一八〇	多年英詩研究に没頭せる著者が此詩聖の崇拜者として彼の評傳を綴り其の傑作「ヒバ過き行く」以下十數篇の名詩の譯出せるもの也。	新生堂
新美辭學	島村抱月 五六〇頁 送價 二、一〇〇	文章論より入りて美學に歸結し、以て大方の批判を得んとす。	早稻田大學出版部
新文章講話	五十嵐 力 六〇〇頁 送價 二、二〇〇	◆本書は著者十年の苦心によりて古人東西の文章論を統括融合したるものである。材料例の全く新なる事組織説明の全く新なる事。	早稻田大學出版部
聖アントワーヌ	廣瀬哲士 二九八頁 送價 二、一七〇	肉を誘惑するサバの女王靈を誘惑する希臘の神々佛陀哲學者カインの末裔最高の藝術的詩藻と嚴肅な人生的苦悶が織り出されて居る。	双樹社
生活を藝術として	西村伊作著 四六〇頁 送價 一、一八〇	衣食住の實際問題に就て著者自ら體驗せる藝術的新様式を説明した、新時代のバイブル。	文化生活會
生活と文學	有島武郎 四六〇頁 送價 一、一三〇	著者の幽玄なる社會思想と眞摯なる戀愛觀を背景とせる著者唯一の文學論である。	文化生活會

精神生活の基調	帆足理一郎 四六〇頁 送價 二、一四〇	著者が我國民に靈的更生の力を與へべき人生及び宗教に關する論文集十數篇を集録せるもの國民の精神生活の基調たるべき名著である	新生堂
生とその影	平野威馬雄 二、一〇〇	泰西文豪の警句、八百餘語を輯めたるものなり寸鐵殺人的のこれら言葉は津々たる趣味のうちに吾々に何を教へるであらうか。	紅玉堂
世界皮肉文集	六十大文豪 四四〇頁 送價 一、一六〇	世界古今を通じての六十大文豪の洗練された句悉く千古の一大眞理である一代の名著。	日本書院
世界文學思潮	茅野蕭々 三六一頁 送價 二、七二〇	文學の起源より其發達の痕を叙し而して最近各國に於ける文學思潮の傾向と眞意義とを闡明し、世界文學思潮の一大鳥瞰圖を描く。	日進堂
上紙 世界漫畫漫遊	岡本一平 二九一頁 送價 二、五八〇	著者が最近の世界漫遊を漫文漫畫を以て世に公けにせしもの。著者の漫畫は世既に定評あり。本書は最も興味ある世界地理讀本たり。	日本業社
セネカ論文集	高橋五郎 四四〇頁 送價 三、一〇〇	羅馬の大哲人シラス、セネカの全集で毎篇人間處世上の絶高教訓たらざるなく古來智慧の總持と呼ばれて歐米讀書家の愛重するもの。	玄黃社
素朴の文學と感傷の文學	佐久間政一 二四〇頁 送價 二、〇〇〇	藝術家としてのシラスの體驗と哲人としてのシラスの思索との結晶である本書はシラスの藝術觀たるのみならず人生觀であり文化史觀	不老閣
煙草禮讚	薔薇 閑 二八〇頁 送價 二、一五〇	紫煙場裡にて名聲噴々たる著者の煙草に關する隨筆を集めたるもので内容は煙草の起源と社會的發達から説き起し餘す處無し。	郊外社
口譯 玉かつま	抽利淳一 三六〇頁 送價 一、〇四〇	本書は一つの學術書にして中等學校の副讀本を加へたるもの他書と同一視すべきにあらざる	公文館
玉かつま 花月草紙の解釋	山内素行 四六〇頁 送價 一、〇八〇	中等學校の國文教科書として又試験問題として最も必要なる「玉かつま」花月草紙を一冊大	周社



ダンテ 彼の生涯と思想	松原ウエル	異型洋装 一、七〇〇	近來殊にダンテに關する著の多き時、ホウエルのダンテは一般と學究との兩面に於て、簡開拓社にして要を得たる稀なる好著。
ダンテ全 神曲の研究	中山昌樹	異判布装 三、〇〇〇 四五〇頁送	本書は神曲の真相を理解するため明確なる梗概、其の藝術、宗教思想、政治思想等に詳述新
ダンテ神曲物語	中山昌樹	異判洋装 一、五〇〇 二〇〇頁送	有名なダンテの神曲をダンテ研究の權威者中仰の心を傾け抄譯し註釋を附したるものす
小さい國文學史	植松安	異判洋装 一、〇八〇 二一六頁送	文學は時代の反映であるか過去三千年來の文學を通過する事は時代を理解するに必要なるものである
口譯 千蔭春海文集	佐野輝夫	三六判 〇、九四〇 クロース送	本書は一つの學術書にして中等學校の副讀本と受驗の参考と兼用せるもの國文學に伊註を加へたるもの他書と同一視すべきにあらざる
近松研究の序篇	前島春三	四六判 二、一五〇 三〇六頁送	近松の藝術を研究するには如何なる方面から出發すべきか、研究の方法態度は如何に解釋は如何に試むべきか本書は親切に教示してある
地球を墳墓として	賀川豊彦	四六判 二、四〇〇 四五頁送	本書は地球を墳墓として、世界の旅に上れる著者の我が若き青年男女に與へたる置土産であると共に最近の著者の魂の消足である
世界知識の庫	横山博士	菊判美本 二、三〇〇 挿圖多數 二、二〇〇	◆此書は世界の珍談奇聞を集めて無數の色刷圖畫を加へ、之に學問上の説明を施したものである
難文註釋徒然草	大町桂月	四六判 〇、八六〇 長形洋装 二、五〇〇 頁送	本書は讀み易く解し易からしむ爲假名を漢字に改め直在來の註釋佛語解釋の誤謬多きを爲此點に注意せり以て徒然草同書の權威とす
樗牛全集 第一卷	高山林次郎	菊判布装 三、一五〇 五四八頁送	哲學者にして藝術家を兼ねた當年の熱血兒高山樗牛の美學上に於ける研究と日本美術史と

樗牛全集 第二卷	高山林次郎	菊判布装 三、二四〇 一、〇〇〇頁送	著者高等學校時代より大學を経て晩年に至るまでの文藝に關する論文集で海の内外に亘り透徹した批評眼を華やかに表現してある
樗牛全集 第三卷	高山林次郎	菊判布装 三、一八〇 七七二頁送	第二卷に收め難かりし史傳に關する長篇原稿を特に輯録しなほ史傳雜纂と文藝評論の不朽作は多く本稿中に載つてある
樗牛全集 第四卷	高山林次郎	菊判布装 三、二五〇 一、二八頁装	倫理問題、日本主義、日蓮崇拜の中に樗牛の如き思想を求めむる人は此篇を繙かれよ、火の如き思想を仰の経路が明かになるだらう
樗牛全集 第五卷	高山林次郎	菊判布装 三、一八〇 六六二頁送	巻頭先づ歴史小説瀟口入道の一篇を掲載せるほかに創作、想華、數篇並に彼我實際の間に音信せし尺牘二百餘通を掲載して天真を發揮す
樗牛全集 第一卷	高山林次郎	異判布装 二、一八〇 八五六頁送	大判の全集を増補し且つ縮刷して携帶繙讀に便したるもの、美學上の諸研究と日本美術史の叙説とは權威としての價値を占む
樗牛全集 第二卷	高山林次郎	異判布装 二、一八〇 九五八頁送	才華煥發して四回に應酬し學殖深遠にして内外に批評眼を閃かした文藝中心の評論集であつて今も讀者の心胸に深い共鳴を齎す
樗牛全集 第三卷	高山林次郎	異判布装 二、一八〇 八五二頁送	本編には主として歴史を中心にして大判全集の第二編に主として抽出した神話時代より近代に至るまで新史眼に映じたる卓見の鳥瞰圖である
樗牛全集 第四卷	高山林次郎	異判布装 二、一八〇 九四四頁送	『吾人は現代を超越せざるべからず』と高唱せる著者の眞骨頭は本巻に收められた豊富な論策中に於て最も多く發見されるだらう
樗牛全集 第五卷	高山林次郎	異判布装 二、一八〇 八五六頁送	樗牛の文學者としての一面を最もよく代表せる一篇、含蓄深き名文三篇として倦かざるもの多く本巻にあり、藝術味豊かに溢れたり
樗牛全集 第六卷	高山林次郎	異判布装 二、一八〇 七五六頁送	舊刊全集中に現れざりし諸篇は本巻に於て網羅せられたる消息の如き面目誌上に躍如く補



徒然草評釋	徒然草新講	徒然草新解	徒然草詳解	徒然草解釋	徒然草	沈黙の愛	塵の倫理
内海弘藏	鈴木義三	徳本正俊	内海弘藏	塚本哲三	幸田露伴	二階堂眞壽	小林一郎
四〇〇頁送	一〇三〇頁送	四三四頁送	五二〇頁送	總布製判近	六〇〇頁送	四六紙裝價	三八〇頁送
一、五〇〇	〇、六三	一、五〇	二、二〇	刊	一、八二〇	一、三〇六	二、四二〇
一々字句に詳細な註解を施し、一段毎に大意を説明する。学生の参考書として最も適當の書である。	前二書より出たる既出試験問題を附録とせること。前二書と異ならず。	直解の洗麗、語釋の明瞭、字義の正確は他にせぬ。好書で、國文研究者、學生諸彦の一讀を薦む。	受驗生にあまり關係のない段はこれを省略し、精細懇切なる説明を加へた。受驗者の良參考書。	著者の前著『徒然草評釋』よりも一層その註釋を詳しくし、且つ全部の口譯をも加へてある。	徒然草一巻は實に我が國民的古典として悠久の生命あるもの。而も古來その解釋の誤らるるの甚く、これ本書の出づる所以。	斯道の大家兩博士を煩し専ら編纂上の監修を參考し、最善の美を竭したるもの。國文修養、受驗の集。	ラスキンの特色は本書に於て最も鮮かに發揮せらる。一の老練師と數人の少女との問答に託して自然に於ける創造力の偉觀を描く。
明治書院	文献書院	創生社	芳文堂	明治書院	有朋堂	不老閣	集文館

田園春秋	冬彦集	新解 土佐日記	二イチ工書簡集	二十四の脳髓	日本演劇史	日本文學新史	日本文學全書	日本文學史	人間不平等起原論
乘原古城	吉村冬彦	關根正直	和辻哲郎	三浦逸雄	伊原青々園	尾上八郎	池野、落合、邊	徳田秋聲	内山賢次
四四〇頁送	五〇〇頁送	入一〇三頁送	四六二頁送	四〇〇頁送	七〇〇頁送	四六紙裝送	四一六頁送	九〇〇頁送	二六〇頁送
二、三〇	二、五〇	一、〇三	一、八〇	二、八〇	五、一〇	二、〇	〇、八五	〇、五〇	二、一八〇
世界の隨筆文學として其價值最も高きギツシツて感歎の聲を惜まざらむるものである。	自然に對する驚異の心を失つてゐない自然科學者として確實な認識を求めてやまない藝術家とがそこでは仲よく共働してゐる。	斯道の大家兩博士を煩し専ら編纂上の監修を囑ふ。最善の美を竭したるもの。國文の修養受驗を參考し、最上なきものであります。	ニイチ工書簡集が其愛する母と妹と與へし書簡集最活の記録。鬼才の天真は茲に遺憾なく流露す。	パピニの文藝哲學論集である。ダンテ、シニ、ル、ヘイゲル、ニイチエ、ハムレット等、二十四人の文豪藝聖を辛辣に批評したるもの。	▲本邦演劇の創始期より寛政期までの國劇の變化發展を述ぶ。	從來の系列敘述の舊方法を取らず思想の展開所に據りて之を統合分類し編述せるものなり。	古典となれる國文學の作品を最も簡略に編纂し得る理想的國文學權威者の註釋を加ふ。	黎明期平安朝時代鎌倉時代室町時代徳川時代明治以後等に講歩を進め日本文學の粹を展開し、さながら胸躍たる花園を逍遙なるが如し。	本書はルツツソが世界の思想界に第一の地位を得た名篇を全譯したものである。附録として學藝が道徳に及ぼす影響を究めた學藝論を載す。
岩波書店	岩波書店	集文館	岩波書店	弘文社	早稲田大學出版部	弘道館	博文館	松陽堂	太陽堂



馬琴日記	文學博士 和田萬吉 三、五八頁送 三、〇二〇	不世出の文豪曲亭馬琴が飾らす偽らざる實生の活の告白で規律正しき起居綿密なる家政抽速よりも巧運を貴べる作風等現代文士頂門の針	丙午出版社
花と花言葉	橋本墨花 三、六六頁送 一、八三〇	花をおくられても、又人に送るにもその花が何を意味してあるものか知らねばならぬ。本書一冊に依つて、その凡てが判る。	紅玉堂
花物語	吉屋信子 四、〇〇頁送 各一、三三〇	純情無垢なる女學生諸嬢の好讀物として各方面の人々より多大の推賞を得たる哀艷可憐の物語り集である。第一、第二、第三、第四卷	交蘭社
パピーニ自叙傳	新居格辯 重裝函入 四、一八頁送 二、四七〇	「基督傳」の著者として有名なる、パピーニの自叙傳小説である。彼の體驗した戀愛や人生に對する痛烈な批判それは確に驚異に値する。	アテネ書院
シニエイクスピア 悲劇の研究	鷺山弟三郎 菊判上製 三、〇〇頁送 五、二七〇	沙翁劇に於て世界に本書程優れたものはなからう。人生と藝術と沙翁劇の眞諦を探らむとする同志の前に心より此の名著を捧ぐ。	内田老鶴圃
表現と鑑賞	岩城準太郎 判ボブ 入二、五〇頁送 二、一五〇	現代文學の權威たる岩城先生の新文章論である。創作と批評、表現と鑑賞との二を一に渾融して説いた文學の新作品觀である。	東洋圖書株式會社
九大文豪 皮肉と警語	漱石、獨歩、雪嶺、其他、四七〇頁送 一、一六〇	漱石、獨歩、雪嶺、露伴、蘆花、鷗外、逍遙、蘇峰、櫻井、九次、先生の人間觀、思想觀、社會觀などを、人ど格言に近き千古の眞理ある名文をなさむ。	日本書院
批評集	小宮豊隆 總布表裝 三、九六頁送 二、二八〇	内容目次、櫻の園に就いて、ヘツペルとシヨオと、ヘツタ、カアラの生涯、ノラに就いて、吉右衛門の第一印象、玄治店、等々。	岩波書店
現代作家 表現の研究	武野藤介 菊判上製 二、四〇頁送 一、〇八〇	現代作家、既成及新進作家の表現法を氏一家の研究によつて編輯された。讀書家や文章家、に心ざす青年の一度は讀まねばならぬ書である。	金星堂
二ツツの道	小林一郎 判布裝 三、六〇頁送 二、三〇〇	此書はラスキンの藝術論で善き藝術は人を活かし、悪き藝術は人を眠ぼすと云ふ。これを活根本的に説明せるものが即ち本書である。	玄黃社

文學及思想講習叢書 文學概論	相馬御風 判紙裝 五、〇〇頁送 〇、三五〇	文學研究上の諸要點——文學の起原——文學の特質——文學の目的の四講目を極めて嚴密なる態度を持つてその本質を論斷された雄編である。	松陽堂
文學の絶對境	松浦一 菊判洋裝 五、三八頁送 三、一八〇	深奥精緻の筆を揮つて世界的に文學を説く第一講文學の絶對境第二講ホキットマン文學の默雷第三講自然文學の清淨智等皆金玉文字。	大日本圖書株式會社
文學の白光	松浦一 菊判洋裝 二、九三頁送 二、一五〇	本書八講の中、「白光」の中より見たる「ダンテ」「生と死と文學」等は眞に天來の文字なり。	大日本圖書株式會社
文學の話	小林鶯里 美表裝 四、六六頁送 〇、四四〇	何人も文學なしには生きられない。が文學とは何かに就いて知る人が極めて少ない。本書は平易に文學全體に亘る知識を與へようとした物語。	文藝社
文學の本質	松浦一 菊判洋裝 三、七六頁送 二、一三〇	文學の絶對境の姉妹篇といふべきものにして、斯道に興味を有するの士は先づ本書を熟讀して、絶對境に入るの素地準備を作るを要す。	大日本圖書株式會社
文學思潮論	厨川白村 判洋裝 三、二〇頁送 二、一〇〇	文學十講を編くの前又は其後に於て必ず一讀すべき好書にして西洋文學思潮の去來及び其の波瀾を曲盡せり。	大日本圖書株式會社
文藝叢書第一卷	櫻庭篁村 菊判布裝 九、一八頁送 三、一八〇	徳川時代文學の名篇にして永く後代に傳はるべきものを露伴、篁村、澁柿の三權威校訂して全十二卷に收む。本篇を中臣藏文庫とす。	博文館
文藝叢書第二卷	幸田露伴 菊判布裝 九、〇六頁送 三、一八〇	橋説弓張月、俊寛僧都鳥物語、頼豪阿闍梨怪傳の三種を收む。共に曲亭馬琴の名作。	博文館
文藝叢書第三卷	幸田露伴 菊判布裝 八、二四頁送 三、一八〇	西鶴文集とす、元祿文學の巨擘たる井原西鶴の眞骨頭は本篇に活現してゐる。日本永代藏。	博文館
文藝叢書第四卷	櫻庭篁村 菊判布裝 八、二六頁送 三、一八〇	道中膝栗毛全集にして正續兩篇その他の全體を載す。十返舎一九の傑作として滑稽文學の珍寶なること更めて言ふ迄もなし。	博文館



文藝叢書第五卷	塚原澄柿	菊判布裝價 九一四頁送	三、一八〇	俠客全傳とす、一般民衆の喝采を受け其痛快味を満喫せしめた俠客本の精神を選んだ傳記博集として珍しき編纂書。	博文館
文藝叢書第六卷	幸田露伴	菊判布裝價 九八八頁送	三、一八〇	南總里見八犬傳前編とす、一部九輯五十三卷作を以て三巻に收めたるもの。	博文館
文藝叢書第七卷	幸田露伴	菊判布裝價 九七四頁送	三、一八〇	南總里見八犬傳中篇とす、前篇に續いて原文第八輯上巻より第九輯下巻に至る分を收む。	博文館
文藝叢書第八卷	幸田露伴	菊判布裝價 九五四頁送	三、一八〇	南總里見八犬傳後篇とす、中篇を繼いで完結に至る。	博文館
文藝叢書第九卷	饗庭篁村	菊判布裝價 七二二頁送	三、一八〇	演劇脚本集とす、代表的十三作を選び狂言本の筋書と全部の臺帳とを併せ載せ、上方と江戸との芝居の變遷發達をも窺ひ得。	博文館
文藝叢書第十卷	塚原澄柿	菊判布裝價 七四〇頁送	三、一八〇	忠義復讐傳とす、景清外傳、佐野朝義録、松田系圖、相馬大作の四篇いづれも主従關係の松田系圖を取扱へる名作を收む。	博文館
文藝叢書第十一卷	幸田露伴	菊判布裝價 七三六頁送	三、一八〇	紀行文篇とす、諸名家の紀行にして其名作を好箇の文集。	博文館
文藝叢書第十二卷	饗庭篁村	菊判布裝價 七四四頁送	三、一八〇	世話淨瑠璃名作集とす、近松門左衛門の名作中村重助作一篇を收む。	博文館
文藝と美術	青山爲吉	四六八頁入判 三三八頁送	二、一五〇	美、藝術、文藝、文藝史、美術、美術史、等に亘り文藝とは何ぞや？美術とは何ぞや？との入門的解説書として誠に此上もなきもの。	日實業社
久藝年鑑	日本年鑑協會	四〇〇頁洋裝價 五五〇頁送	二、一七〇	文藝界の一大收穫。文藝百科辭典の縮圖。本書は大正十三年中に於ける文藝界の出來事を洩らす網羅す、文壇に志す者必備の寶典。	二松堂

文藝類纂	神原芳野	美濃判價 和裝八册送	六、一八〇	文部省出版にして我が國の假名文字の由來沿革を研究したるものにて説明には圖畫を用ふ。	大日本圖書株式會社
中島廣足 橋千蔭 文集新講	大塚龍夫	三三〇頁製價 二〇〇頁送	一、二一〇	廣足の『櫻園文集』千蔭の『うけら花』より多數の試問題且つ教科書に出てる。本書は學生の參考として適切な通釋語釋がしてある。	創生社
文章講習叢書 文章概論	五十嵐力	三三〇頁製價 一八〇頁送	〇、八五〇	文章入門第一の書全講極めて平易懇切に説か味溢る篤學な著者に親しく眞面の想ひがある。	松陽堂
再訂 增補 文は人なり	高山樗牛	五七二頁製價 五七二頁送	二、一八〇	樗牛全集中の精神を抜いて『文は人なり』の實を宣揚し宛ら小全集の觀をなす、新に樗牛嘲風往復集を編して思想交換の跡を傳ふ。	博文館
ヘーコン論文集	高橋五郎	四一七頁製價 四一七頁送	二、一三〇	世界論文集中の王と云はれ三百年來學者の争て愛誦するもの、句々みな金玉之を讀むは其回、讀む毎に新意味を發見し來るとは眞也。	玄黃社
平民詩人	内村賢造	三二七〇頁製價 二七〇頁送	一、一五〇	平民的色彩を帯びたる歐米詩人中ホイットマン・テニソン・ローエル・ホキッツ・ウオルツ・ナス・アライアント等の主要なる詩とその生	警醒社
方丈記評釋	内海弘藏	二二八頁製價 二二八頁送	一、一〇〇	方丈記に著者獨特の新評釋を加へたもので新書としては大訂を施し全部改訂したから本書の注釋と流布本の誤謬を正し簡明なる頭註を加へたれば高等學校程度の教科用及び一般の讀書家に便なり。	明治書院
枕草紙選釋	金子元臣	三三〇頁製價 三三〇頁送	一、一五〇	徳川文學の權威であり古文學に造詣の深かつた故博士が枕草紙を選んで周到適切な注釋博を加へたるもの、最も信憑に値する。	博文館
枕草紙通釋上下	武藤元信	四〇〇頁製價 四〇〇頁送	一、一三〇	著者が一生の心血を盡した研究的述作で十九種の異本に學界不滅の鐵案である。	有朋堂



枕草子評釋 上下	金子元臣	菊判布裝 各一、二〇〇頁送	四、〇〇〇	清少納言の枕草子に最も精細なる解釋と王朝當時の文化史に立脚した内容的批判とを加へ、且つ全部の口譯をも添へてある。	明治書院
紫式部日記精解	關根正直	興判布裝 一、一八〇頁送	一、五〇〇	古來難解といはれて居る紫式部日記の本文を、嚴重に校訂したものである。註釋を下し舊註の誤謬をも正したものである。	明治書院
註解 名家擬古文抄	服部藤且	三六判 一、〇〇〇頁送	一、〇〇〇	本書は一つの學術書にして中等學校の副讀本と受驗の參考を兼ねるもの國文學に評註を加へたるもの他書と同一視すべきにあらざる。	公文館
明治文學選釋	國語漢文會	三三六判 一、〇〇〇頁送	一、〇〇〇	嶄新なる受驗書。明治時代に於ける三十名家の代表作につき、註釋通釋語釋を加ふ。尙國語試驗問題の出所と傾向等を明にす。	國語漢文會
明治文學選集	鈴木敏也	四六判 一、三〇〇頁送	一、三〇〇	明治文學史の概略を叙し同時代の傑作文を執り深刻なる批判を加へたる現代國文學研究の活きたる明治時代史又高等國文學教科書。	中文館
漫畫 もぐらもち	服部亮英	興判布裝 二、五〇〇頁送	二、〇〇〇	氏の漫畫は近來續出する子供騙しや單なる抱腹絶倒のそれではない。快い皮肉と輕いユウモアト自らなる微笑との勝た織交ぜである。	紅玉堂
藪柑子集	吉村冬彦	興判布裝 二、二八〇頁送	二、〇七〇	傑れた墨繪の濃淡のうち、深い美が籠てある。み盡せぬ深い意味がある。其を鋭く捕へてある。	岩波書店
譯註十六夜日記	飯田潮春	菊判ボケ 一四〇頁送	〇、三二五	最も短時間で讀者に本文の正確な知識を獲得する様を附し受驗者には是非共机上にせられよ。	河内書店
譯註土佐日記	飯田潮春	菊判ボケ 一〇一〇頁送	〇、三二五	十六夜日記同様の様式にて中學生高等專門學の参考書として是非共机上に備へられたい。	河内書店
譯註枕の草紙	溝口白羊	四六判 二、五〇〇頁送	二、五〇〇	本書は在來の註釋書と異なり現代式に簡明に國文受驗者の參考書として必ず一讀す可きもの。	河内書店

海 洋 上 の 人 々	工學博士 伊東忠太	興判クロ一ス上製 三〇七頁送	二、〇〇〇	博士が建築史研究の爲支那・緬甸・蒙古・印度・土耳其・埃及及歐米諸國を漫遊した際の隨筆。地理・歴史・人情・風俗に亘る珍書である。	光明堂
余の漫畫帖から	伊東忠太	興判布裝 三六〇頁送	二、二〇〇	人の運命は先天的に豫定せるものなるや否や、亦又自らの努力によりて改造すべきや否や、マーテルリンクは茲に運命の正體を解剖す。	玄黃社
靈智と運命	栗原古城	興判布裝 三六〇頁送	二、二〇〇	收むる處短篇、砂がき、相聞自讃、抒情詩等加ふるに獨特の挿繪は至る處に優しき隨筆をみ開いて戀愛の秘を語り、美しい旋律を醸す。	文興院
戀 愛 秘 語	竹久夢二	興判美裝 一、一五〇頁送	一、一八〇	本書は著者青春時代の青春禮讚の詩的的人生觀であり且又獨創的の人生差別生活の哲理的觀である。而も著者今後の著作のスタートをなすもの。	東華書院
わかき日の經典	永井陸奥郎	四六判 一、一三〇頁送	一、一〇〇	近代的生活の創始者にして、人生の未來に對し暗示深き教訓を與へた藝術家に向つて、憧憬讚美の心を寄せた有島氏の感想文である。	新潮社
反 逆 者	有島武郎	四六紙裝 一、二〇〇頁送	〇、七四五	武者小路氏が數年の間に發表せる感想論文のうち、其最も力あり光あり熱あるものを收めた。眞に生きんとする人の必讀書である。	新潮社
自己を生かす爲に	武者小路實篤	菊牛特裝 二九〇頁送	〇、九〇〇	武者小路氏に對して、いかにして其の生活に生きる人の爲めに教ふる書である。	新潮社
新しき村の生活	武者小路實篤	菊牛特裝 三〇〇頁送	〇、九〇〇	「新しき村の生活」と並んで新しき村の理想と現實とを語るものである。道の選民の一團が如何に生き、いかに働きつゝあるかを看よ。	新潮社
新しき村の勞働	武者小路實篤	菊牛特裝 二五〇頁送	〇、九〇〇	現下何人も知らなければならぬ社會問題及び勞働問題から婦人問題兩性問題に亘り其の一切を擧げて明快詳密に講述せる書である。	新潮社
社會問題十二講	本間久雄	四六布裝 二、〇〇〇頁送	二、〇〇〇	現下何人も知らなければならぬ社會問題及び勞働問題から婦人問題兩性問題に亘り其の一切を擧げて明快詳密に講述せる書である。	新潮社



近代文藝十二講	文壇四家	四六〇頁	二、三〇	詳密なる世界各國の近代文學史で、精到を極めた近代文學論である。何人も読んで文學者たる根本修養を得べき紙上の大講堂である。	新潮社
近代劇十二講	楠山正雄	四六〇頁	三、一五〇	十二講七十餘章、作と人とに就きて其全面を復多し、劇壇の歴史を説いて全細目に及ぶ。	同
改造思想十二講	宮島新太郎 相田隆太郎	四六〇頁	二、一五〇	レヴィニンのクロボトキンよりガンザイ、マルクスに至る十二家。世界改造大運動の中、心人物のたとえとを詳説して、刺す所がない。	同
本日近世文學十二講	高須芳次郎	四六〇頁	二、一五〇	現代生活に立脚し、現代精神を通じて徳川文學の一切の行を説く。何人も一讀すべき書である。	同
本日現代文學十二講	高須芳次郎	四六〇頁	二、一五〇	明治の五十年、大正の十年、變化起伏甚しく、つめた文壇の表裏を叙し、微細極め細かにつめた文壇研究の必讀すべき寶巻である。	同
小説研究十六講	木村毅	四六〇頁	二、一五〇	小説の本質を明かにし、其變遷を示し、更に幾多の實例を挙げて作法を教ふる。事詳密明快を極む。空前の名著と稱されてゐる。	同
婦人問題十六講	奥うめを	四六〇頁	二、一五〇	婦人運動の選手で婦人問題研究の權威である。十六項に分けて詳説せる苦心の名著である。	同
東洋思想十六講	高須芳次郎	四六〇頁	二、一五〇	支那哲學の全般を新しい見方の下に解説し、傍ら印度の佛敎哲學日本の思想等に就て講ず。	同
トルストイ十二講	昇曙夢	四六〇頁	二、一〇〇	杜翁の思想と藝術と其の全面目を述べ、來るにつれて眞に精細極め、盛んに讀まれた。トルストイ百科全書として感に讀まれた。	同
ツアラッストラ	阿部次郎	四六〇頁	二、一〇〇	極めて難解と稱される「ツアラッストラ」の眞意を發きて其の幽微微語をも傳へんとする。ニイチエ論として眞に世界的權威である。	同
解釋並ニ批評					同

佛蘭西文藝印象記	吉江喬松	新撰布装	二、一〇〇	吉江氏が多年佛蘭西に遊べる其の當時の印象記の深刻なる解剖であり、また批評である。	新潮社
近代十八文豪の生活	西宮藤朝	菊判特装	〇、九八〇	近代の文豪十八人を選び、其の生涯を傳し、其言行を叙し、其の思想を説き、其の藝術を論ず。	同
英米文藝印象記	日高只一	新撰布装	二、一〇〇	英米文學の眞髓を其深遠なる學識と親しく耳聞目撃せる印象と、其の両方面から説く。挿入寫眞豊富、坪内博士も近來の名著と推稱された。	同
近代思想十六講	中澤臨川 生田長江	四六〇頁	二、一五〇	時代精神の指導者たり、左潮の代表者たる近代思想界の巨人十六家を選び、其の生涯と其の思想とを併せて説いて周到を極めた書である。	同
文藝	小林鶯里	定價	二、〇〇	定價の至廉、讀者の作品尊重を標語とせる純粋文藝雜誌。あらゆる文藝に亘つて作品を募り、之を必ず誌上に發表す。文學青年の同伴。	文藝社

感想・隨筆

暗夜	古屋芳雄	三六〇頁	一、一八〇	私は全力を出した、疲れ切つた、そしてやはり寂しい然し永い間の悩みをかき、誠實に表現し得た歡びは深い。著者感想の一節。	岩波書店
飯倉だより	島崎藤村	四八頁	一、一五〇	詩のやうな美しい言葉で、一流の考へ深い、文藝觀、人生觀を卒直に物語られた。教へらるゝ所多き心よき感想集である。	アルス
海へ	島崎藤村	四八頁	二、一〇〇	著者が先年傷つた心を抱いて、三人の幼児を後に佛蘭西に旅立たれた心持から、往き歸るの海の上、さては佛蘭西の旅の訪れである。	日本業社
運命以外の一路	別所梅之助	四六〇頁	二、一五〇	自然と人生及び社會に對して一種超越した悟人の聖境を有する著者の隨筆集。讀賣記者は警覺の本書を「大正の徒然草」と評す。	警覺社



斯く信じ斯く語る	法學博士 吉野作造	四六判 三〇四頁 送價 一、一八〇	本書は博士の根本的立場を表明する感想録に於いて、確に現代新人の指針たるものである。	文化生活
觀樹將軍縱橫談	三浦觀樹	四六判 二八四頁 送價 二、〇〇〇	三浦觀樹翁は政界の元老である。今彦左衛門本として有名なる翁の友人知己は何れも現代日本の大立物である。彼の珍談懷舊談を集むる著者の歐米に遊べる見聞感録なり軽快なる筆端に諧謔交れる數百話千變萬化錯落縱橫自在にして博士の風采躍如たり。	日實業社
歸雁の蘆	新渡戸稻造	判洋裝 送價 一、二〇〇	著者の歐米に遊べる見聞感録なり軽快なる筆端に諧謔交れる數百話千變萬化錯落縱橫自在にして博士の風采躍如たり。	弘道館
愚談	水島爾保布	判洋裝 送價 二、〇五〇	現代世相を縱橫無盡に解剖し諷刺して深刻を極む。如是閑居をして堅實な眞面目な文明人であつた十返舎一九の面影ありと評せしめた。	厚生閣
藝術一家言	谷崎潤一郎	判洋裝 送價 一、一八〇	創作にのみならず、先づ本書を取れ。専ら唯一無二の隨筆集である。	金星堂
雲梯 紅茶を啜りながら	林田龜太郎	判洋裝 送價 一、一五〇	ロンドンやパリを背景とした魔性の女や洋行中の赤毛布を消遣なく發揮したのが本書である。粹翰長としての妙味書中にあふれてゐる。	日本書院
小鳥の囁き	小林綾子	判洋裝 送價 一、〇五〇	純真なる乙女は、何時迄も離れぬ鳥ではあつた。本書はかうした乙女の囁きを美しく書いた物。	文藝社
チエイ この人を見よ	三井信衛	判洋裝 送價 一、〇八〇	全能の神ですら人類に向つて頽廢と衰亡とを與へる弱さだと呼んだ彼チエイの思想は本國に最も簡明に語り盡されてゐる。譯文流暢ラスキン、王著の『王者の寶庫』と『女王の花』と云ふ。王者の寶庫は讀書論で、女王の花は國と云ふ。王著の『王者の寶庫』と『女王の花』は國と云ふ。王著の『王者の寶庫』と『女王の花』は國と云ふ。	太陽堂
胡麻と百合	栗原古城	判洋裝 送價 二、〇〇〇	國と云ふ。王著の『王者の寶庫』と『女王の花』は國と云ふ。王著の『王者の寶庫』と『女王の花』は國と云ふ。	玄黃社
作者の感想	馬場哲哉	判洋裝 送價 一、一五〇	露の文豪アルツィバエの自選感想集である。依り、激賞し愛讀せられてゐる。諸名士	出版部

小波世間噺	巖谷小波	判洋裝 送價 一、一五〇	輕快にして非常に面白く讀ませるもの。小波先生の文である。一般の社界觀察に一眼識を有する先生獨特の趣味ある名文讀め。	日本書院
本合 三太郎の日記	阿部次郎	判洋裝 送價 二、一五〇	著者が三十歳前後に書ける文章の全集とも名づける。青年の胸に響く處甚大。	岩波書店
山中雜記	安倍能成	判洋裝 送價 二、一三〇	過去十四五年に渉る著者の情意生活に關するの感想集。深く究め行く哲學者の靜かなる冥想の果實。收むる處、日記、手紙、隨筆等々。	岩波書店
子規隨筆集	正岡子規	判洋裝 送價 一、一五〇	芭蕉以降の俳聖たる子規の選集である。小品文の代表作を始め、俳話、歌論、日記、書札、等子規全集中の佳篇を抜いて一卷としたもの。	出版部
思想山水人物	鶴見祐輔	判洋裝 送價 二、一五〇	著者が親しく世界の大人物に接し古今東西を貫つて得た限りない思索と體驗よりの隨筆集。	日實業社
死に直面せる體驗	工學博士 佐藤定吉	判洋裝 送價 二、一五〇	肉體から抽象された魂は神の呼吸として永遠に息づく。愛兒の死に直面した純教博士の叫ば安定なき現代人のオアシスとなるだらう。	厚生閣
社會と自分	夏目漱石	判洋裝 送價 一、〇五〇	『現代日本の開化』中味と形式、文藝と道徳、『創作家の態度』文藝の哲學的基礎』を収む。	日實業社
秋江隨筆	近松秋江	判洋裝 送價 二、一三〇	秋江氏の隨筆は荷風のそれと並び稱されて、閑寂なる中に情熱を包んで居る。文藝雜觀金	金星堂
趣味の文がら	細川枯白	判洋裝 送價 二、〇八〇	『磯千鳥』の匿名を以て巧に女性の筆使ひを模し隨筆としての絶品を相次いで發表せる一宮榮氏の遺稿を整理せるもの愛誦に堪ゆ。	博文館
自由人となるまで	川村理助	判洋裝 送價 一、〇八〇	あらゆる世間的地位を擲ち飄然として精神行脚の人となり遂に一大活宗教を樹立せる川村氏	出版部











現代詩用語辭典	河井醉茗	菊半裁 四〇四頁	〇八〇	麗にして沈痛、優にして豪宕、まことに一代の名筆を有し幾多の歸依者有するは此著者博文館である。讀書子必蔵の名玉集。	博文館
現代英米詩選	浦瀬白雨	菊半裁 二〇三頁	〇五〇	現代英米詩人のうち、アーサー・シモンズをばじめ二十數氏の作品より抜きて譯したるもの各詩人の略歴を附す。	紅玉堂
現代抒情小曲選集	西條八十	菊半布裝 三三〇頁	一、三〇	數多の新聞雜誌の入賞特選の小曲詩篇より更に厳選し、三百の優秀詩を抜いて一卷としたる模範的小曲集として上梓したるもの有り。	交蘭社
作詩關門	林釋古	漢洋裝 三〇〇頁	〇八〇	初めて漢詩を作る者の手引として、幼學便覽や詩語粹金があるがあれでは新時代の事象を諷詠するのに適しないそこでこの書が出来。	丙午出版社
詩を作る人へ	川路柳虹	菊半上製 三二〇頁	〇二八	平易にして眞隨を極めた物である。詩を作る人及び之れから作らうとする人は是非先ず本金を手にして作詩をせられよ。	金星堂
詩を吟教範	片岡茂	菊半紙裝 三七八頁	〇〇四	詩吟も亦一の藝術たる立場より、斯界に通曉せる著者が親しく指導教授を試みたるもの、朗吟に値する詩句をも多く引用せり。	博文館
詩吟教範	山宮九	菊半紙裝 二五〇頁	〇三二	本書は過去四十年間に於ける吾邦詩書史であつて、詩の進展に參與する新人にとつて温古知新のために頗る至便なるものである。	近代文明社
詩歌と劇	渡邊善太	菊半布裝 三三〇頁	二、二七〇	本書は緒論としてヒアル思想の本流的發達舊約聖經の發達、舊約翻約書の排列の四講及び箴言より哀歌迄の解説八講を收めてある。	警醒社
詩歌と劇	勝田香月	菊半紙裝 二五〇頁	〇二六	青春の日の苦しみ、かなしみ、もたえ、寂しさを歌ひたる著者の詩はまた、若き人々の誰にも共鳴されるであらう。	紅玉堂
別	松原至大	菊半紙裝 一七〇頁	〇八五	著者の第二詩集である。徒らに奇を衒はず巧を弄せず静かにして平明しかも清新なる格調は何人の追隨をもゆるさない。	玉堂
愛	西條八十	菊半紙裝 二二〇頁	一、七五〇	象徴詩の發表さる久し、されど本書の如く萬人に愛誦吟持されたる詩集を他に知らず、而も附録に傑作童謡數多を收めて一卷となす。	交蘭社
金	西條八十	菊半紙裝 二二〇頁	一、七五〇	著者が若き日の思ひ出を涙とともに歌ひ出でたる哀艶限りなき小曲詩集である。本書が如何に若人の心胸に神韻を傳ふるや定評あり。	交蘭社
かなる眉	西條八十	菊半紙裝 二二〇頁	一、九〇	吾國抒情詩人として最も多くの讀者を有する著者が渡津に望みて置土産とせる哀々盡きぬ情熱の叫びを筆に替へたる好詩集。	交蘭社
水色の花	水谷まさる	菊半紙裝 一八〇頁	一、五三〇	全國男女學生諸君から白熱的の歡迎をうけるわけは、本書が純眞なる體驗の叫びだからである。若き著者の高鳴るハイトの響をきけ。	交蘭社
鈴蘭の歌へる	小林尾綾子	菊半紙裝 一六〇頁	〇二六〇	折に觸れて書き出でたる著者の散文韻文が凝つて一巻となりたるもの、約二百篇の長章短文みな愛誦に値する佳品。	文藝社
雪月花	大和田建樹	菊半紙裝 六二四頁	〇〇六〇	韻文に重版して廣く世に行はれたる名著、隨筆の文字を連ね朗々誦すべし。	文藝館
續花紅葉	武島羽衣	菊半紙裝 五〇〇頁	〇〇八〇	重版にして詩歌集、各章何れも再讀に値する玉の文字を連ね朗々誦すべし。	文藝館
泰西名詩名譯集	生田春月	菊半紙裝 四二〇頁	〇〇八〇	泰西名詩の粹四百篇を精選網羅せる一大詞萃は、絶對に他の追隨を許さぬものがある。	山堂
旅	有本芳水	菊半紙裝 二六二頁	〇〇四〇	旅の歌、小曲、幼き歌等すべて幼き人達の爲にかなしい幼なき思出です。	日業社

哀別	勝田香月	菊半紙裝 二五〇頁	〇二六	青春の日の苦しみ、かなしみ、もたえ、寂しさを歌ひたる著者の詩はまた、若き人々の誰にも共鳴されるであらう。	紅玉堂
海	松原至大	菊半紙裝 一七〇頁	〇八五	著者の第二詩集である。徒らに奇を衒はず巧を弄せず静かにして平明しかも清新なる格調は何人の追隨をもゆるさない。	玉堂
砂	西條八十	菊半紙裝 二二〇頁	一、七五〇	象徴詩の發表さる久し、されど本書の如く萬人に愛誦吟持されたる詩集を他に知らず、而も附録に傑作童謡數多を收めて一卷となす。	交蘭社
靜かなる眉	西條八十	菊半紙裝 二二〇頁	一、九〇	吾國抒情詩人として最も多くの讀者を有する著者が渡津に望みて置土産とせる哀々盡きぬ情熱の叫びを筆に替へたる好詩集。	交蘭社
水色の花	水谷まさる	菊半紙裝 一八〇頁	一、五三〇	全國男女學生諸君から白熱的の歡迎をうけるわけは、本書が純眞なる體驗の叫びだからである。若き著者の高鳴るハイトの響をきけ。	交蘭社
鈴蘭の歌へる	小林尾綾子	菊半紙裝 一六〇頁	〇二六〇	折に觸れて書き出でたる著者の散文韻文が凝つて一巻となりたるもの、約二百篇の長章短文みな愛誦に値する佳品。	文藝社
雪月花	大和田建樹	菊半紙裝 六二四頁	〇〇六〇	韻文に重版して廣く世に行はれたる名著、隨筆の文字を連ね朗々誦すべし。	文藝館
續花紅葉	武島羽衣	菊半紙裝 五〇〇頁	〇〇八〇	重版にして詩歌集、各章何れも再讀に値する玉の文字を連ね朗々誦すべし。	文藝館
泰西名詩名譯集	生田春月	菊半紙裝 四二〇頁	〇〇八〇	泰西名詩の粹四百篇を精選網羅せる一大詞萃は、絶對に他の追隨を許さぬものがある。	山堂
旅	有本芳水	菊半紙裝 二六二頁	〇〇四〇	旅の歌、小曲、幼き歌等すべて幼き人達の爲にかなしい幼なき思出です。	日業社



詩地 上の光	五十三名家 七二〇頁 洋装 一、一五〇	春は春、夏は夏、秋は秋、冬は冬、皆それら、 の趣は、藤村、晚村、春月、白秋、啄木、御日本書院 風白蓮、長江、八十、扉星、白星、泣菫、諸大家
長詩 詩作法	三木露風 一四〇頁 紙装 〇、六四	詩の歴史、詩の評釋、詩の分類、三講に涉 つて、現詩壇の歩みと詩の本質を捉へて、作詩の涉 用意を直截に説き示されたものである。
天台道士詩歌集	杉浦重剛 二四六頁 折装 一、〇〇	本書は世の所謂詩人の書ではない、萬世の師表 めたるもので、時に應じて作られた詩歌全部を、集 杉浦先生が、之を謙遜なる自叙傳とも稱するが、
天地有情	土井晩翠 三〇〇頁 菊半 〇、六四	詩壇の先覺たりし晩翠氏の傑作あつまつて、此 は一篇の先覺として、年を経ると共に、價値を深め、 はや古典として見られるに至る。
獨歩詩集	國木田獨歩 一八〇頁 紙装 一、〇八	文豪獨歩の眞面目は、彼の小説よりも、むしろ 詩に於て、一巻を得べし。散佚せる彼の詩を、紅 玉堂
現代詩人パンフレット第一編	野口雨情 三〇六頁 紙装 〇、二四	本集は、かの流行の「枯れすゝき」の歌の續編 を、始め、著者の會心の近作を集めたるもの、何人も 三詩、他くことな知らないであらう。
パイロン詩集	牛山充 二〇〇頁 菊半 一、〇八	世界的大詩聖の名詩集、原文難解のため、久し く世に出でざりしもの、牛山氏の手に依りて、 始めて原文以上の美しさを以て世に現はる。
パイロン・ハロウドの巡禮	土井晩翠 四八〇頁 紙装 三、一〇	パイロン一代の傑作長編の全部を、晩翠先生が 心血を注ぎ、靈妙の筆を以て、雄健な莊大な饒麗 な日本韻文に譯されたもの。
美文花紅葉	雨江、羽衣 四三〇頁 菊半 〇、八〇	三氏三様の才筆爛發して、紙上に珠を聯ね、朗 朗愛誦して、最も廣く讀まれる、思ひすべし、最 も古くして、最も廣く讀まれる、美文集なり。
現代詩人パンフレット第二編	白鳥省吾 七四〇頁 紙装 〇、六〇	本集は、近作中最も朗誦に適する抒情小曲七十 餘篇を、輯めたる著者の純情素朴の力作なり、と す。著者最近の詩境を窺ふべし。

晚翠詩集	土井晩翠 六〇四頁 紙装 二、〇〇	先覺詩人としての晩翠先生の名作、擧げて、此 史書の寶玉として、國文學上の光輝を放つ。而して、國文學博 文館
平仄字典	林古溪 一九二頁 紙装 一、一八	漢詩を作る者の一番困るのば、文字の平仄のわ からぬことである。本書は、總ての漢字を五十 音順に並べ、平仄と字義と韻とを明にして、居る 音順に並べ、平仄と字義と韻とを明にして、居る
小曲寶石の夢	水谷まさる 二〇〇頁 紙装 一、九〇	少女畫報の主筆として、數多の作品を、同誌に 發表したるものの中より、廣く好誦されたる詩交 篇のみを集めて、一巻となしたる小曲詩集。
現代ロシア詩集	若目田三郎 二〇〇頁 紙装 一、九〇	未だ日本に紹介されざりし、新らしきロシア の譯詩集なり。附するに、各詩人の略傳を附し、紅 玉堂
和名詩詳解	大町桂月 四〇〇頁 紙装 一、〇八	本書は、桂月先生が詩を知らぬ人の爲めに、作ら れたもので、和漢古今の有名で詩趣ある傑作 を網羅し、又漢詩の作法も、分り易く説いてある。
和名詩類選評釋	簡野道明 一〇〇頁 紙装 三、一五	和漢の有名な漢詩一千餘首を選んで、正確な讀 方と親切な評釋とを加へたもので、初學者にも、 其の意義を解し得る好参考書である。
詩文 綠草心理	前田夕暮 二二〇頁 紙装 二、一〇	詩人北原白秋氏が傑作として、推賞されしもの で、現代に於ける唯一の清新にして、生采あるア 新感覺主義の高唱されし名篇である。
校註 和歌叢書 第一卷	佐々木・芳賀 七七八頁 紙装 三、一八	佐々木信綱、芳賀矢一兩博士の萬葉集に對し て、精到なる註解を加へたるもの、學界の至寶博 文館
校註 和歌叢書 第二卷	佐々木・芳賀 七〇二頁 紙装 三、一八	萬葉集略解下巻にして、第一巻に引續き、完結す る萬葉集を學ばんとするもの、好手引として、定博 文館
若人の胸へ	小林尾綾子 一〇五〇頁 紙装 一、〇八	情熱に燃ゆる二人の著者の生活記録、詩、短 歌、及びAとBとの間の取り交されし感想を、文 藝社



詩の作り方	生田春月	菊牛特装 二五〇頁送	七〇六〇	詩とはどんなものか。詩人とはどんな人か。詩の下の詳細に明かに詩作の法を説いた。新潮社
現代詩の研究	白鳥省吾	新装紙装 三七八頁送	一、五八〇	詩の本質を明かにし、各詩人の作風を解剖する。入門者の必読すべき寶卷である。
ハイネ詩集	生田春月	判背布 三七八頁送	一、〇〇〇	青春の子女にしてハイネの名を知らざるなく亦此書を通じて可憐麗麗の極を極めてゐる。
ホイットマン詩集	白鳥省吾	判背布 三七六頁送	一、〇〇〇	民主的精神の大波は全世界に澎湃たる時、其雄大の韻律を聞かんとする人に此集を捧げる。
ゲエテ詩集	生田春月	判背布 三五六頁送	一、〇〇〇	主として戀を歌へるものを選び、春月氏の哀婉麗麗の筆を假りて邦語に譯した。若きエルテルの悲みと共に、また是れ戀愛の聖典。
エルレーヌ詩集	川路柳虹	判背布 三四二頁送	一、〇〇〇	詩は象徴、象徴の詩は則ちエルレーヌ。エルレーヌを讀んで始めて近代の詩を談る可き。ある。譯は此作者に傾倒する事深き川路氏。
震災災禍の上に	詩話會	四六紙装 二五〇頁送	一、五八〇	現下わが詩壇の殆ど全作家を網羅して四十八氏が大震の慘禍を悲しみ、壊滅せる東京を嘆ける新作を集めた。世界的一大詩集である。
高原の處女	福田正夫	菊牛紙装 二四〇頁送	一、〇八〇	一人の美しい處女の、美しくしき戀を主題として永遠の人生を歌へるもの、七篇十章から成る長篇叙事詩で、小説以上の興味がある。
戀の彷徨者	福田正夫	菊牛紙装 二八〇頁送	一、〇〇〇	「高原の處女」に次いで長篇叙事詩の第二編。戀と運命との悲劇を題材として、詩の曲節に小説的興感を托せる。福田氏獨得の作である。
嘆きの孔雀	福田正夫	菊牛紙装 二六六頁送	一、〇九〇	舞踏の天才たる絶世の美人が、失戀の悲しみリズムと流るゝ如き華麗の詞句とを見よ。

筑波の百合	福田正夫	菊牛紙装 二八六頁送	一、〇〇〇	筑波のほとり百合の如く咲き出でたる豊麗な美妓の、悲しき半生を歌へるもので、堂々たる三百五十枚、叙事詩中第一の長篇である。
散華樂	三石勝五郎	菊牛特装 二五〇頁送	一、一六〇	自然の詩人、労働の詩人、漂泊の詩人三石氏の命を即興の詩に捉へる所此人の獨壇である。
日本詩集	詩話會	四六紙装 三七〇頁送	一、一八〇	毎年一回刊行し、その前年に於ける各詩人の代表作を集めて一卷とする年刊詩集である。
春月小曲集	生田春月	菊牛紙装 二八〇頁送	一、〇六〇	小曲すべて百八十餘篇。戀を歌ひ、少女を歌ひ、若き日の夢を歌ひ、破れし胸のかなしみを歌ふ。哀切にして可憐、悲痛にして哀婉。
靈魂の秋	生田春月	菊牛紙装 二九〇頁送	一、〇六〇	春月氏の第一詩集で、又最も多く讀まれたもので、今尙盛んなる愛誦を受けてゐる。收むるところ二百篇、何れも珠玉の如き名作である。
感傷の春	生田春月	菊牛紙装 二八〇頁送	一、〇六〇	「靈魂の秋」と共に、若き人々の熱烈なる愛誦を受け、驚く可き賣行を示してゐる。熱き戀はかなき憧れを歌へる長曲短曲二百餘篇。
明治大正詩選	詩話會	菊牛大判 四一〇頁送	一、一八〇	新體詩創始時代より今日に至る、明治大正を通過して詩の代表作を集めた。作者は八十四人、詩は二百七十篇。眞に空前の大詩集である。
八十童謡全集	西條八十	菊牛特装 三七二頁送	一、二五〇	現下童謡界の第一人者たる西條氏の童謡の全集である。全國に膾炙せらるゝ名作「かなりや」以下實に百四十篇を収めた大判美本。
赤き獵衣	西條八十	菊牛布装 一九〇頁送	一、一四〇	西條氏の小説七十餘篇の集。何れも字々精金句々美玉、西條の名詩に比して遜色なき作。装幀また優麗の趣を盡くした美本である。
雨情民謡百篇	野口雨情	菊牛特装 二二二頁送	一、一四〇	雨情氏は人も知る民謡の第一人者である。本集はその大部分は未だ他の集に入らないもの。同



明治詩歌選	詩壇六家 菊牛布装 一五〇頁送	〇五五	若菜集(島崎藤村)天地有情(土井晩翠)暮笛集(薄田泣菫)みだれ髪(與謝野晶子)獨絃哀歌(蒲原有明)東西南北(與謝野寛)等	新潮社
啄木全集	石川啄木 菊牛布装 六九〇頁送	二、〇二〇	以下三卷。第一卷は小説集で、雲は天才である。第三卷は感想評論と書簡の集である。	同
トラウヘル詩集	福田正夫 菊牛布装 四〇八頁送	一、〇〇〇	高唱せる亞米利加の詩人トラウヘルの代表作を、ほわが民主詩人福田氏によつて譯された。	同
カアペンタア詩集	富田碎花 菊牛布装 三一〇頁送	一、〇〇〇	額に汗して生活する人々への共鳴より、大地に即せる生活の讚美に導かれた。素朴純眞なる此の詩人の風格は本書のなかに生きてゐる。	同
現佛蘭西詩集	柳澤健 菊牛布装 三四八頁送	一、〇〇〇	最近佛蘭西の詩壇を代表するレニエ、フオ、ル、サマンの三家の代表作を譯した。柳澤氏同は、佛蘭西文藝に造詣の深き詩人である。	同
ワイルド詩集	日夏耿之介 菊牛布装 三二二頁送	一、〇〇〇	唯美主義享樂主義の詩人として世界古今の詩壇を獨歩するワイルドの詩は、氣稟の原作者同と共通すと云はるゝ日夏氏によつて譯された。	同
エネフ散文詩	生田春月 菊牛布装 一八四頁送	〇六五	これは、詩の衣裳をつけた哲學である。近代文學の生んだ最も警拔な詩である。而して此の愛憐なる露西亞の天才の一生の懺悔である	同
現代詩人叢書	詩壇諸名家 菊牛紙装 各一六〇頁送	〇六〇	沈黙の血沙(野口米次郎)2 蠟人形(西條八十)3 預言(川路柳虹)4 田舎の花(室生犀星)5 季節の馬車(佐藤惣之助)...	同
現代詩人叢書	詩壇諸名家 菊牛紙装 各一六〇頁送	〇六〇	6 青き樹かげ(三木露風)7 炎天(千家元麿)8 澄める青空(生田春月)9 風車(百田宗治)10 古風な月(日夏耿之介)11 愛慕(白鳥省吾)...	同
現代詩人叢書	詩壇諸名家 菊牛紙装 各一六〇頁送	〇六〇	12 蝶を夢む(萩原朔太郎)15 耕人の手(福田正夫)16 17 世界の民衆(正當汪洋)17 斑猫(深尾須磨子)	同

歌

歌泉のほとり	窪田空穂 新四六判 一三〇頁送	一、〇〇〇	著者の温雅清明なる作風は本集に到りて實に渾熟の域に達したりと稱すべきか。一卷三百首、新歌壇の正道を指示するの新鮮なり。	紅玉堂
歌に就ての考察	花田比露思 菊牛布装 三五〇頁送	二、一五〇	自己の生活の純眞化を歌に求めてゐる著者が過去九年間に於ける、考察感想の集録なり。	紅玉堂
改歌は斯うして作る	尾山篤二郎 菊牛紙装 二五〇頁送	一、〇二〇	世に多くある所謂作法書ではなく、歌の詠める方法に就て、書いた新しい短歌作法書である。	紅玉堂
歌まなび	大和田建樹 菊牛布装 一〇六頁送	二、一八〇	和歌初學者の暗夜を導く燈明臺はこれ、部類用句を列挙して名家の作例を満載してある。	博文館
歌物語	西村醉香 菊牛紙装 二四〇頁送	一、一三〇	純情無垢の少女の讀物として撰集せる本書は哀憐優情なる美しき物語のうち和歌を識り交へて何人にも興味多からしめたる書で有る。	交蘭社
詠進歌の葉	小林篤里 菊牛紙装 和半装判送	〇八四〇	毎年新しき春に陛下から國民に向つてお尋ねからなる詠進歌、その作り方、書式、手續等所謂大隅言道の秀歌を撰びて親切なる評釋を加へたるもの。	文藝社
新大隅言道歌集	牛田良平 菊牛紙装 一二二頁送	〇八五	所謂大隅言道の秀歌を撰びて親切なる評釋を加へたるもの。	紅玉堂
新香川景樹歌集	牛田良平 菊牛紙装 一二四頁送	〇八五	桂園派の視たる、香川景樹の佳作を撰び、親切的なる評釋を施したるもの、桂園派一流の優れたる處を知らむとするもの、よき書なり。	紅玉堂
訂改歌集おもひ草	佐々木信綱 菊牛紙装 一四〇頁送	〇八五	竹柏園主人としての信綱博士が比較的初期に朗々吟詠に値す。	博文館



集歌	集歌	集歌	集歌	歌	歌	近世和歌史	改現代一萬歌集	國民の歌
しがらみ	野づかさ	やますげ	瑠璃光	道	道小見	金槐和歌集	現代一萬歌集	國民の歌
中村憲吉	半田良平	松村英一	與謝野晶子	小倉博	島木赤彦	源實朝	松村英一	武笠三
二五〇頁送	二〇〇餘頁送	三〇〇頁送	一八〇頁送	四〇〇頁送	二五〇頁送	一〇〇〇頁送	四〇〇頁送	三七八頁送
一、八〇	二、〇〇	一、〇〇	一、八〇	一、五〇	一、五〇	〇、九〇	二、一三〇	一、二〇〇
著者第三歌集であつて第二歌集以後七年間の勞作を輯む。此の集の世に出れば歌壇の庭上の巨匠を置くものと云ふべし。	新歌壇の中堅たる著者の第一歌集なり。温雅にして清澄なる著者の歌品はまた底に一脈の幽思を湛へて深く人生の機微に徹する物がある。	現歌壇の中堅松村氏の歌集である。質實にして人間味を傳へて餘す所がない。著者の濃やかなる在る處女の青春と純情とを保ち、而も多様自在なる詩境に徹して止まざるは與謝野夫人の歌である。洋々たる純情の海は本書に光り流れる。	古今の歌道大成して、歌の意義修辭作法等を明かにした名著で、荷も歌を學び歌を作り等歌を講ずる人士の必讀すべき書である。	著者その包蔵を發表し新たに歌の門に入る者にも久しく歌の道にある者にも單なる歌の鑑賞者にも通ずる様に歌の意見を述べしもの。	萬葉集以後の歌の林人の言の直く清らかなるを求めんとするに際しては唯此鎌倉の右大臣が光を荒野の末に放つてやうに思はれます。	歌學史に於ける近世に傑出せる歌人幾十を研究の對象となし、前人未發の史料を供す。	現歌壇に於ける代表的な作者の秀歌を廣く集めて一巻としたもので、眞に明治大正の萬葉集と云つてもよいものである。	萬葉集から徳川期に及ぶ迄の歌書の中から國民の凡てに愛誦されてゐる歌を萃めて類を分ち語句を註した好著である。
岩波書店	紅玉堂	紅玉堂	アルス	有朋堂	岩波書店	集文館	玉堂	有朋堂

校註古今和歌集	作者別萬葉全集	三大和歌集選	昭憲皇太后御集	現抒情歌選	處女歌集	白萩の花	歌新	新古今集選釋	標註新古今和歌集
金子元臣	土岐善曆	古歌研究會	宮内省藏版	向陵詩社	尾山篤二郎	伊藤 恕	文學博士	佐々木信綱	飯田永夫
二二〇頁送	七〇〇頁送	百五十頁送	局菊判刷	三〇〇頁送	紙菊半	二二〇頁送	一六二頁送	三八〇頁送	八〇頁送
一、三〇〇	三、八三〇	一、〇〇〇	二、一〇〇	二、六〇〇	一、八〇〇	一、三三〇	〇、八五〇	二、一五〇	一、二二〇
古今集に簡明で而も要を得た標註を加へてあつて、初學者の類句索引は非常に便利である。且つ添へてある類句索引は甚だ重寶有益なもの。	萬葉集の現代的な整理は古典に對する意義の深き一大事業を土岐氏の前後八年の歳月を要し、研究家に甚大の便利を與へられた一大功績。	古今和歌集、新古今和歌集、萬葉集より傑出したる中學校及女學校教師範學校上級用及高等專門學校の國文教科に適切なるものを蒐む。	本書は勅旨を奉じて明治天皇の皇后にましませし昭憲皇太后の御歌を謹輯されし尊き御歌集で、明治天皇御集と共に必讀すべき名著。	大正年間現れた歌壇幾十萬の作歌中から抒情内容の秀作六千餘首を公平に嚴選したるもの。	著者の若き日の作五百首を自選して出せる集なり。多感なりし著者の抒情歌はまた行詰れる集現歌壇に一味清新の氣を齎すものである。	奇稿を街の時流を追ふ歌壇にあつて、清澄なる歌人の風情を失はず、愜くまで自然を靜觀して獨自の歌境を開拓せる氏の面目躍如たり。	信綱博士の『おもひ草』に次げる作歌を蒐録し、所成る、歌人としての渾熟せる面影はその隨博に味解し得らるべし。	新古今集の秀歌を選びて親切な解釋と明快な批評を加へ且つ同時代の代表的歌人の家集明治書院『六歌集』の秀歌を抄出して附録とす。	新古今集は我國の歌界に一新機軸を出したるものなり。本書は古今集の姉妹書として飯田永夫先生の標註校訂せしものなり。
明治書院	アルス	敬文堂書店	日本宣傳社	文武堂	紅玉堂	厚生閣	博文館	明治書院	六合館



新選一萬歌集	新撰歌典	第一の街	啄木遺稿	啄木歌集	竹里歌話	竹の里歌全集	改短歌用語辭典	短歌五十講	短歌作法
短歌研究會	落合直文	西村陽吉	石川啄木	石川啄木	正岡子規	古齋藤千櫻吉	松村英一	尾山篤二郎	窪田空穂
菊半裁 四二〇頁	菊半裁 六七八頁	菊半裁 三四八頁	菊半裁 四七〇頁	菊半裁 一七〇頁	菊半裁 三九二頁	菊半裁 四六六頁	菊半裁 三五〇頁	菊半裁 四〇〇頁	菊半裁 三〇六頁
二、二〇	一、二〇	一、九〇	一、七〇	一、〇〇	二、五〇	二、五〇	一、八〇	二、三〇	〇、八〇
明治大正日本歌壇の名流二百餘家の代表作約一萬首を總括的に類別網羅せる最新最完備の模範的大詞華集。	歌の沿革、歌の作法を説きて、本體を豊富な撰集、家々の集その英華を漏す所なし。	啄木以後の生活派歌人たる著者の第三歌集である。現歌壇の古曲的流風に染まらず、独自の歌境を拓ける著者の作は本書に依つて見得。	石川啄木が唯一の遺せる文集なり。社會革命家を轉じての彼の歌集と俱に讀むべきもの。	歌壇の革命兒石川啄木の短歌集なり。一卷八首の束縛より放される身動く能はずしてその心切の東洋より放される現代青年の痛苦の聲也。	岡を愛する人、歌を作る人共に一度は巨人正へられ、斯道に於て齋藤博士古泉兩氏の苦心の編輯に良書にして、斯道に於て齋藤博士古泉兩氏の苦心の編輯に。	現代の短歌に用ゐられたる語を、新語、古語を問はず集めて、初學者に好適す。その實例を歌とを加へたり。	現歌壇の第一線に立ちて雄筆を振ふる著者の第一文集にして、評論感想隨筆歌話等を輯む著者の全面目は本書に於て書きたり云ひ得。	歌を愛する心があり、作歌をする心持の動いて、ある人にとつて最も信頼するに足る手引であらう。本書一冊の熟讀で速に上達するだらう。	『新らしき短歌』の作法を説いて懇切を極め、忌憚なき批評に現歌壇諸家の作風を紹介して、正しき作歌の大道を示した初學者最良の手引。
越山堂	博文館	紅玉堂	紅玉堂	紅玉堂	ア ル ス	ア ル ス	紅玉堂	紅玉堂	博文館

文藝及思想講習叢書

短歌作法	短歌新考	短歌新辭典	短歌隨見	短歌は如何して作るか	天地生き活く	増訂日本歌學史	大正十年刊歌集	歌氷	百人一首講義
前田夕暮	牛田良平	尾山篤二郎	窪田空穂	小林鶯里	田中龍夫	佐々木信綱	歌話會	島木赤彦	佐々木信綱
一〇〇頁	三〇〇頁	二五〇頁	三八〇頁	四六六頁	菊半裁 二重裝送	菊半裁 二重裝送	四四〇頁	三四六頁	三〇六頁
〇、五〇	二、三〇	一、二〇	二、五〇	一、五〇	一、二〇	二、四〇	三、五〇	二、五〇	〇、六五
『新らしき短歌』の作法を説いて懇切を極め、忌憚なき批評に現歌壇諸家の作風を紹介して、正しき作歌の大道を示した初學者最良の手引。	新歌壇の中堅作家にして文藝批評家たる著者の第一の感想、論文の集なり。著者の歌集野紅玉の第一の感想、論文の集なり。	現歌壇に第一位の座を占むる著者のその該博な知識と深大に鑑賞力と俊敏な洞察力とを以てなした、評釋、批評、感想を集めたもの。	萬葉時代の質朴勇壯なる、貫之射恒の華麗優美なる、俊成定家の幽玄なる、徳川の再興、明治の思想等總て本書が述べ盡してある。	科學者生活を捨て精神運動に投じた著者の心境を歌へる新詩集。	帝國學士院が學界最高の名譽たる恩賜賞を授け、關する學問的研究の嚆矢をなせるもの。	年一回刊行するもので歌數約四千首です。十年に於ける自選集を纏めたのに等しいものです。	子規左千夫の傳統を繼承して更に寫生の一途を究極する事廿年深く人生の奥所に參して沈んで來る響を成す者現歌壇中居然として著者あり。	古來百人一首の註釋はその數頗る多し、しかも確立せるものには本書を以て随一とす。	古來百人一首の註釋はその數頗る多し、しかも確立せるものには本書を以て随一とす。
紅玉堂	紅玉堂	紅玉堂	紅玉堂	文藝社	警醒社	博文館	關根書店	岩波書店	博文館



貧乏の歌	渡邊順三	菊半	一三〇頁	送價	〇、五〇	著者が過去十数年の労働生活に於ける體驗の記録である。不斷の貧乏と執拗な病苦と闘ひながら歌ひつゞけて來た尊い人生記録である。	東華書院
評ボケツト萬葉集	佐々木信綱	袖珍	三五八頁	送價	一、二〇〇	古典の至寶「萬葉集」に簡潔的確なる評釋を加へ、日常座敷の中に萬葉精神に親昵せしめんとすることを期せる好著。	博文館
新正岡子規歌集	橋田東聲	異判紙	一七頁	送價	〇、八五	歌壇の革新者、正岡子規の秀歌に評釋を加へたるもの、歌人として正岡子規を知る上に於て、只今では本書に流る他はない。	紅玉堂
代匠記、考略解、古義萬葉集	松村英一	四〇〇頁	送價	二、八二〇	萬葉集の、代匠記、考、略解、古義四通りの訓み方を一書に集めたものにして、一目の下に四書それぞれに訓み方を知り得る。	紅玉堂	
萬葉集新講	次田潤	菊判美裝	七〇〇頁	送價	六、二七〇	本書は著者の創見を述べ口語譯と批評を加へたるもの、殊に遺跡の踏査文化的觀察よりなる幾多の卓見は圖版と相俟て他に比類なし。	成美堂
緑の斜面	土岐善麿	異判布裝	三〇〇頁	送價	二、一五〇	著者の近作に少許の舊作を撰み加へた八百餘を首からなる大歌集である。所謂生活派の眞諦を示す代表的な作集である。	紅玉堂
歌みどりの眉	杉浦翠子	四六判	二〇〇頁	送價	一、一八〇	北原白秋氏は杉浦女史を評し「朝氣縦横の才女」とされた。氏の近作五百首を集めた物である。一句々々はよく氏を語つて居る。	金星堂
新源實朝歌集	尾山篤二郎	異判紙裝	一三五頁	送價	〇、八五	金槐集中の秀歌に新釋を加へたるものなり。附録として「實朝覺書」「實朝風流日記」を添へたり。	紅玉堂
明治天皇御集	宮内省藏版	局刷	三二四頁	送價	二、一〇〇	本書は勅旨を奉じて謹輯されし明治天皇の御製集で官廳公衙各學校教育國體圖書館其他一般の家庭に必備すべき高貴の名著である。	日本宣傳社
本居宣長稿本全集	本居清造	異判布裝	九九二頁	送價	四、一五〇	宣長の著者中未刊の稿本を蒐集上梓せんとす。正に國文學士上稀觀の珍籍なり。	博文館

新山家集	西行法師	總クロ!	入金文字	一、六〇	萬葉以後人の言の清らかなるを求めんとするに、此法師の家集あるのみであります。	集文館	
明治天皇御製註	やまと心	文學博士	異判上製	一、〇〇	新しき日本帝國の建設者におはす明治天皇は、また歌聖として幾多の作品を遺させ給へり、佐々木博士の謹撰註まさに國民の必讀書。	博文館	
校和歌叢書第三卷	佐々木、芳賀	菊判布裝	八四六頁	送價	三、二八〇	「八代集」上巻とす。	博文館
校和歌叢書第四卷	佐々木、芳賀	菊判布裝	七二二頁	送價	三、一八〇	「八代集」下巻とす。	博文館
校和歌叢書第五卷	佐々木、芳賀	菊判布裝	七二二頁	送價	三、一八〇	「三十六人集」とす。	博文館
校和歌叢書第六卷	佐々木、芳賀	菊判布裝	六三四頁	送價	三、一八〇	「近代名家歌選」とす。	博文館
校和歌叢書第七卷	佐々木、芳賀	菊判布裝	六九〇頁	送價	三、二八〇	「和歌作法集」とす。	博文館
和歌入門	佐々木信綱	異判布裝	二五二頁	送價	一、四〇〇	和歌に親しみ作歌に熟せんと欲する初心者に對する如く親切に指導せる手引草。門弟各自に對する如く親切に指導せる手引草。	博文館
和歌百話	佐々木信綱	異判布裝	六二〇頁	送價	二、四〇〇	或は初學の手引となり或は和歌の講義となり或は歌人の傳記逸話を傳へ或は歌集の解説に及ぶ。話題一百、多趣多味の講話なり。	博文館
和歌名所めぐり	文學博士	袖珍布裝	四三〇頁	送價	一、六〇〇	我國古今の名所に關する名家の和歌を汽車の沿線、汽船の航路の順次に編纂して説明を加へ居ながらにして歌の名所を巡り得る。	博文館



歌の作り方	金子薫園	菊半特装 二〇頁送	〇七〇	思ひきつた極度の平易と極度の懇切とを以て歌の作り方を説き、是非一讀すべき書である。如何なる初學者にても直に歌を作る方法と歌の詠める方法がある。平易に書いてある。	新潮社
歌はかうして作る	尾山篤二郎	菊三〇頁送	〇一五〇	如何なる初學者にても直に歌を作る方法と歌の詠める方法がある。平易に書いてある。	紅玉堂
現代自選歌集	現代名家歌壇	菊三二〇頁送	〇二〇〇	(1) 與謝野晶子集(2) 金子薫園集(3) 若山牧水集(4) 吉井勇集(5) 土岐哀果集(6) 前田夕牧集(7) 以上第六卷迄發行	新潮社
晶子短歌全集	與謝野晶子	四六特装 四一〇頁送	各二、五〇	明治大正の藝術界の所屬中、眞に後代に誇り得べきもの國民的寶卷である。我社は萬戸一部を蔵すべし。	同
新代表歌選	薫園牧水	菊半背布 二七〇頁送	〇七〇	現代諸名家の作の一切に互つて極めて嚴密に選集し、之を檢索に便なるよう、各部門に細かく分類した。初學入門者の必需書である。	同
作歌新辭典	金子薫園	三三〇頁送	〇九〇	新しき歌語を網羅し分類して簡明なる註解を加へ、例語を列ねて一首とす。方法最も懇切き、作例を擧げて註解を施す等用意最も懇切	同
俳諧	俳諧	俳諧	俳諧	俳諧	俳諧
新らしき俳句入門	閑窓晋富浦	三判並製 二五二頁送	〇〇〇	著者は多年斯道を研究せしものにして又一派の宗である。初めて學ぶ人の爲に最も親切に最も解り易く詳述せし良書である。	文武堂
鶉衣	横井也有	三判和装 六八頁送	二、〇〇	本文は勉めて原書の體裁を存置する事にしたが、讀過の餘りに難しきは假名を漢字に代へた。兔に角俳文好學者の一讀をなすべき珍書。	光風館
集合本春夏秋冬	正岡子規	菊半裁 四八〇頁送	一、五〇〇	子規を中心とせる明治時代の代表的俳句集にして其の句調の穩健にして眞純なる、初歩者の好伴侶たると共に一般俳家の座右にすむ	初山書店

紅葉山人俳句集	瀬川疎山	三判長形 一四〇頁送	〇七〇	山人の俳句は一句一句味ひ來れば所謂一の小談にして趣味深く餘韻長し集むる句六百五十概の網羅せり俳諧に志あるものは缺く可らず	河内書店
最新一萬句	今井柏浦	三判紙袋 七〇〇頁送	〇三〇	「新撰一萬句」に蒐録せられたる以後の發表に成る俳句と、同じ趣意の下に編纂す。	博文館
新釋奥の細道	三宅邦吉	三判紙袋 一〇二頁送	〇六〇	芭蕉が東山北陸二道を通歴したる旅行日記「奥の細道」の原文及新釋を供載したるもの。	初山書店
新撰一萬句	今井柏浦	三判紙袋 一〇二頁送	〇八〇	現俳壇の主流をなせるホト、ギス派の俳句を類集せるもの。同好者座右の味讀に便し、兼て作句の参考に資す。	博文館
俳諧新撰歳事記	今井柏浦	新形布装 六五〇頁送	二、〇〇	連年改訂増補して愈よ完璧を期し、歳事記と虚子の題句、不折の題畫、錦上花を添ふ。	博文館
新俳句選集	今井柏浦	三判紙袋 四三五頁送	〇二〇	大正十一年から十四年初頭まで最近俳壇の大家勢を窺ふべき代表的俳句集である。	修省堂
漱石俳句集	夏目漱石	小型布装 四五〇頁送	一、三〇	漱石先生は俳人として最も特色ある一家として常に俳壇に重きを成せり。本書輯むる所句數二千餘句。之を季節年代に排列す。	岩波書店
續芭蕉俳句研究	幸田露伴	四六特装 四二八頁送	二、二八〇	幸田露伴博士他七氏の研究会が第二年の收穫芭蕉の句を此の人々と一所に味つて見たいと思はれる人々に御進めします。	岩波書店
大正一萬句	今井柏浦	四六特装 四二八頁送	〇二〇	ホト、ギス派の俳句を中心とし、全國俳人の名句を涉獵して類別せるもの。作句座右の參考にして且つ大正名句集の觀となす。	博文館
大正新一萬句	今井柏浦	三判紙袋 四三〇頁送	〇二〇	子規系統に屬する全國俳人の句作を苦心蒐録せるものより更に一萬餘句を撰擇して各部門に分類収載す。俳人の座右必備の一書とす。	博文館



俳諧大要	俳諧叢書第一卷	俳諧叢書第二卷	俳諧名著文庫	俳諧名所めぐり	俳句季寄せ	俳句作法	俳句とはどんなものか	俳句に入る道	
正岡子規	巖谷小波	巖谷小波	俳書堂	坪谷水哉	俳書堂	沼波瓊音	高濱虚子	萩原井泉水	
布七五四頁	菊判布装	菊判布装	各一〇〇頁	袖珍上製	袖珍紙装	一〇〇頁	一〇九四頁	菊判上製	
一、八〇〇	三、〇八〇	三、〇八〇	各、〇六五	一、〇六〇	一、〇二〇	〇、五〇四	〇、八〇四	一、〇〇〇	
俳諧入門者の爲に俳句の大道を説き示したるもの。	俳諧註釋集上巻とす、芭蕉發句諸抄大成、七部集大鑑、七部婆心録を収め俳聖芭蕉に親炙する唯一の完書である。	俳諧註釋集下巻とす、晋子發句提解、俳諧論發蒙、俳諧古今抄其他の諸篇を収む。	おらが春、去來抄、花屋日記、新花摘、新五子稿、芭蕉書簡集、陸奥千鳥、雪丸げ、芭蕉談、の九冊、右の内去來抄は價八〇。	旅行家にして俳趣味に富む著者が、遠く宗因國名所を巡つて吐ける紅葉に至る俳壇數百家の全俳句の季題を網羅別し四季新年歳暮の部門に從つて配記し尙新題數十種を加へたり。	十七字の短い藝術に哀切の抒情幽遠の叙景を以て描く即ち俳句は一時の即興句作に産れるものではない即ち俳句は一時の即興句作に産れるものではない即ち俳句は一時の即興句作に産れるものではない	全俳句を知らざる人も一讀直ちに俳句の眞趣を得べく、既に無限の感興を十七文字に現はすを得べく、既に無限の感興を十七文字に現はすを得べく、既に無限の感興を十七文字に現はすを得べく	俳句に入るうとする人の爲めに懇切を極めた俳句の豊富な書である比喩の廣汎適切なること引用俳句の豊富な書である比喩の廣汎適切なること引用俳句の豊富な書である比喩の廣汎適切なること引用	俳句の正しき見方俳句の本質俳句とリズム、俳句の諸問題を解決して餘す處無き良参考書。	俳句の正しき見方俳句の本質俳句とリズム、俳句の諸問題を解決して餘す處無き良参考書。
萩山書店	博文館	博文館	萩山書店	博文館	松陽堂	松陽堂	日本業社	金星堂	

俳句の新しい味ひ方	俳句の作りかた	俳句の作りやう	俳句の評釋	俳句名所めぐり	俳人芭蕉	五家八千句	俳風柳樽通釋	芭蕉研究	芭蕉俳句新釋
萩原井泉水	中内蝶二	高濱虚子	高濱虚子	小林鶯里	山崎藤吉	天生目天南	武笠山	樋口功	牛田良平
三四六頁	四五〇頁	一八八頁	一八八頁	一〇二頁	三四〇頁	三六〇頁	四〇〇頁	四〇〇頁	四〇〇頁
一、九八〇	一、二六〇	〇、八四〇	〇、〇六〇	〇、二六〇	一、一五〇	一、二〇〇	一、〇〇〇	四、二八〇	三、一五〇
俳句の新しい味ひ方、俳句の諸問題を解決して餘す處無き良参考書。	俳句の作りかた、俳句の作りやう、俳句の評釋、俳句名所めぐり、俳人芭蕉、五家八千句、俳風柳樽通釋、芭蕉研究、芭蕉俳句新釋、芭蕉の佳句秀句三百餘を抄出し語義大意を詳解した上その藝術的価値を縦横に評義した。好著芭蕉俳句全集紀行日記集及年譜を添した。	俳句の作りやう、俳句の評釋、俳句名所めぐり、俳人芭蕉、五家八千句、俳風柳樽通釋、芭蕉研究、芭蕉俳句新釋、芭蕉の佳句秀句三百餘を抄出し語義大意を詳解した上その藝術的価値を縦横に評義した。好著芭蕉俳句全集紀行日記集及年譜を添した。	俳句の評釋、俳句名所めぐり、俳人芭蕉、五家八千句、俳風柳樽通釋、芭蕉研究、芭蕉俳句新釋、芭蕉の佳句秀句三百餘を抄出し語義大意を詳解した上その藝術的価値を縦横に評義した。好著芭蕉俳句全集紀行日記集及年譜を添した。	俳句名所めぐり、俳人芭蕉、五家八千句、俳風柳樽通釋、芭蕉研究、芭蕉俳句新釋、芭蕉の佳句秀句三百餘を抄出し語義大意を詳解した上その藝術的価値を縦横に評義した。好著芭蕉俳句全集紀行日記集及年譜を添した。	俳人芭蕉、五家八千句、俳風柳樽通釋、芭蕉研究、芭蕉俳句新釋、芭蕉の佳句秀句三百餘を抄出し語義大意を詳解した上その藝術的価値を縦横に評義した。好著芭蕉俳句全集紀行日記集及年譜を添した。	五家八千句、俳風柳樽通釋、芭蕉研究、芭蕉俳句新釋、芭蕉の佳句秀句三百餘を抄出し語義大意を詳解した上その藝術的価値を縦横に評義した。好著芭蕉俳句全集紀行日記集及年譜を添した。	俳風柳樽通釋、芭蕉研究、芭蕉俳句新釋、芭蕉の佳句秀句三百餘を抄出し語義大意を詳解した上その藝術的価値を縦横に評義した。好著芭蕉俳句全集紀行日記集及年譜を添した。	芭蕉研究、芭蕉俳句新釋、芭蕉の佳句秀句三百餘を抄出し語義大意を詳解した上その藝術的価値を縦横に評義した。好著芭蕉俳句全集紀行日記集及年譜を添した。	芭蕉俳句新釋、芭蕉の佳句秀句三百餘を抄出し語義大意を詳解した上その藝術的価値を縦横に評義した。好著芭蕉俳句全集紀行日記集及年譜を添した。
交蘭社	日本書院	日本業社	培風館	文藝社	萩山書店	武文堂	有朋堂	文獻書院	紅玉堂



芭蕉七部集定本	勝峰晋風	四〇頁送	二、八三〇	七部集の俳諧は、萬葉以後の日本の詩歌の關所である。此の關所を通る詩歌の旅人の爲に、岩波書店
蕪村句集講義	子規、鳴雪、碧梧桐、虚子	三〇〇頁送	三、一五八〇	天明俳壇の巨星蕪村の句を論議したるもの蕪村の句の唯一の註釋書なると同時に蕪村俳句全集なり。
蕪村その他	岡野知十	四六頁送	一、二〇〇	新俳壇の泰斗たる著者が明治の俳諧復興期に記したる蕪村の句の主として俳諧史傳に關する物のみを集めたるもの天明期の俳人傳を盡す。
冬の日抄	露伴學人	三〇〇頁送	二、三三〇	芭蕉七部集の内「冬の日」を採つて註釋を加へたるもの現代日本に此著者を措いて他に其の適任者があるべしとも觀えず好學者必讀佳書
俳味山から海	巖谷小波	三二〇頁送	一、〇六〇	著者の謂ゆる古栗毛に踏破した内外の山川をの好みに俳句を挿んで感興を添ふ、一面旅行用文集。
湯島法樂	岡野知十	四六頁送	一、〇〇〇	明治俳壇に新々派の旗幟を翻した俳壇の先覺者たる著者の主として連句に關する舊稿を集めてたるもの故連句を學ばんとする者の好伴侶
我が小さき泉より	萩原井泉水	四六頁送	一、一七〇	俳話と感想である。俳句の一道に廿年苦しみ抜いた著者の隨筆が如何に吾等同好の心胸に強い印象を與へ得るものか一讀を乞ふ
俳句の作り方	沼波瓊音	二〇〇頁送	〇、七〇〇	俳句とは何ぞやに答へ俳句に最も重要な季題を説くと共に七十餘の實例を擧げて作法を平易に詳説した著者は斯道の大家である。
愛憎	須藤鐘一	三二〇頁送	一、〇八〇	文壇の中堅作家として最も多面的な取材と描寫に一境地を開ける須藤鐘一氏の作品選集、十二篇何れも新鮮な藝術的芳香を漂はす。

小説 (戯曲参照)

愛は鞭つ	平田正三郎	六五〇頁送	二、二五〇	海軍軍醫大尉としての若き著者が情熱のほとばしる儘に本書一巻の長篇小説が成つた如何に熱烈なる沸立てる血潮の高鳴を。
探偵青い十字架	チエスタント 浅野支府譯	二八四頁送	一、〇〇〇	探偵傑作叢書の第六篇、探偵小説中にあつて最も藝術味豊かな傑作と稱せらるる一篇。
探偵悪魔の足	和氣律次郎	三〇〇頁送	一、〇〇〇	探偵傑作叢書の第三十三篇、探偵小説界の巨匠ドイル氏の最近の傑作「悪魔の足」を巻頭
雨の八號室	新井紀一	二〇〇頁送	一、〇〇〇	新興文壇の花形たる新井氏の創作集たり。作
あめりか物語	永井荷風	四八六頁送	一、〇八〇	異色ある名作集として荷風氏の名聲を確定せしめたるもの一巻の芳草の如く匂つてゐる。
嵐の跡	大橋青波	四六四頁送	二、一四二〇	美しき富豪娘の放縱淫逸なる性的生活を如實に描き之に纏はるる各種人物の苦惱を織交ぜ
ある息子ある娘	都新聞社	二六〇頁送	一、二二〇	若き男女はこの本でどんな事を告白してゐるか讀めばこの本の眞價が解る所の五十餘篇
探偵暗號の骨牌	ル・キユイ 長谷川次郎譯	三三二頁送	一、〇〇〇	探偵傑作叢書の第十四篇、美貌花を欺く百萬長者の愛嬢と俠青年との戀を背景に謎の骨牌
改版いたづら小僧日記	佐々木邦	三四〇頁送	二、〇〇〇	天下の奇書として大評判の本書。天來の奇想
合巻おてんば娘日記	生方敏郎	四七〇頁送	一、一六〇	意匠の裏に出で諷諷の内に皮肉を含み馬鹿氣た
敏郎一圓札と猫	生方敏郎	四七〇頁送	一、一六〇	敏郎氏作品中最も好評を博したるもの對話の面白味は非常なる面白味を讀者に與へずにはおかない好評二十版を重ねたるもの。



一千一秒物語	稲垣足穂	四六判	一、二〇〇	官能藝術の一進路を示した物語である。一つ一つの物語の中に盛り込まれた奇怪にして豊なる幻集、軽やかな文章の合唱である。新時代の小説集	金星堂
一葉全集	樋口一葉	菊判布装	三、八〇〇	舊刊一葉全集前後二巻を縮刷して一篇に収め、筆蹟四葉を巻頭に挿入して完全なものを期した。百年稀出の女流作家として年と共に其聲名を高く評せられたるに至つた一葉女史の内部生活を示した『日記及文範』を前篇に収めた。	博文館
一葉全集	樋口一葉	菊判布装	三、二四〇	一葉の名を不朽ならしめるものは其創作にあること言ふまでもなく、『小説及隨筆』の全作を収めた本篇は永く後代に残るべき珠玉である。	博文館
一葉全集	樋口一葉	菊判布装	三、一四〇	明治維新の戦亂を背景に妖麗な毒婦可憐なる節婦を配して痛快なる場面涙の場面を描き出した宛然當時の情景を見るが如き歴史小説。	講談社
糸の亂	前田曙山	四六判	二、二〇〇	此の作品に於て性慾の泥沼の醜さを辛辣に描きつゝその泥沼の中に有る沼に染まなない一つの美しい女性の魂を描き得しは驚嘆に價す。	岩波書店
犬附島守	中勤助	菊判布装	一、二七〇	生きたこの社會に捲き起つたあらゆる階級間にもある情話の最も興味ある對話的に綴りたるもの春秋の讀みものには最も適當せる書。	日本書院
浮世情話	熊谷春草	菊判上製	一、一〇〇	川柳はむづかしい四角な事を丸う轉がしてし味の間にとつて押へて動かさぬ興味津津々。	金龍堂
柳浮世の裏表	村上浪六	菊判和本	〇、八〇〇	餘は寂寞無限なる塚の如き人生の内眞珠の如き誠と死の肯ふ愛を見出して是を露よりのしげき涙をもつて描いた。(著者)	岩波書店
歌はぬ人	倉田百三	菊判背絹	一、一五〇	著者が最初の長編力作である本篇主人公先磨の周囲にうづまける幾多の曲折それには無理解の兩親汚がされた一處女の煩悶と犯罪。	文武堂
宇宙の兒	田代倫	菊判絹装	二、一五〇		文武堂

腕一本を資本に	都新聞社	菊判洋装	一、一五〇	腕一本で叩きあげて立身出世した人の血と涙の事實談。不景氣恐るゝに足らずとこの本が立派にそれを教へてゐる。	都新聞社
浮氣な清教徒	藤田草之助	四六判	一、一六〇	肉欲の喘ぎに呻く女とある青年作家との戀の風潮を描きしもの。作中描寫の如實、深刻を極めたる個所多く危く發賣禁止に遇はんとす	文興院
生れざりせば	沖野岩三郎	菊判布装	二、二五〇	多情で涙もろい父、冷静で總てを笑で解決した主人公の數奇な運命を中心に興味ある創作。	大阪屋號
イブセン傑作集 (2) 海の夫人	島村抱月	菊判美本	一、一五〇	◆ノラが残した婦人の自覺問題を此劇の女主角人公エリクが自由意志と自己責任とで重大して目出度く幸福な新生活に入るといふ重大	早稻田大學出版部
縮刷浪六全集	村上浪六	袖珍箱入	二、〇〇〇	『當世五人男』中の一人の活躍詳傳。	至誠堂
繪本稗史小説	博文館編輯局	各判紙装	〇、六八〇	徳川文學に於て最も多く民衆に直接して最も廣く愛讀せられたる稗史小説類を遺漏なく蒐集せる叢書、稀有の珍籍をも収載す。	博文館
お洒落狂女	本田美禪	四六判	一、一八〇	江戸文化を背景に艶麗花の如き美女を中心に描き出した武勇探偵戀愛界に非常な批評!	講談社
お洒落狂女	本田美禪	四六判	一、一八〇	越中守定信が苦衷、軍師並木五瓶が計略、將軍の大渦卷斯なる面白物語は他にない。	雄辯會
恐るべき金の力、女の力	都新聞社	菊判洋装	一、二〇〇	金の力と女の力吾々にどういふ事を教へるたらうか、恐るべきものは金と女の力か。	都新聞社
音楽家の死	妹尾詔夫	四六判	一、〇〇〇	奇怪なる三音楽家の死! 紐育の樂壇を背景にして辣腕なる銀行家と花の如き少女と明敏なる醫師と。事件は如何に解決されるか?	金剛社







鷗	金子洋文	三四〇頁	送價	二、一〇〇	金子氏は我國無産派の爲萬丈の氣焔を吐く唯の動きを知らんとする者は躊躇無本書を讀め	金星堂
小長編 説 殻	中村古峽	四六〇頁	送價	二、一〇〇	著者嘗て逆境の中に發狂せる弟を養つて具に辛苦難した其間の悲痛なる體驗を中軸とし獨自の思想生活を表現したその本書である	方丈社
硝子戸の中	夏目漱石	二七六頁	送價	一、一八〇	常に書齋の硝子戸の中に座し靜に人生を思ひの過去を觀る著者の小品集。著者が始めて自己の過去現在の周圍を赤裸々に寫せるもの。	岩波書店
搦み蜘蛛	江見水蔭	四三二頁	送價	二、一五〇	見知らぬ青年に處女の誇を奪はれた可憐な美人の一生を描けるもの戀愛犯罪信仰の極致を美描いて痛烈深刻な極めた近代の大傑作。	講談社
彼れ在りとの直感	山中峯太郎	三三〇頁	送價	一、一八〇	生來の耻辱と恐怖と寂寥に追はれて前後五度北海の孤村に放浪せる著者が都會に享樂する親友に送て自他の苦悶的事實を語りし音信。	警醒社
浪六全集 刷縮 川上三吉	村上浪六	袖珍箱入 四一八頁	送價	二、〇〇〇	『當世五人男』中の一人の活躍詳傳。	至誠堂
雁のたゞり	池享吉	四〇〇頁	送價	二、一〇〇	明治の末年社會の上下を震駭せしめ永く口にすることを禁ぜられてゐた幸徳一派の大逆事隆件を題材にして書いた社會小説です。	博文館
小九番館	長田幹彦	三三〇頁	送價	一、一五〇	文壇の寵兒幹彦氏が始めて執筆せる探偵小説と波は萬波を生んで局面の變化と人物の出没と應接し暇なき大活躍を紙上に試みる。	博文館
探偵消える男	吉田夏村	三〇八頁	送價	一、〇〇〇	探偵傑作叢書の第十篇、原名『四十面相のク入りたるクリク』が幾變化の活躍を描く。	博文館
金星堂名作叢書 奇怪な再會	芥川龍之介	菊半上製 一六八頁	送價	〇、六〇〇	文壇の人氣を一手に引受くる觀ある芥川氏の傑作中の傑作五種を蒐めた。何れも著者得意の高雅なる香氣に満てる作品のみ。	金星堂

悲劇曲 桔梗の朝露	渡邊庸三	三〇〇頁	送價	一、一八〇	下剋上の亂世と闘ひ義景信長に仕事せし光秀の苦衷妖艶な美女小宰相局の亡執念その背景をなせる明智一族の傳統的的人道主義	弘道館
探偵 義賊ラッフルス	ホナ中早苗	三三〇頁	送價	一、〇〇〇	探偵傑作叢書の第八篇、忽然として俠血兒現れ魔邸に襲撃する活舞臺展開す。	博文館
極みなき愛を語る	唐澤健作	四〇〇頁	送價	一、一八〇	行文流麗にして事件は複雑な極め熱烈人を動かしむ其切なる物語。	日本書院
君は燃えたり火の如く	奥野他見男	四六三頁	送價	二、一〇〇	著者獨特の筆になる滑稽にして品あり輕快にりする諷刺に富む魂を溶かす様な戀お隣の宙返講	談社
長篇少女小説 京人形	高挿司小	四六六頁	送價	一、〇三〇	純眞な友情を中心とした深刻複雑な『京人形』といずれも悲しい變化に富む神秘的な『赤い花』	金星堂
金星堂名作叢書 銀次郎の片腕	里見 稔	一七八頁	送價	〇、六〇〇	スリの親方仕立屋銀次に題材を得て當時文壇を驚歎せしめた泰西の名作に比し少しの遜色なし	金星堂
刷縮 ぐうたら道中記	佐々木 邦	三五〇頁	送價	一、一八〇	諸語文壇の巨星たる著者が獨得の輕妙洒脱な文章を以てぐうたら兵衛が東京を振出し各地を歴訪しその様々な失敗を面白く描いた名著。	弘文社
探偵 鎖の輪	マシヤール	三〇〇頁	送價	一、〇〇〇	探偵傑作叢書の第二十四篇、六歳の愛兒を抱いて探偵の裏面を逃げ行く破獄囚を描きたる人間味豊かなる探偵小説、附録『鏡面の影』	博文館
漱石 虞美人草後編	三 四 郎	四二〇頁	送價	一、一六〇	漱石先生の傑作虞美人草をあのみにしておのほ惜しいといふので其あとを漱石一筆の日本書院	日本書院
浪六全集 刷縮 倉橋幸藏	村上浪六	袖珍箱入 四三七頁	送價	二、〇〇〇	『當世五人男』中の一人の詳傳。	至誠堂



縮六全集 劇黒田健次	黒谷夜話	齊武經國美談	袈裟の良人	ストリント ベルク全集 下女の子	創作 結婚魔	結婚愛	小説 結婚難	創作 決勝點	怪偵 決闘
村上浪六 袖珍箱入 四七四頁 價二、〇〇八	中里介山 二二〇頁 價一、〇五八	矢野文雄 七二〇頁 價二、〇二〇	菊池寛 二五〇頁 價一、〇二八	小宮豊隆譯 五九二頁 價二、二七〇	小林篤里 四六六頁 價一、〇五八	マリー・ス トープス 譯 一九一頁 價一、〇七〇	仁科春彦 四六六頁 價二、〇〇八	原田指月 五〇〇頁 價二、一五〇	妹尾詔夫 三〇〇頁 價一、〇〇六
「當世五人男」中の一人の活躍詳傳。	熊谷が鎌倉を走る事に始まり奇譚なる強盜眞盛衰流轉の世相と浄土佛教の眞髓とを暗示す	上古希臘國齊武に於て好黨等が專横を極たる年を慨し憂國の青年名士與に謀て辛酸離十九年間遂に覇國の大業を成就したる經國の美談	袈裟の良人、岩見重太郎、玄宋の心持、小野上人、偽軍國美談等四篇の小説が輯めてある	本書は著者の自傳的長篇也。深刻な内容を簡潔な技巧に表現する所味ひ學ぶべき多くの者若波書店	青春の血溢るゝ若人の是非とも一讀すべきもたり。結婚魔を始めとして、數篇の短篇を集め文藝社	珍田東宮大夫と松井前外相が本書を讀んで垂な三尺に及んだといふ天下の一品の秘書。有名朝香屋書店	春彦氏の傑作結婚難と母親難の二編を収む。描き一人娘に言ひ寄る數多の求婚者の心理を徹底した人生論と戀愛論、整然とした非戰論と反官僚主義、それ等は彼の數奇な運命と終始して讀者に強烈な印象と暗示を刻む大力作	探偵傑作叢書第三十四篇、措想の妙、素材の奇、讀者をして必ず最後に至り驚嘆の聲を放博文館	吉澤博士が大いに推賞せられしもの、譯文流麗、寧ろ大正の源氏物語と謂ひつ可き乎。文献書院

縮六全集 現代探偵傑作集	現代の英雄	子を貸し屋	行	幸	高野の義人	曠野の戀	紅葉全集
島田退藏 四六六頁 價二、二二〇	レールモントフ 中村白葉 三四〇頁 價二、〇二〇	宇野浩二 四六六頁 價一、一八〇	夏目漱石 袖珍美裝 六四八頁 價二、一五〇	宇野千代 三五〇頁 價二、〇二〇	中里介山 二六八頁 價一、〇六〇	田山花袋 一八五頁 價一、〇六〇	尾崎紅葉 各九各頁 價各四、〇〇六
本書は現代歐米諸大家の極めて凝つた上品なるも興趣無限の物語十數篇を斯界の第一人者甲子書院	レールモントフの一生の唯一の小説である。現代の英雄的性格の所有者たる青年士官が高金架索に於ける掠奪的冒險的戀物語である。	赤穂下向より筆を起し殿中刃傷内匠頭の最後とそその外傳を附したる史實と興味の結晶。	眞摯なる哲學者か絶えず不安に宗教を求めて歸つてから、塵勞の四章より成る。	男子も及ばぬ堂々たる筆致と意氣とを持つて發表の當時世評を震はせし拾篇の傑作を収む	五條越ゆれば高野の御領。高野御領には毒水のごさる毒が流れて麓へ落ちて。二萬四千石血の涙……	大膽なる筆を持つて年増女の爛熟せる蛇の如き執拗なる性慾を描寫したるもの。此の種の如數多き氏の作品中の逸品。	明治文壇に巨影を投じて萬人を酔はした縷心彫骨の名作品は文學史上の國寶である。此全博六卷約六千頁の全集に永久の存在を示す。
文獻書院	金星堂	文興院	金星堂	金星堂	磯部甲陽堂	金星堂	博文館



黄金の三角	松村博三譯	三四六頁	一〇〇八〇	佛貨十億萬法の行衛?世の耳目から遠ざかつて、時が来た。見よ、金の三角上の舞踏を。	金剛社
探偵奇 黄金の蟲	吉田兩耳譯	三〇〇頁	一〇〇六〇	探偵傑作叢書の第二十九篇。藝術上にも不朽の聲名あるボアの作品。中より探偵小説の傑作。殆ど全部を譯す。正にボアの短篇小説集。	博文館
探偵奇 黒衣の女	森下雨村譯	三〇〇頁	一〇〇六〇	探偵傑作叢書の第二十二篇。黒きヴェノルに面を包める謎の女。莫大なる遺産をめぐる。行動する。他に短篇數種を附録とす。	博文館
小説 黒潮	徳富健次郎	四六紙	一五五〇	不如歸に筆ならしの後著者が初めての意氣込を以て書いた藝術小説	警醒社
縮 ころろ	夏目漱石	四五〇頁	一五三〇	「心」は我文壇に於て全然先生一人の馳聘に委せられたる純心理解剖の作品。利己主義の醜惡を描いて如斯痛切鮮明なる恐らく他にありまい著者が病弱の身を抱きながら各地に數奇極まる行乞生活の十年を、謙虚な心をもつて書いたものである。	磯部甲陽堂
探偵奇 古城の怪寶	天岡虎雄譯	三〇八頁	一〇〇六〇	探偵傑作叢書の第四篇。印度より盗み出され、轉々として英國に運ばれた稀代の寶石を中心にして、悪魔の鬼オアラシボウが神秘なる物語、金色の鎧の鬼オアラシボウが今更云ふを俟たない。悪魔の鬼オアラシボウが今更云ふを俟たない。	博文館
金色の鎧の蟲	平野威馬雄譯	二四六頁	一〇〇八〇	父なき子信次は祖父の愛に育まれた、信次の世界は目まぐるしい推移と變轉と無反省な人の生活と其社會を描寫した大作である。	大阪屋號
渾沌	沖野岩三郎	三三〇頁	一八七〇	酒道樂は人の過、女道樂は人の罪、過は改めしむべく、罪は消ゆ可らず。法齋がこゝに主題を置き、描き出せる名作二篇の合冊。	博文館
縮 酒道樂・女道樂	村井弦齋	八二〇頁	二、一五〇〇		博文館

酒と戀と女	猪股平三郎	三二〇頁	一〇〇六〇	人間のこの世に生きてゐる間は、どうしても其あらゆる問題に酒と戀と女が中心である。天民式の面白き實事談を小説に仕込したるもの。	日本書院
探偵奇 囁く電線	薄田斬雲譯	三一〇頁	一〇〇六〇	探偵傑作叢書の第十九篇。米國財界の巨頭の不思議なる死に端を発して全篇これ波瀾重疊の大活劇。興味盡くる所を知らず。	博文館
さすらひの空	鄭然	五二〇頁	二、一八四〇	朝鮮三千年の歴史がかういふ思想を産したかと思ふ。何人も暗然として沈思に驅られたらう。また戦慄、長太息しない者はないであらう。	宣傳社
寂しい人々	石井淳	三七〇頁	一、一五八〇	陸軍大尉の著者は參謀本部付の軍人である。不動の他の小説十數個を収む。	日本書院
小説庭 三家	小田中友治	三六〇頁	二、一五二〇	有名なフアラ博士の家庭小説スリホームズ。ズの新譯である。譯文は篠田東京高師教授の校閱を経てゐます。安心出來ます。	文館
虐げられた笑	生方敏郎	四六四頁	二、一〇〇〇	本書収むる所の諷刺八編、滑稽七編、喜劇一編。各創作は、悉く現世の缺陷を曝露し盡して、殆んど餘す所がない。	日實業社
祝福	古屋芳雄	三七〇頁	一、一八八〇	現實と云ふものは一部理想作家の考ふるが如く、爾く容易に超越し得る者でもなく、良者でもない。斯る信念の下に書れし快心の作。	岩波書店
金星堂名作叢書 死兒を抱いて	廣津和郎	一四六頁	〇、六六〇	或る青年に誘惑されて流涙せる身の悲懷を、愛兒の行先を安んじて描いて深刻なる遺書。	金星堂
静御前	番衆浪人	七五〇頁	二、一五二〇	平家没落後の詩的時代を背景に義經と静御前との戀愛美女性美的の極致を描けるもの。轉じて離別の哀曲を奏する歴史小説境。稀氏の大傑作。	日會本
沈のうへ	長田幹彦	四四四頁	二、一三二〇	小説壇に於て定評ある著者が多年の希望を本大家皆口を極めて激賞せる近代絶無の悲劇。	日會本



沈む夕陽	長田幹彦 四六判 五六一頁 送二、一五〇	憧憬の都へ出て職業婦人として奮闘生活をせしめ、た美しき女性に誘惑の毒牙にかゝり、哀れもの雄辯會の身となるまでの人生の悲劇を描けるもの。
ストリント自然主義的戯曲 ベルク全集	小宮豊隆 三六四頁 送二、一八〇	近代文學中の特異の光を持つ戯曲として、ユリイ「友だち」の三篇を譯す。
灰の中時代相	村上浪六 四〇〇頁 送二、一〇〇	本書は「時代相」の續篇なれど、彼の大震災を背景とせるもの、當時の凄惨限りなき光景を描き悲喜こももとの幾場面を展開す。
時代相 (全三卷)	舟上浪六 函入各冊各二、一〇〇 四〇〇頁 送二、一〇〇	時代相は今日の社會に於けるあらゆる人間の内外表裏を描き出せるもの、浪六先生本書を以て執筆の最後とする納めの傑作小説。
出家とその弟子	倉田百三 四六四頁 送一、一五〇	此戯曲は身に徹して人生の悲愛を痛感せる作者が親鸞上人を主人公にして具體的に全人格的に自己の内的生活を表白したるものなり。
實見妖怪談	妖怪研究会 四七〇頁 送一、一六〇	昔から實際にあつたと云ふ怪談や、また實際であるといふ事實に近しい怪談を集めたのが本書である。秋の夜長に近しい一種の趣味ある讀物。
壽塔の人々	曾根玄昌 三〇〇頁 送二、一〇〇	著者を中心として生活をめぐる人人が如何なる人生觀を抱きて生活を送りつゝあるか哲學を世に求め信仰を個人に聽く思想小説である。
死の勝利	石川戲庵 八二〇頁 送三、一〇八〇	本書は全譯である南國氣分の藝術に憧憬する者には死の勝利によつて神秘的威嚴を知るべきであらう。
探偵 死の爆弾	ウエルシーニ 天岡虎雄譯 二八八頁 送一、〇〇六〇	探偵傑作叢書の第九篇、五十萬圓の行方と雪の中執行の日に至る「死毒」一篇を附録す。
抄本源氏物語 上巻 下巻	吉澤義則 二二〇頁 送一、一五〇	上巻には桐壺より須磨明石まで下巻には宇治十帖を収め頭註を加へ、文中事件の脈路を説き、別冊内裡圖有職類の繪畫及説明を附す。

全シヤロツク・ホルムス	加藤朝鳥 六四〇頁 送二、一八〇	探偵小説と最も面白く殊に英語を學ぶ人は知るべきの翻譯である。
探偵 十一の瓶	延原謙 三〇〇頁 送一、〇〇六〇	探偵傑作叢書の第三十一篇、ドイル氏と並び稱せらるるモリソン氏の代表的傑作、名玉が「ナ」の眼は十一の瓶の何れにありや。
十五少年絶島探検	葛原幽 四七四頁 送一、〇〇六〇	全篇飽く事知らぬ興味を犯すべからざる自然の教訓に満ちる少年諸君に推薦すべき讀物としてあらゆる長所を備へてゐる。
家庭小説 小公子	バネット 若松賤子譯 二二六頁 送一、〇〇八〇	海外の小説にして本書ほど深く其教化と興味とを邦人に與へたるものなかるべし、殊に好此譯は既に天下の折紙附となるもの。
小説家志願	石丸梧平 三三〇頁 送一、一七〇	小説家を志願する青年を中心に生んとする人間のあさましき姿、虚無と創造とヒューマンの間の研究ともいへる一大創作。
小説 ある道化役	鷹野つぎ 三五〇頁 送一、一五〇	著者に就ては世に定評がある。本書に收めたる七篇は、何れも世に公にされるもので、松竹蒲田の人氣者諸口十九がはじめた小説である。本書の價値如何に依つては諸口十九の映畫上に於ける人氣にも及ぶべき物である。
小説 幼華	諸口十九 二八〇頁 送一、一〇〇	松竹蒲田の人氣者諸口十九がはじめた小説である。本書の價値如何に依つては諸口十九の映畫上に於ける人氣にも及ぶべき物である。
新アラビヤ夜話	飯田敏雄 四五〇頁 送一、二〇〇	かの有名な英文豪ステアソン氏の原作ニユ部外六篇の全譯である。高等學校の参考書。
金星堂名作叢書 神童	谷崎潤一郎 一七四頁 送一、〇六〇	少年時代の神童と謳はれたる小年春吉が一度人生の春の惱みを知り初めたる小年春吉が一度く経路を最も厚味ある文章にて凄じく抉る諸小説の第一人者佐々木氏が獨得の輕妙酒に描いたもので其面白さに恍惚とせしむ。
新諸小説 新夫婦日記	佐々木邦 三五〇頁 送一、一五〇	諸小説の第一人者佐々木氏が獨得の輕妙酒に描いたもので其面白さに恍惚とせしむ。



怪奇 探偵	ストリント全集 或魂の發展	鳥井零一	三〇〇頁	紙装	一、〇〇六〇	探偵傑作双書の第二十六篇、スミルノ博士の日記に於ける一秘の秘密が、これに解く経路は悉く人の意表に出づる。	博文館
怪奇 探偵	青色ダイヤ	和辻哲郎	四二〇頁	紙装	二、一三〇	本書は著者が廿四歳より卅八歳に至る迄の自らの魂の開展を厳正に分析叙述しようとする試みたるもの、譯筆亦原著書の持つ暗示多簡潔也。	岩波書店
生	の悶え	妹尾詔夫	三三六頁	紙装	一、〇〇六〇	探偵傑作叢書の第十五篇、パンドラの箱は、何の暗示する、死の疑問、硝子の管の秘密は、燒跡の頭蓋骨みな讀者の胸を働く。	博文館
縮刷	世間學	鄭然	一四〇頁	美装	一、〇〇六〇	數箇の情を訴ふるもの、淫蕩生活を穿てるもの、制度を罵るもの、淫蕩生活を穿てるもの、等々、諷刺と皮肉、痛快極る筆の走り、今更贅言する迄もない。一讀骨を刺すものがある。	宣傳社
雪中	の薔薇	村上浪六	三〇〇頁	紙装	一、一三〇	本書は實に氏一流の處世觀である。辛辣なる諷刺と皮肉、痛快極る筆の走り、今更贅言する迄もない。一讀骨を刺すものがある。	大阪屋號
先代	萩の真相	福田正夫	二五〇頁	特製	一、〇五八〇	抒情文學の代表的傑作!! 降り積る雪中に、一輪の小説集。挿畫裝釘は高島華宵先生苦心の作!!	文星書院
ゼン	ダ城の虜	田邊實明	五〇二頁	布装	二、〇四八〇	舊傳と稱し實録と謂ふも時に真相を逸したる正説に留まることあり伊達騷動の快記録。	博文館
ゾア	ナの異端者	宮田峯一	二七〇頁	紙装	一、〇三八〇	英文學中稀に觀る興味深甚なるロマンス。嘗て映畫界に暴風的一大喝采を湧かしたる血涙と陰謀戀と血闘の一大繪巻物である。譯文暢達	健文社
金星堂名作叢書	月光曲	ハットマン	二九〇頁	紙装	一、〇七八〇	清純玉の如き青年牧師がゾアナの山中にて花の如き小女と相知り、終りに異端者と成り終る長編大戀愛小説。	金星堂
金星堂名作叢書	月光曲	田中純	一七四頁	紙装	〇、六六〇	ある未亡人の情事を描いて艶麗無比流るゝ如き名文章に始終小説の性欲描寫の極致を示す著者の代表的長編小説である。	金星堂

怪奇 探偵	雙生兒の復讐	和氣律次郎	三〇〇頁	紙装	一、〇〇六〇	探偵傑作叢書の第二十五篇、亡き叔父の怨を假面を冠する六人の人物を相手とする活劇。	博文館
その夜	の思ひ出	加能作次郎	一七〇頁	紙装	〇、六六〇	堅實なる筆致を揮ひ、老いたる母の心情と心の他に「霞降る日」等三篇を収めた。	金星堂
(ゾラ)	の陥落	渡邊俊夫	三〇〇頁	紙装	一、一五六〇	佛國の都パリが普佛戰爭の結果を包圍され、茲に老若男女が争ふて都を去ると共に佛軍も次第に退却し其の退却中の物語が骨子。	日本書院
漱石	それからの漱石の猫	三四郎	四五〇頁	洋装	一、一六六〇	吾輩は猫であるの猫はかめの中で死にかゝつたその猫が三四郎氏の漱石文によつて復活した實に面白い愉快な文章だ讀み給ひ。	日本書院
怪奇 探偵	第一短篇名作集	森下雨村	三二八頁	紙装	一、〇〇六〇	探偵傑作叢書の第十二篇、歐米作家の短篇中より最も傑出したる作派十五篇を収載す、各作家の特色を發揮して變幻の妙を極む。	博文館
對譯	源氏物語 (桐壺)	宮田和一郎	一五〇頁	紙装	一、〇四八〇	著者之を對譯するに一字一句だも苟くもせず兩者併せ讀むによりて源氏物語の眞髓を領得するを得べく更に頭註を加へて譯讀に便した	文献書院
對譯	源氏物語 (須磨)	宮田和一郎	一五〇頁	紙装	一、〇五八〇	嚮に桐壺帯木の巻を公にしたる著者は、諸方面の研究より本書の續刊をすゝめられ、茲に本篇を著す	文献書院
創	太陽の沈みゆく時	橋外男	一三〇頁	紙装	六、七四〇	價一巻二圓二卷三圓三卷四圓七十錢の三冊を通じての本書は如何に好評なりしか三冊を通じて百版發賣を以て知るべし血涙物語の遺書	日本書院
太陽	は輝けり	倉田一郎	七八〇頁	洋装	三、二〇二〇	當年十八歳の著者は大膽にも本書を著した。天才的其筆力の勇健は遂に發賣禁止の厄に遭つたが更に補訂の上發行されたのが本書	日本書院



版眞筆 たけくらべ	樋口一葉 三〇〇頁 送價一、六〇〇	忠雄短篇集	吉岡忠雄 菊判洋装 二七〇頁 送價一、八〇〇 (送料共)	誰か狂へる	杉田直樹 判式三〇 頁紙装 送價二、一〇〇	探偵事實奇譚	筑波四郎 四六六判 送價二、一〇〇	探偵十種	筑波四郎 四六六判 送價二、一〇〇	イブセン(4) 小さいアイヨルフ傑作集	坪内民蔵 判式美本 二五〇頁 送價一、五〇〇	小説 中學時代	住田章 四六六判 送價一、二〇〇	地を嗣ぐ者	古屋芳雄 判式背絹 二八〇頁 送價一、一五〇	怪奇の探偵 地下鐵サム	坂本義雄 判式紙装 三二〇頁 送價一、〇〇〇	
一葉女史の創作中にありても第一位にある傑作として定評ある「たけくらべ」を女史の原稿博をそのまゝ精巧に製版せるもの。	短かき生涯に總ての天分を打込んでのされたる十七篇の豊かな内容は土岐哀果吉村冬彦兩氏の推獎措く能はざるもの(ローマ字文)	一人の人間の魂の戦に於て人間其者の委人生つて其の意義を啓き示す事は此の書の意圖であつて其の作は最も近代的な形姿で實現す	〇賣笑婦の研究〇女性の犯罪。婦人の男性化傾向。迷信と醫術。産兒制限の適應症。或る暗殺のばなし。呪ふべき文化の賜。省略	日本のコナン Doyle と稱せらるる著者が心血を注いだ痛烈無比、各篇悉く手に汗を握らしむる凡ゆる犯罪に於ける探偵物語である。	疾風の如く雷光の如く突如として起る兇行怪事何れも稀有の事實として世人の心膽を寒からしめたる實話集である。	本書は飽く迄も心憎い大イブセンの舞臺技巧の一端からその如何なる人の胸にも共鳴すべし此の世の變化の法則、人間たるもの責と博士のトリックを續案したものです。三家庭と同じく非常に面白い學生小説です。	家庭小説三家庭の作者として有名なフアラ博士のトリックを續案したものです。三家庭と同じく非常に面白い學生小説です。	一、あらゆる物の永遠はたゞ悲哀を知る謙讓な信心の中に於てのみ感ぜられる」と云ふ作者の信念の中にと書かれしもの。	此書は「或魂の發展に於て物語つたと同時代の戀愛生活の方面より物語つたものである世を戀人解放論者ばかり一讀せられたり。	現代に題材を取り作者は此作に於て「ゲートの親和力」の如き教養を主とする藝術を創作せんとし、遂に鮮かにその所期を達したり。	純な美少女が性に眼覺め行く青春期の描寫に筆を起し、戀と義と人性の微妙な交錯を描いた哀艶悲々惻々人の肺腑を抉るものがある。	無名の一労働者と大學教授の令嬢との戀愛を發端として遂に彼は社會革命戦に殉死する經済學の誤謬と矛盾とに大痛棒を喰はしたる著	人肉亂舞の夜會、雪中決闘の壯觀、漫性賭博狂の妄想、血河屍山の慘狀、酒池肉林の狂歡等現代世相をフイルムの如く展開す。	諸講文學の泰斗佐々木邦の傑作で有名な本書なユイモアを味はんとするものは讀め。輕快	警視廳智能犯係長たる著者が不良少年少女に接し、調査せるまゝを赤裸々に書いたものも也	女主人公八重子が、一意善に接近しながら、反對の結果を得て茫然自失する姿、争ひと憎みと憤りと惱みとの縫れあふ長篇讀物。	本書が發賣禁止の厄を蒙ること過去十數回に及ぶ絶體に公刊を許されなかつたが、お翁五百五十年祭に際し漸く公開するの光榮を得たり	創造された労働の理想境地を描き労働最後
博文館	日本のローマ字社	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	早稲田大學出版部	隆文館	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	

ストリント全集 痴人の告白	和辻哲郎 判式布装 二五〇頁 送價二、二五〇	父の心配	倉田百三 判式布装 二七〇頁 送價一、一五〇	千鳥ヶ淵	渡邊霞亭 四六六判 送價二、一〇〇	血の記録	矢口達譯 四六六判 送價一、〇八〇	女性の敵	矢口達譯 四一八頁 送價二、二二〇	改卷 珍太郎日記	佐々木邦 判式上製 五七〇頁 送價二、一五〇	罪の子となるまで	前田誠孝 判式洋装 三六〇頁 送價一、一八〇	長篇小説 罪の扉	生田葵 判式洋装 三六八頁 送價一、〇八〇	全譯 デカメロン	梅原北明譯 判式函入 一四〇〇頁 送價上二、一八〇 下二、八〇〇	天と地との間	ルードギツヒ 判式函入 四九八頁 送價二、一五〇
此書は「或魂の發展に於て物語つたと同時代の戀愛生活の方面より物語つたものである世を戀人解放論者ばかり一讀せられたり。	現代に題材を取り作者は此作に於て「ゲートの親和力」の如き教養を主とする藝術を創作せんとし、遂に鮮かにその所期を達したり。	純な美少女が性に眼覺め行く青春期の描寫に筆を起し、戀と義と人性の微妙な交錯を描いた哀艶悲々惻々人の肺腑を抉るものがある。	無名の一労働者と大學教授の令嬢との戀愛を發端として遂に彼は社會革命戦に殉死する經済學の誤謬と矛盾とに大痛棒を喰はしたる著	人肉亂舞の夜會、雪中決闘の壯觀、漫性賭博狂の妄想、血河屍山の慘狀、酒池肉林の狂歡等現代世相をフイルムの如く展開す。	諸講文學の泰斗佐々木邦の傑作で有名な本書なユイモアを味はんとするものは讀め。輕快	警視廳智能犯係長たる著者が不良少年少女に接し、調査せるまゝを赤裸々に書いたものも也	女主人公八重子が、一意善に接近しながら、反對の結果を得て茫然自失する姿、争ひと憎みと憤りと惱みとの縫れあふ長篇讀物。	本書が發賣禁止の厄を蒙ること過去十數回に及ぶ絶體に公刊を許されなかつたが、お翁五百五十年祭に際し漸く公開するの光榮を得たり	創造された労働の理想境地を描き労働最後										
岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店		



